京城日報
夕刊
十二月二十三日（水）
發行所 京城府大和町一丁目 合資會社 京城日報社

總督府官製人蔘エキス
精蔘
元賣捌所 京城本町 壽生堂 本町三ノ一八

第六十議會召集

貴族院は即日成立

衆議院は正副議長選擧

【東京電報】急轉的の政變によつて朝野その位置を代へ野黨絕對多數の爲め到底解散避け難きを豫想される第六十議會はいよいよ廿三日召集され、貴族院は即日成立を告げ、衆議院は劈頭今議會の前哨戰と見られる正副議長選擧を行ひこゝに政戰の幕は切つて落された

貴族院成立

【東京電報】第六十議會召集の貴族院は廿三日午前九時振鈴と共に徳川家達公議長席につき定員に達するをまつて同八分開會を宣し、徳川議長の留任の挨拶をなしこれに對し議員を代表して近衛文麿公祝辭を述べた、次いで徳川議長はこれより貴族院規則第五條に依り抽籤を以て部屬を定めます と宣し、書記官をして抽籤を行はしめたる後部長、理事互選のため同卅分休憩、五十分再開し書記官をして部長、理事互選の結果を朗讀せしめ徳川議長は
本院はこれにて成立しました、この旨政府並に衆議院に通告します
と宣し同十時に散會し、それより徳川議長は直ちに貴族院成立の旨を政府並に衆議院に通告した

衆議院の正副議長選擧

【東京電報】衆議院では二十三日第六十議會召集に當り正副議長の選擧を行ひ中村啓次郎（民）増田義一（民）兩氏の當選するや、田口書記官長よりその旨を内閣に通達し上奏御裁可を仰ぎ即日午後五時頃宮中鳳凰の間において親任式を行ひ、犬養首相より兩氏に對し左の如く辭令を傳達する筈である

正五位勳二等 中村啓次郎
議院法第三條に依り衆議院議長に任ず

増田義一
議院法第三條に依り衆議院副議長に任ず

民政第一候補

【東京電報】民政黨の衆議院正副議長候補は二十三日午前九時半院内に代議士會を開き、町田總務に代つて正式に中村、増田兩氏を指名發表した尚第二候補左の如し
議長 河波荒次郎、第三候補河西豐太郎
副議長 佐竹庄七、第三候補菊池良一

政友會の正副議長候補

【東京電報】政友會は二十三日午前十時院内に代議士會を開き岡崎總務を座長に推し植原總務より各派交渉の經過報告あつた後久原幹事長より本日行はれる衆議院正副議長選擧候補者を左の如く指名同十時半散會した
議長候補 菅原傳、木下成太郎、[illegible]三四郎
副議長候補者 津崎尚武、中谷貞頼、清水銀藏

民政黨の各委員長候補顏觸れ

【東京電報】民政黨の全院委員長並に常任委員長候補者及び二十六日開院式當日の勅語奉答文起草委員長候補者は左の如く決定した
勅語奉答文起草委員長 荒川五郎
全院委員長 鵜澤宇八
豫算委員長 川崎克
懲罰委員長 隈田若水
請願委員長 永田善三郎
決算委員長 岡崎久次郎

園公容態 食慾進む

【興津電報】西園寺公その後の容態は熱も下り食慾も進む

解散は必然 朝野論爭の中心は 金輸再禁止に集中

【東京電報】第六十議會は解散氣構へ裡に二十三日召集された、犬養内閣成立日尚淺く議會の中心題目たる明年度豫算案の如き行政整理を初めとし大部分を前内閣の編成に成るものをそのまゝ踏襲してゐるので議會は順調に進行するとすれば朝野論戰の主眼は一に金輸再禁止問題に集中される譯だが、現下の大勢より見れば犬養内閣組閣早々に斷行した金の輸出禁止は正金の弗買持一億七千萬圓の善後處置問題にもその一端を現はれるものの如く、時日の經過につれて朝野兩黨の政戰的對立も一切の妥協を許さゞるに至つて唯一の頼みの綱も斷たれた狀態に置かれてゐる、況して野黨絕對多數を擁して召集日の議長副議長選擧を獨占するに至つては最早や解散必至は何人も疑ひを容れざる說となつた

國策審議會設置說有力 休會明け迄に具體化か

【東京電報】政府部内に最近在野時代の調査にかゝる十大政綱の實現およびその他重要國策立案のため内閣に直屬する國策審議會を設置すべしとの意見有力に行はれてゐるが、一月廿一日議會再開までに具體化する模樣である、主張の内容は會長には從來總理を當てゝゐた形式を廢し拘束組織あり責任を以て國策の立案に當り得るものを當て、委員には閣僚および貴族院の適當の人物を配し待遇としその數を十名とすると、幹事は各省次官を當てるといふにあり、會長には山本條太郎氏を推

中村啓次郎氏

増田義一氏

至誠を傾到 公正事に當る ……中村新議長語る

【東京電報】廿三日衆議院議長に當選した中村啓次郎氏は語る
余は圖らずも衆議院議長の重責を拜命することになつて光榮の至である、今や國民の視聽は悉く帝國議會に集注されその一擧一動はこれが本來の目的以外に國民思想の上にまで重大な關係を有するのであるから議會の品位を向上し、憲法政治の發達の上に貢獻せんとするその責任の重大なるを思ふ場合、自分の如き微力短才の者が果して能くその重責を盡し得るや否やを只心恐れてゐる、併し同僚多數の推薦を以て既に此の重職を辱けのうした以上至誠を傾到公正事に當り大過なきを期したいと思つてゐる

匪賊八千に對し一齊に討伐開始

今拂曉各聯隊呼應して

【奉天廿三日發至急報】海城駐屯野砲第〇〇聯隊、奉天駐屯第〇〇聯隊、營口駐屯第〇〇聯隊は今拂曉より滿鐵線鞍山、海城、營口西北方地區一帶に蟠居せる匪賊八千に對し一齊に討伐を開始した

【奉天廿三日發至急報】奉天西南方遼河西南地區一帶に亘る極めて廣汎な地盤を有する老北風の抗日義勇軍三千は盤山を根據とする青山の部下三千と協力して、昨日來遼河を渡りその先發隊六百は昨夜早くも牛莊城を攻略し、直ちに東進して滿鐵沿線に來寇を企圖しつゝあるので、我軍は徹底的にこれを討伐するに決し、昨夜海城を出發した野砲第〇〇聯隊は守備隊と協力して今拂曉牛莊城に進擊開始、又本日午前一時二十分奉天發海城に出動の步兵〇〇聯隊はその後援部隊として海城より西方に進擊し營口よりは〇〇大隊が北方牛莊城に向つて野砲第〇〇大隊および步兵第〇〇聯隊は西方田庄台に向つて一齊に匪賊討伐の爲め進擊を開始した

日本軍擊滅は一擧手の勞のみ 榮臻宣戰布告を學良に電請

【天津廿二日發電】在錦州の榮臻は昨夜學良に對し『我軍の軍備充實す日本軍擊滅は一擧手の勞のみ、全軍士氣昂る即刻宣戰を公布せよ』と電報し馬占山も又學良に『錦州軍と呼應し日本軍を攻擊せん、軍費を送れ、軍需品は通遼經由にて送れ』と電請して來たと

山頭堡驛に匪賊襲來 激戰三十分後これを擊退す

【奉天廿二日發電】廿二日夜八時錦縣北方四里山頭堡驛に數百名の匪賊襲來し、急報に接した開原守備隊より守備兵急行激戰三十分の後これを擊退した

共產軍に九江占領命令

【上海廿二日發電】當地官憲入電によると廣西省瑞金に在る中國ソヴエート政府は一月一日までに九江を占領せよとの命令を發し共產軍は東固、吉安を占領吉安の中央軍十八師長公秉藩を俘虜とした、一方廣西省中部一帶にて討匪軍の中堅となつてゐた孫連中は國民政府の外交軟弱を理由に討匪を拒絕し軍を南昌に引上げ中

滿蒙の開發― 自由國の建設 明春から建設期に入る 顧問府も設置計畫

【奉天廿三日發電】滿洲事變の年、一九三一年は將に暮れんとし滿蒙は明春早々より一切を擧げ建設時期に入るが、支那側方面では明春早々新滿蒙自由國を建設し
▲地理的には奉天、吉林、黑龍江各省の聯省自治制を
▲民族的には漢、滿、回、蒙、鮮、日、露の七民族代表會議を組織して合議制を採用し
▲對内的には滿蒙在住三千萬民衆の共存共榮、人種平等を
▲對外的には門戶開放、機會均等をモツトーとして進む方針で
又日本側在滿各機關を統一するため滿洲都督府を建設し新國家政府と協力して三千萬民衆のため滿蒙の開發に當るべく、しかして滿蒙自由國家政府は滿蒙の開放發展を圖り世界經濟界の自由要衝地たらしむるため各國より各般專業の專門家を招聘して諮詢機關たらしむべく顧問府を設置する計畫である

宇垣總督時事を語る 本年最終會見日に

宇垣總督は本年最後の定例會見たる二十三日、午前十一時記者團と會見、先づ在滿遭難同胞に對する畏き邊りより御下賜の御救恤金に對し
畏き邊りでは在滿同胞の慘狀を聞召され去る十八日中央朝鮮協會を通じて御救恤金を御下賜遊ばされましたがこの御下賜金は出來るだけ早く且つ洽ねく在滿遭難同胞に配布したいと思つてゐます
と謹話し、次に

時事諸問題

につき語る
◇
今井田政務總監が昨朝急遽東上したことは驚くに足らない。本府來年度豫算に對しては新内閣としても意見があらうし、又こちらとしても說明を要するものがあるので總監の東上を見た譯であるが、年內には歸任するだらう。豫算が別にこぢれてゐるといふのではないが、北鮮開拓等については政府においてなほ研究したいと言つて來てゐる關係もあり、かたく〳〵東上して貰つた譯である
◇
在滿同胞の救濟策はかねて研究中のところ今度これが根本的救濟を講じる考へで所要經費を追加豫算に組み總監が携行した、救濟の具體的方法並にその金額等に付ては申し上げかねるが金額の方は先づ數百萬圓に上る相當大きなものと御承知願ひたい
◇
南大將とは昨晚十一時頃迄同邸で一緒に飲んだ。今朝は本府で再會したが、先般の政變に關する打明け話を聞いた迄だ
◇
電氣公營問題は半島現下の狀態では產業の發達上からも又民衆の福利增進上からも寧ろ民營の方が適當と思ふ。先日京城府會議員の有志が訪問された際にも言つたことであるが、抑々電氣府營問題が起つた原因は四十萬府民の福利增進を根本目的とするのであるから必ずしも公營によらなくてもよい、要は民衆の福利が增進されるやうな方法をとればよいのである。現在の會社が相當の利潤を收めてゐるのであるから一つ廉價に電力を供給さすとか、その他の方法を研究したらよいと思ふ。要するに公營とか民營とかの派生的問題を離れて民衆の福利を增進さすといふ根本問題について冷靜に考へて貰ひたいと思ふ
◇
懸案中の行政整理は斷行の方針に變りがない。年內にやりたいと思つてゐたが來春に亘るかも知れない
◇
僕は來月上旬には是非東上したいと考へてゐる。新政府の新閣士に對する意見もあらうし、又こちらとしても話をせねばならぬ必要もある
◇
京仁兩取合併問題については目下殖產局で調べてゐる。取引所令は一月一日から施行されることになつてゐるので今年中に決定するかも知れない

臥山堂閑話

嗟呼兒島先生

◇今日は何たる惡日であるや、只今我が平常敬慕する兒島先生の訃報に接した驚愕措く所を知らない、愁然として獨り暗涙に咽ぶのである

◇兒島先生とは元京城大學教授文學博士星江兒島獻吉郎先生のことである、先生が明治以來漢文學界の巨星であつたことは天下周知の事實で、特に京城大學創設の際は服部總長の懇請に應じて來城、居を大和町にトして文科大學特に漢文科の施設に老軀を提げて盡瘁せられたることは人皆の知るところである。

◇僕がはじめて先生に親炙して教を受けたのは明治二十五年はじめて熊本第五高等學校において漢文の先生として教壇に先生を見たるに始まるのである。
先生の溫乎たる風貌、悍々として講說して人の肺腑に銘せしめざれば已まざりし熱心、其孟子を講じ荀子を評し韓非子を論じ孫子、戰國策を講說する單に訓詁を事とし文脈を剖析するに止まらず、よく時勢、時務を論ずると共に學生の士氣を鼓舞し學徒の將來を提撕し今日普通の教授先生と大に趣を異にしたるを以て學生の先生を敬慕する恰も父兄に接するの思あらしめた。

◇特に先生の生徒を愛するの深き恰も自己自身の子弟の如く今日組織的學校の常として校規に觸れたる生徒を母校が處分せんとするや先生は冥々の裡に之を斡旋せられたる事その數を知らない僕の友人で今日世間知名の士、貴族院議員伊藤文吉君、大日本青年會理事田澤義鋪君の如きは當さに放校さるべきものを擁護して今日に至らしめたるは實に先生の力である。

◇僕の不敏なる先生常に念頭を去らず、訪ふ者あれば常に切々として池田の近狀如何を問はれたるは常に感謝する處である。

◇僕が曾て總督府を辭せんとするその理由をきゝ去就進退の節よりこれを贊成し、僕が北海道に去らんとせるを惜別し、これを往訪の友人よりその都合をきゝ病中筆をとつて賀意を表せられたるが如きこれを憶へば思はず落淚の頰を傳はるを禁する事が出來ない。

◇僕の今回東京より朝鮮に來る矢先人を介して病床の主人は僕に會ひたき旨を傳へらる、しかるにその傳言を京城においてき、今回の上京の折には必らず熊本に赴き病床の先生を省せんと期せしに忽然訃電に接し、茫然自失悔恨及ばず今夜遂に先生未死の魂を熊本の病床に弔はんとするに臨み、先生の京城における最高學府創設の功勳を偲びかつ一片仲々の私情を朝鮮未知の諸彦に傳へんと思ふのである

◇それにしても今日の學界先生の如き高風雅懷の碩學特に眞箇の漢學者先生らしき先生を失ひたるは學界の爲め眞に惜みても餘りあることである。

さんとする意向である、なほ本議會散會の上は無任所大臣は置かない筈である

幹事長問題で九州團體騷ぐ 組閣早々の内訌

【東京電報】二十二日政友會議員總會にて犬養總裁より久原幹事長の暫定留任を表明するや、九州團體はさきに犬養總裁が山崎達之輔氏に内交渉した以上山崎氏を幹事長たらしむべく然らざれば總務役員の選擧を肯せずとて暴つて東京ステーション・ホテルに立籠つて對策を講じたが、床次、久原兩氏の懇談撫慰で漸く鳧をつけた、組閣早々與黨内に示した醜態は與黨内訌の表面化として注目されてゐる

軍縮會議開會延期の希望起る

【東京電報】來春二月開會豫定の軍縮會議に就き最近歐洲諸國に延期の希望起り去る十七日英國シンドレー氏は本國政府の訓令により外務省を訪ひ右に關する帝國政府の意嚮を質した、しかして延期希望の理由とする所はバーゼルにおける獨逸賠償問題解決國際會議の結果少くも今後一、二月間は各國共同問題に沒頭すべきを以て軍縮會議はその時機を得ないといふにあるが、政府としては延期反對で近くその旨英國政府に回答することゝなつた

總督と僕の考へが一致した 在滿同胞救濟につき 南大將語る

滿洲視察の途次二十二日夜入城、軍司令官々邸に一泊した南大將は二十三日午前十時半本府に宇垣總督を訪問、約三十分に亘り會談したが會見後次の如く語る
宇垣總督は在滿多數の同胞に對する今後の保護救濟策につき深甚の注意を拂つてゐられた。これは全く僕の考と一致したもので僕もこれから渡滿して親しくこれが事情を見聞したいと申し上げた次第である。政治問題には觸れなかつたが間島における日支兩國官憲の親善關係は吉林省長官にして親日派たる熙洽氏と一心同體の支那官憲が居ることになつたので今後の交涉上に非常に好影響を及ぼすと共に在間島同胞の不安も薄らぐことにならう

本社辭令

京城日報主筆兼編輯局長 理事 桑原[illegible]三
京城日報客員とす
中尾龍夫
理事に任じ京城日報主筆兼編輯局長を命ず

中尾氏略歷 氏は熊本縣人中尾辰郎氏の長男で明治十九年十一月十七日に生れ同四十年士官學校を卒業後步兵第三聯隊及び中府聯隊區司令部に勤務し同四十五年末中尉として退職大正五年日本大學政治、法律科を卒業後新聞界に入り、山梨日々新聞編輯局長、時事新報記者、大正日々新聞記者を經て國民新聞社に入り、政治部長に進み爾來八ケ年國民新聞社にあつたが、今回退社して本社に入社したものである

兒島文學博士 昨夜熊本にて

元城大勅任教授文學博士兒島獻吉郎氏は昨年一月病氣のため退官し別府、熊本市にて病氣靜養中であつたが、昨廿二日午後八時熊本市京町本丁三十番地の自宅において逝去した、享年六十六歲。葬儀は來る廿五日自宅において告別式を營む
氏は慶應二年岡山縣邑久郡福田村に生れ明治廿一年東京帝大古典講習科を卒業、爾來東京高師教授、五高教授東京高師教授を歷任、文學博士を授けられ大正…

小山副議長辭表を提出 直に上奏御裁可

【東京電報】衆議院副議長小山松壽氏は病氣の爲め廿二日辭表を提出したので、政府は同日直に上奏御裁可を經て左の通り發表された
衆議院副議長 小山松壽
願に依り衆議院副議長を免ず

拓務省豫算

【東京電報】更生拓務省の來年度豫算については從來の關係の方針が確定したので大藏省との間に研究中のところ、今回明年度の一割減即ち七十一萬餘圓と決定し近く閣議の承認を求むることとなつた

職を辭し鄉關に悠々自適の蔣介石 ―歸去來を賦さんとする 心事を語る書簡―

【東京電報】新興支那の獨裁執政として比びなき盛威を恣にした蔣介石氏も國民政府首席及び行政院長の職を辭し二十二日午前の第四回中央執監委員會第一次全體會議の開會式を最後に飛行機で鄉里奉化に向つたが、その他に宛てて下野を叙した書簡が發表され、同人が今回の辭職を最後に再び政治生活に復活する意思無きことを明にし多大なる感慨を與へてゐる、同書簡の内容は左の通りである
今や執監全體會議は二十二日を以て開會される余の報國に對する義務は果された、余は茲に辭職して鄉關に退き田園の生活を樂しみわづらひなき安易の生活を享受せんとするものである。余の唯一の望みは今次の全體會議が滿足なる結果を得んことであるが、各代表いづれも寬容と忍耐の精神を遵守し、速かに國民政府の基礎を確立すべきである、余が辭職して鄉黨にかくるは安息と愉樂とを享受せんとする外全く他意なく、從つて知己諸君が余に對して書簡乃至電報を寄せられざる事を切望す、假令書簡を寄せらるゝものありとも余はこれを開封もせず閱讀もしないであらう

飛行機で奉化に到着

【上海廿二日發電】寧波來電によれば廿二日午前夫人を同伴飛行機で南京を出發した蔣介石氏は同日午後五時無事奉化に到着した

あすの天氣 (24)

新豫報 晴 一時曇
昨日最低 零下 [illegible]
高氣壓は北支那から朝鮮を經て本邦に擴つてゐるが半島の西岸は氣壓の配置が稍不安定であるが東岸中部は曇その他は晴勝相半ばし氣溫は昨朝より二度内外高くなつた明日は天氣がよく寒くなる

『茂平次兒狀』 四面にあり

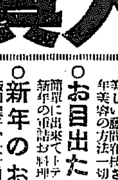
會

上内京畿道警察部長送年會 上内京畿道警察部長は廿四日午後六時から[illegible]に道警察部入部者を招待忘年會を催すが、中村府尹、本町署長はじめ府内各署長も出席すると

人

◇高西貫一氏（本府技師）退官挨拶のため廿三日本社來訪、引續き在鮮半島開發に盡瘁する筈
◇池田秀雄氏（本社々長）恩師兒島獻吉郎博士告別式參列のため廿三日夜十時京城驛發熊本市に赴く
◇谷多喜磨氏（朝鮮火災保險社長）東上中廿三日午後七時歸城

『婦人倶樂部』新年號の驚くべき大賣行!!

婦人倶樂部新年號の評判記事を御覽下さい
○令孃向奥樣向春の流行衣裳 昭和七年流行のさきがけ！見るからに惚々する爽やかな流行衣裳
○化粧から着附迄の大畫報 美しい藤間靜枝さんと尾上菊枝さんが實演、新年美容の方法一切がよくわかります
○お目出たい新年重詰料理 簡單に出來て見て美味しい新年の重詰お料理、お正月は是非お試し下さい
○新年のお笑ひ漫談大會 飯田蝶子、大辻司郎、久米正雄、柳家金語樓氏の取つておき
○人氣女優の扮裝競演會
人氣十大畫家競作 春の流行美人繪

○始めて島田丸髷を上げる方へ
○嬉し恥かし嫁ぎ行く日の心
○お嫁入準備學問（姑・小姑に對する心得）
三都一流美容師の美人法公開

○我家で重寶する防寒下着
○美しい新流行の袋物手藝
○簡單な羽織紐の拵へ方
各界人氣花形座談會

東門五博士發表の小兒病豫防と手當
婦人科醫から適應のない御注意
○冷え性で惱む婦人方へ
○お子さんの爲の母親醫學
「太郎やあい」の母子を圍む座談會
一流大家十三氏の大傑作小說を始め、育兒衞生、修養美談、美容結髮、手藝料理等有益記事滿載！
外に評判の六大附錄
○婦人知らねば恥大寶鑑 ○家庭向奥樣向冬のお料理百四十種 ○毛絲編物大型紙 ○各種小物裁縫型紙 ○顏面用美人 …
尚この外― 十萬人當選大懸賞がつき
八十錢（賣り切れたら殘念！早くお求めあれ!!）

娼妓殺しの男 合意の心中と自白
しかし周圍の事情から 推斷されがたい情死說

京城驛前ホテル『東洋』二階の一室で馴染の娼妓二人を殺害した理髪職人禹奉鉉(二三)は兇行後二階の高所から飛降りて逃走し、二十二日夜九時四十分龍山に立廻り元町二ノ八四林藥房で自殺すべく『猫イラズ』をもとめんとするところを逸早く龍山署の秀島山巡査に看破されその場で逮捕されたことは既報の如くであるが、龍山署では二十三日午前二時から約五時間にわたり京畿司法主任の手で嚴重取調べを行ふところあつた禹奉鉉はすでに自殺を覺悟してゐたことゝて司法主任の取調べに對しては極めて冷靜にかつ神妙に兇行の顚末を自白した、彼が自白したところによると嫉妬の果ての狂暴の兇行でなく殺害した二人の娼妓も禹奉鉉との情死を欲した合意の心中だあつたといつてゐるが果して合意の情死であつたか？禹奉鉉の自白による合意の心中とする理由は彼は二人を殺害したその場で切腹を企て下腹部をチヨッキの上から約二寸五分位斬つてゐる事實があるが、たゞそれだけの理由をもつて直ちに心中と斷定することは聊か早計ならざるを得ない、すなはちその反證として殺害された二人の娼妓の死體解剖の結果抵抗したと信ぜられる手腕に幾多の傷痕が殘つてゐたのと、禹奉鉉は當然その場で死ななければならなかつたこと、更に彼の殘した遺書(別項)に情死と認めらるべき何ものもないといふことなどを舉げられ大體は合意の情死でなく無理心中で禹奉鉉は合意の心中を裝ふてみるのだと觀られてゐるがいづれにして今後の取調べによつて事實は判然するだらう

兇行の翌朝まで 附近に昏倒してゐた
意識を恢復して自殺を企つ 禹奉鉉が捕はる迄

禹奉鉉が逮捕されるまで――彼は兇行後三階に上つて三階から地上に飛降り、その場に氣絶したまゝ約一時間もあてヤット意識を恢復して鐵道自殺を思ひ立つて京城驛構内指して歩き出したが、間もなく何かにつまづいて再び昏倒し翌朝七時頃まで昏倒したまゝ動かずにゐたのだが、その附近には材木が推積されてゐたので遂に搜査の手を逃れ七時すぎてから岡崎町のガードまで行き汽車の通過を待つたけれど一向通過しさうにないので飛込み自殺を思ひ止まり青葉町で水汲男から水をもらつて飲み元氣をつけて青葉町の或る家の溫突に潜んで煩悶懊惱の數時間をすごし夕刻七時頃になつてそこを拔け出し大島町に行つて錢湯に行つて入浴してその歸途元町二の林藥房で猫イラズを買つて自殺を企てんとしたところを逮捕された以上逃走經路の事實が彼の自白によつて判明した

淚する感傷で 文字を連ねた遺書
兇行後狂ふ氣持を抑へて 『可哀想だ』と兩女への餞け

禹奉鉉が二人の娼妓を殺害してからは全く正氣を失つたものの如く鋭利なるメスで胸を一刺した後も生返へるを恐れて胸や手首等を目茶々々に刺し、自ら殺したとはいへむごたらしい女二人の死相に彼も眼前に見るに忍びなかつたのであらう、ツト立ち上つて電燈を消し部屋を暗闇にして極度に昂奮した氣持をおさへてゐるうち自ら愛人を殺した淋しさに感傷の心動いてか彼は有り合せの長さ三尺、幅一尺の紙を二つに裂いて一は愛人の小靜に、一は傍杖をくつた明月に一見意味のとれぬ言葉を星あかりをたよりに走り書いた、その全文は左の通りであるが兩情に狂つたものゝ心理を推するのに好箇なものがあらう

責任上僕も一緒に自殺だから
御心配御無用
朴明月様　禹奉鉉拜告

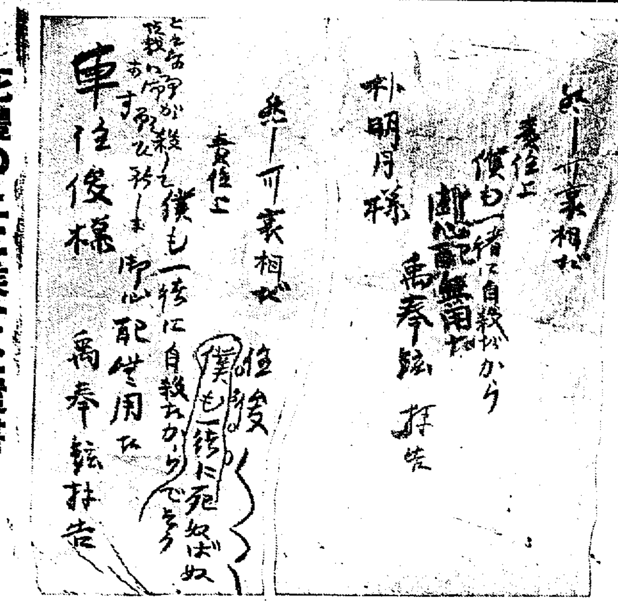
責任上僕も一諸に自殺だから、僕も一緒に死なねばならぬでせう、どんなことか致して頂戴、御願ひ致します
御心配御無用
車任俊様　禹奉鉉拜告

朴明月死に
車任俊死に
然し可哀想だ任俊々々々々

死刑は本望だ
すでに觀念した禹

逮捕されて深更まで取しらべをうけた禹奉鉉は留置場の一夜を殆んど一睡もせずに明かしたが今はすでに悔悟の念ふかく『情死をはかつて相手が死んだ以上自分が死後れたのは殘念だが、もう何んの執着もない死刑になることが寧ろ本望である』と寂しく語つてゐる身柄は多分本町署に引渡すことになるだらう

死體の上に乗せた遺書（寫眞は遺書）



御紋章の 煙草御下賜
警察官を犒らはせらる

【東京電話】天皇陛下には歳末に當り日夜御身邊の警衞の任にある警察官の勞を犒らはせられ、御紋章附煙草御下賜の御沙汰があつたので警視廳に於ては各代表者に二十三日午前十時宮内省に出頭拜受した

自殺未遂男 三年求刑

仁川神合で寄る年波に悲觀して放火自殺を企てた江華島下道面河岾里一二五裵泰數(六〇)にかゝる放火事件公判は二十三日午前十一時より京城地方法院で山下裁判長係り、國分檢事立會のもとに開廷、事實審理に入つたが結審と同時に檢事は被告の立場に同情して三年を求刑した事件は被告には子供がなかつたところから獨り淋しく暮してゐたが本月六日溫突内で就寢中午後五時ごろふと目をさまし突然に悲觀して自己の身上を案じ子供も財産もなく、その寄る年波にすつかりぼやけて不安な淋しい生活を續けてゐるのがとても劍りなく自宅に放火して家もろとも一思ひに自殺せんと同日午後五時ごろ自宅炊事場に放火し、自分は再び溫突内に入り燒死を覺悟して待つてゐたが遂に發見され自殺を果さなかつたものである

三人の分隊― 少尉の中隊長
兵隊さんが少いことを 天谷仙台師團參謀語る

事變の當初から滿洲各地で偉勳を樹てた仙臺第二師團は最近再度に亘り補充兵を派遣したが、その狀況視察のため渡滿中であつた師團參謀天谷直次郎中佐は今廿四日午前十時京城通過急遽仙臺へ向つたが京城驛停車時間中プラットホームにて語る

事變當初から淚ぐましい奮鬪をやつた我が師團は平時編成の上に、死傷者は出來る、凍傷者も出るといつたわけで少尉が中隊長をやつてゐたり、三人位の分隊もあつて、充分補充の必要はあるが、初年兵教育のこともありこれ以上第二師團としては增兵も出來ない。又寒い滿洲のことだしいくら派兵したつて十分だとは云へない

なほ同列車には陸軍省より派遣され天津、錦州方面を視察中であつた原田次郎少佐も同車したが默々として語らず歸京の途に就いた

遭難同胞慰問金 一萬七千餘圓に達す
京城府取扱の分

十二月十九日から同二十二日間に至る京城府取扱の滿洲事變に伴ふ在滿同胞遭難者慰問金は計六千八百卅四圓七十四錢で累計一萬七千八百五十四圓五十九錢であると

傷病兵十六名 廿七日歸還

朝鮮軍司令部發表＝來る廿七日午後八時五十分京城驛着列車にて傷病兵十六名(步七八、十四名、野砲二六、二名)が歸還する筈

公金を拐帶し 面書記逃走す
平壤に入込んだ形跡

【平壤電話】黃海道安岳郡安岳面書記安鐘鶴(二三)は去る十六日朝面の公金千七百三十六圓を拐帶して逃走、平壤方面に入込んだ形跡があるのでその筋で手配中

雪を投げて 消火す
平南道種苗場の火事

【平壤發】平壤府平川里平安南道種苗場宿直室から廿二日午後九時廿分出火し急報により常備、義勇の兩消防および兵器製造所、山十製糸所の消防その他も馳け附けたが、同所には水がないため消防に困つたが折よく降り積つてゐた雪を投げ附けまた木館と宿直室および小便室との間の廊下を破壞し消防に努めた結果宿直室、小便室等の附屬建物を燒失したのみで木館は事なく同十時十分鎭火した發火の原因は宿直室の溫突からゝしく損害額目下取調中

損害額は 約千二百圓
火元は溫突

【平壤特電】別項二十二日夜の平壤府平川里平安南道種苗場宿直室及び小便室の火災の損害額は約千二百圓、原因は溫突らしい

山また山を越え 兵匪の根據地を求む
秋木莊の弔合戰に出動した 我大隊遂に恨を吞む

二十二日安東守備隊發表＝連山關大隊においては十八日晩秋木莊附近の匪賊襲來の報を受くるや直に鷄冠山中隊及び連山關中隊を出動せしめて敵を攻擊し多大の損害を與へ同夜より十九日に亘り該地附近に一部を止めて警備に任じ十九日より二十日に亘り裝甲列車を運轉し沿線に近接した匪賊を擊退、二十一日早朝大隊長坂津中佐は大隊主力を以て匪賊根據地たる雪裡站を攻擊すべく左の部署により運動を開始した

鷄冠山一部隊午前五時屯營出發、鷄冠山朋家堡子―雪裡站までを掃蕩しつゝ前進同時に連山關大隊主力は午前五時連山關出發、秋木莊南方大房身に下車大房身―六道溝―老牛溝道を老牛溝に前進一部を劉家―雪裡站道上を長嶺子附近に配置主力を以て老牛溝高地に匪賊雪裡站を包圍の態勢にて前進したが敵はすでに二道河方面に退却したのを知り直に二道河に向ひ攻擊前進したが同地をもすでに遁走後であつたので更に酷寒零下三十度の寒氣をも厭はず山又山を約十里に亘り一掃せるも遂に敵匪を求むること能はず恨を吞んで一同鷄冠山に月影を踏んで歸り臨時列車により連山關に引揚げた

酷寒の闇をつき 匪賊を掃蕩す
安東守備隊の奮戰

廿二日安東守備隊發表＝鳳王城附近に鄧鐵梅、郭小山を頭目とする兵匪約七百は優勢なる兵器を有し錦州政府の命を受け兵を募り兵器を强要し平日數圓乃至大金を掠奪したる爲め附近に暴戾を逞うし、その一部は大道溝に出没し各所に危害を加へんと策動してゐることが明白となつた。安東守備隊管森中尉はこれを殲滅せんと十九日午前一時五十分自動車八臺を以て〇〇〇名を指揮し、安東警察署〇〇名と共に酷寒零下二十餘度險阻なる道路をも厭はず三十餘里を突破し敵の不意を打ち、暗中險を冒して疾風の如く進軍し、午前十一時五十分鳳王城に向つて前進するや、敵數百名は村端に散開猛射せし爲め直に展開攻擊を開始し多大の損害を與へ北方に擊退したが、なほ逃げ遲れたる敵は村落内家屋に逃げ込み門を閉塞し、丈余の墻壁を利用し盛に應戰したので、徒らに住民の損害を避けんが爲め開地商務會自衞團を通して降伏を迫つたが應じないので敢然攻擊するに決し手榴彈を投擲、機關銃を猛射した爲め、敵は散を亂し北方に退却、死者四を遺棄し、多數の傷者を收容しつゝ遠く山谷に遁走した、この情況を察知しある鳳王城子附近の敵は盛に追擊砲、小銃を以て盲射の如く猛射し防戰しつゝ北方に退卻し午後二時三十分引揚げ午後八時三十分歸着した。我に死傷なく鹵獲一挺を押收し、安東警察官〇〇名と共に僚等卒の背負袋に敵彈一發命中したるのみである管森中尉は語る

途中自動車の故障のため追擊砲を引返さすの止むなきに至つたのは實に殘念でした。追擊砲があつたならば敵を全滅せしむることが出來たのであつたが返す返すも殘念でした。同地附近の自衞團商務會は二、三日前敵匪に降服したとの噂であつた。千村軍曹の譲つた擲彈筒は敵を潰滅に陷らしめた主因である。實に勇敢に働いてくれた、警察官の我等と行動を共にして雨霰の如く飛び來る彈丸の中に奮鬪されたことは殊に目覺しいものであつた

自衞團の誠意が附しあるもの約半數、カウモリ戰術の樣にその行動甚だ怪しむべき點が多かつた現に商務會長の家は敵匪が利用しある點等より察知することが出來る、午前二時前に出發し、途中兵は將官も勿論、自動車の運轉手も黃土坎で十分間情報蒐集して居る間に凍つて箸の立たぬ、ガタ〳〵した飯を三分の一程かじつた切り、安東に歸る途茶一杯飲ますにやつた、黃土坎で自動車の運轉手は一時間眠らして呉れと頼んだが色々だましつゝ途中二十有五里の道を休憩一つせずに無事還つたことを感謝する

第二次補充兵 けさ出發

滿洲へ派遣される戰時第二次補充部隊の〇〇〇名は泉谷特務曹長引率のもとに二十三日午前九時五分京城驛發列車で官民多數の萬歲歡呼の聲に送られ勇躍征途に上つた

九州派遣隊 門司出航
盛んな見送

【門司電話】二十二日門司市内に一泊し内地最後の假寢の夢をむすんだ第十二師團管下久留米重砲中部隊は御用船平安丸、東泰丸の二隻に分乘し、碇泊岸壁に横着けされた御用船に正午より乘船を開始し午後一時各團體數萬の市民の萬歲聲裡に某地に向つた

又も若草町に 釣錢詐欺現る
粟屋から釣錢をとつて 矢庭に逃走した曲者

又もや釣錢詐欺が現はれた――廿二日午後十時頃京城府内若草町粟屋(特に名を秘す)に『平壤粟一袋』を注文した年齡廿七、八位の朝鮮青年あり、十圓紙幣を渡すから釣錢をとて八圓八十錢をうけとるや矢庭に兵營方面に向つて逃走した曲者あり、所轄本町署で嚴探中

大事な玉を逃がし 當てが外れて放火す
誘拐放火事件の裁判

京畿道安城郡二竹面斗橋里尹起洪(三四)並に李玉龍(三〇)の兩名にかゝる誘拐放火事件は二十三日京城地方法院において山下裁判長係り長檢事立會の下に開廷、事實審理に入る被告尹は同里の孫辛得の妹二粉(一七)と關係を結んでゐたことを奇貨として本年九月九日夜であるが李玉龍と共謀の上、同女を誘拐して賣とばしてうけせんと九月十日午後四時ごろ尹は二粉を連れて逃走し忠北鎭江面に至り一家を借うけ二粉に飲食店を營ませその收入をもつて二十餘圓の借金が出來、これが支拂ひに窮した結果忠北に居住してゐる叔父に對して二十圓の借金方を申し込んだが、はねられ更に忠北に逃走してゐることを二粉の兄孫辛得に知られ十月廿五日遂に大事な玉である二粉まで取り戾されたもので被告は自暴自棄となり同月廿八日實家へ歸り、當がはづれたのは叔父尹某勳のためだと憤慨し同夜同家に放火して全燒せしめたものである。檢事は被告尹に懲役六年、李に懲役二年を求刑した。判決は未定である

農學校生が 〆飾り製作
授業料を稼ぐ

清涼里所在の京城農業學校の生徒は農家の子弟が多く最近の不況で授業料さへ納めかねてゐる者も少くないので同校では一策として生徒に正月用のシメ飾りを製作させ勞働による報酬を得させるとともに各方面の後援を希望し注文を待つてゐる、値段は榊ジメ一本、長シメ一本、メガネジメ二本、松一組以上一揃ひで五十錢である

東坊城兄妹 日活を脫退
獨立プロの計畫

【東京電話】入江タカ子と東坊城恭長兄妹はいよ〳〵日活を脫退し、獨立プロダクションを作る計畫だといはれてゐる

富士偉い評判

新年號の富士は附錄が豊富で讀物が無類に面白い、六大附錄が素晴しい、口繪漫畫の豐富等々何から何まで空前の出來榮えで『富士』新年號は何處でも引つ張り凧です、直ぐお求め下さい。

咸興興南間 汽動車增發

咸興、興南間は最近旅客の往來多くなつたので來る廿六日から汽動車七往復の增發をなし同時に興南『本町』簡易驛を新設して旅客の便宜を取計ることゝなつた

大祓式 鎮火祭

京城神社では恒例に依り來る卅一日午後六時から大晦日の大祓式と鎮火祭を執行すると

付品景 万人向の丁子屋商品券
京城在住の方へ御進物の商品券は迅速確實に弊店より御屆けいたします
京城・釜山・平壤・元山 各店共通 一圓以上 美函調進

三大銘釀品
天下一品 キッコーマン
日本一 美味滋養 ほまれ味噌
鮮滿第一 キッコーリウ
資本金三千万円・醸造高六十万石
宮内省御用達・野田醤油株式會社朝鮮出張所

新年用屏風賣出し ……五階ギャラリーにて開催中

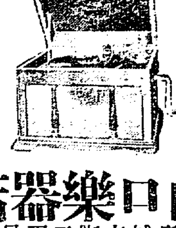
本間金無地二枚折屏風	四〇.〇〇より
五尺金無地二枚折屏風	三〇.〇〇より
同 二枚折金地山水風景其他	四三.〇〇より
同 紙地二枚折	二〇.〇〇より
四尺五寸六枚折 金銀砂子其他	二七.〇〇より
三尺五寸四枚折 同山水風景其他	二九.〇〇より
三尺五寸御衝立 金銀砂子其他	一九.〇〇より
横額 山水風景其他	一五.〇〇より

お彈き初め琴・三味線賣出し ……二十四日より・四階樂器部にて

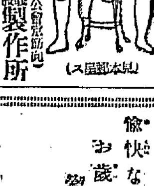
琴の部
紫檀包本間 特製	二十圓より
同 上角巻	五十圓より
同 金口付	八十圓より
琴糸 廿一目	五圓半より

三味線の部
花林棹	四圓より
紫檀棹 胴犬	十五圓より
紅木棹 胴四ツ	五十圓より
象牙撥	二圓半より
木撥	四十錢より

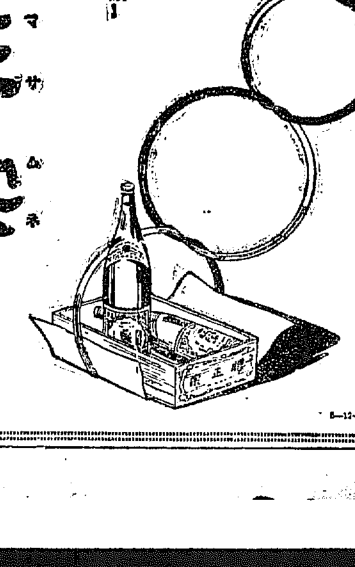
…無料にて糸締致します…
全店福引景品つき 夜間營業 九時半迄
京城 三越

歳末大勉强大賣出
蓄音器とレコード
大見切品拾七圓ヨリ各種

山口樂器店 京城本町二丁目 電話本局三五三三番

京城明治町二丁目 佐々木胃腸病院 入院隨意 電本三八七三、一七一六


高野義肢製作所 京城長谷川町（公會堂前）

株式名義書換停止公告 本日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス 昭和六年十二月二十四日 東洋塗料株式會社

愉快なお歳暮！ 榮ある御進物！
櫻正宗
御進物用 化粧箱入


淋菌溶解療法
淋病專門醫院 チエ京城診療所

ラヂオ

JODK＝廿四日（木曜日）

午前一〇時三十分　氣象概況　各地天氣概況　仁川觀測所發表
同一〇時四五分　料理獻立『百合の煎り雲丹まぶし』　第二高女御崎女史發表　京城府廳發表
正午　時報　ニュース
日用品値段
午後〇時二〇分　クリスマス音樂　メソヂスト聖歌團
一、合唱（イ）クリスマスの歌（ベンデル作）（ロ）聖夜（ソラバー作）二、ピアノ獨奏『愛の夢』（リスト作）吉合節子　三、獨唱『ナサレス』（グノル作）柴田直太郎　四、合唱『幸福なる愛の神よ』（シエレー作）五、獨唱『アベマリア』（シユーベルト作）山中喜子　六、オル
ガン獨奏…矢田たか　七、合唱『天は神の榮光を物語れば』（ハイドン作）
同一時〇分　家庭講座　二重過蔵の弊害に就て　京城府醫師會
同二時一五分　家庭講座　正月のお料理（二）　啓明倶樂部　白南玉
同三時四五分　ニュース　公示事項　京城女子實業學校　石村きくみ
同五時四五分　ラヂオ體操　聽衆紹介事項　今晩のプログラム發表

クリスマス祝會

同六時〇分　日本日曜學校協會　京城部會主催
一、讃美クリスマスの歌　メソヂスト敎會日曜學校生徒　二、お話　平和の君　北島つや子　三、合唱　思ひはるけし　組合敎會日曜學校生徒　四、諷刺劇　もろびとこぞりて　若草町日本基督敎會日曜學校生徒　五、合唱　榮光あれ　西大門日本基督敎會日曜學校生徒
同六時三〇分　クリスマス頌詠へ　ウイルソン作曲）　樂　友　會　ピアノ　金先蘭　指揮　安　基　永
七時〇分　ニュース・公示事項
翌日のプログラム發表
同七時三〇分　童話劇（A）『不思議なラヂオ』（朝倉譲二作）　北村兒童歌劇協會
一、夢光（ソプラノ獨唱）二、夜半の讃頌歌（混聲合唱）三、東方の博士（アルト獨唱と合唱）四、導く星（四部合唱）五、ハレルヤ（混聲合唱）
同八時〇分　クリスマスカロル―A―　東京シンフオニツクコーラス
同八時三〇分　指揮　洋川圭一　クリスマスの集ひ
一、讃美歌　全員合唱　二、お話　―B―
ブール女學校ミス・ウイリアムス　三、うた　イギリス、フランス、アメリカ、ドイツ、日本兒童四、童話劇　サンタクロースの喜び　BK小供サークル
同九時〇分　管絃樂（A）　東京ラヂオオーケストラ　指揮　與山　直吉
一、組曲『花火の舞曲』マイヤーホルト作（イ）行進曲『小供の遊戲』ビゼー作（イ）行進曲『ラッパと太鼓』（ロ）子守唄『人形』（ハ）即興曲『獨樂』（ニ）二重唱『小さい旦那、小さい奥さん』（ホ）ガロップ『舞踏會』
三、道化者の巡邏　エンドレイ作
同九時三五分　氣象概況　各地天氣概況　時報　仁川觀測所發表

料理

午前一〇時四五分
百合の煎り雲丹まぶし

▲材料　百合根二ケ　味醂　大匙二杯　砂糖　玉子黄身一ケ　雲丹

合唱と獨唱

午後〇時二〇分　メソヂスト聖歌團
メソヂスト聖歌團は京城が持つ唯一の合唱團であり、DKからは度々放送して居ります
今日は今から千九百三十一年前世界の大聖イエス・キリストがベツレヘムにおいて降誕された日出度い日の前日で今明兩日を基督敎徒は最も目出度い日として祝福して居ります。聖歌團の方々が久し振りで數々を合唱して讃美する曲を齎ばしき日を迎へるこそになりました

クリスマス祝會

午後六時〇分
救ひ主イエスキリストの聖誕を祝するDKクリスマス祝會を催します府内各敎會、日曜學校生徒達の合同で賑やかにお話を聞いたり讃美歌を歌つたりして樂しくお祝ひします
讃美、お話、諷刺劇等を放送しますから皆樣も一緒に樂しいクリスマス、イヴを送つて下さい
お話の北島つや子先生は長崎の活水女學校を卒業されてのちアメリカに渡つて御勉強の上マスターと云ふ學位を得て御歸りになつた方です
二千年の昔、一番初めてのクリスマスの晩、私共にお與へ下さいました神樣からの贈物は大變貴い贈物で御座いました、その贈物を名づけて平和の君イエス・キリストと申します世界中の敎會の塔から今宵ばかりは喜びと感謝の鐘が高らかに鳴りひゞきますその響は平和に満されたひゞきであります、何故キリストは平和の君なのでせうか？それを皆樣にお話申上ます

（寫眞はクリスマスツリー）

趣味の忘年會

漫談、漫劇映畫で賑やかな一夜を

南敏夫氏其他拾數氏出演　明夜來青閣で開く

大衆的な趣味の忘年會として期待されてゐる南敏夫氏の漫談會は同氏がかつてオペラ俳優、映畫解説者、洋畫宣傳等多角的な職にたづさはつてゐた關係から、京城にも多數の知友があり、人氣をあつめてゐた人だけに珍しい方面からの援助出演者もあるといふわけで、つぎのやうな面白いプログラムが出來上つた。會費は時節柄であり大衆を呼ぶといふ方針から一般五十錢、學生三十錢となつてゐる。
明二十四日（木）午後六時半から本社來青閣は、漫談漫劇等で、賑やかに卅一年の暮を送ることになる

プログラム

ナンセンススケッチ
借り物　一場　車掌　飯田　一雄　女客　森　須摩子
社長と稱する男　下川　信敏
ナンセンススケッチ
困つた電話　一場
令嬢　森　須摩子
青年　飯田　一雄
ボーイ　下川　信敏
令嬢の父　南　敏夫
ナンセンススケッチ
日本ばし　二場
青井顯三　花井　敏藏
春本の妻妙子　森　須摩子
彼氏の紹介……南　敏夫
漫然と……南　敏夫
シネマ雜感　守田　康彦
映畫時代相　南　敏夫
漫談行進曲　桃山ロング
漫談（題未定）　竹本　國夫
野球のはじまり　南　敏夫
（習慣とスポーツと、卑俗漫談）
小唄映畫の揃來　櫻田　耕作
漫談　南　敏夫
茶木　忠
漫劇　復活
カチユーシヤ　火の鳥のマダム　岡田美代子
特別出演
ウイリアム（インズ主演）　若紫
がんばれ
漫談國際戰　南　敏夫

戰場に働らく傳書鳩の話（下）

可憐なる通信使

元來傳書鳩は樂しく人になれやすいもので婦人子供にも容易く飼へる。卵は初春から始めて毎回二個宛産む。面白いのは雌雄共抱卵し、十七、八日で孵るとやはり雌雄共乳鳩といふ乳状のものを口から出して食べさせることである。これは段々穀粒そのまゝに變つてゆくから少しも人手は要らぬ。一ケ月足らずで雛は成長し巣立する事になりまた產卵する。そして年内には一番の鳩から數回繁殖される。
鳩はなぜ何でも食べるが、大いに働かす爲めに飼料も吟味せねばならない。
軍用鳩には主に玉蜀黍、玉蜀黍、麻の實の混合したものを日に三十瓦から五十瓦位與へる。約一握りであつてその代價も僅かなのである。
鳩を育てるに於て鳩にその命を此の世の唯一の安樂境と思はせ飼主を無二の慈母と思はせるのが肝要である。即ち鳩がその舍に安住せずその飼主に親しまなかつたなら、到底よい結果が得られぬばかりでなく、あたら愛兒を失ふ親心を味はねばならないであらう。生れてから一ケ月足らずで巣立ちさせ更に一ケ月も立つと訓練をはじめる訓練は先づ飛翔力の養成からやる即ち鳩舍附近を充分飛ばせる。飛翔力がついたら放鳩訓練をはじめる。之は鳩を或る所と運びそこから放つて鳩舍へ歸らせるのでその距離は慣れるに從つて遠くして行く。鳩の靈妙な天賦の能力は斯くして助長啓發されてゆくのであつて春に生れたものは年内に百粁位の所から使へるやうになり三年目には三百粁以上の所から歸へるやうになるのである。往復訓練は只往來する舍と極む舍と別にする丈に習慣づければよいので割合に容易く訓練することが出來る。
夜間通信の訓練は大分面倒になるし移動訓練のことも一般に必要ないから省略する。
以上述べたことによつて傳書鳩の鳩舍は御理解になつたと思ふ。
無線電信の發達によつて中絶した我軍用鳩通信も歐洲大戰後再興せられ、今日では長足の進歩をした。然し開拓すべき範圍は無限に殘されてある。
我國の民間鳩も年々漸々増加し進歩してゐる。殊に新聞社においては缺くべからざるものとなつた。往來の朝夕に幾千の鳩が新聞社の空高く群り舞つてゐるのを見らるるであらう。然しこの盛況も、東京、京阪神、名古屋附近のみであつて、全國を通じても鳩數は萬を以て數へるに過ぎない。
彼の小國白耳義においてすら數百萬の鳩が居る。獨逸然り、イギリス、フランスまた然り、そして競翔會は常に行はれ大會には鳩輸送の特別列車が仕立てられてゐる時世に於て白耳義の鳩は千六百キロを翔破して居る。
歐米においては傳書鳩競翔は「スポーツ」の一つとなり競馬の樣に賞金や賭金も行はれてゐる。
とへそれが國防の爲でないにしても天災地變の際に備ふべくはた又平時における通信機關の不足を補ひ混雜を助け更に動物愛護の念をさかんにし情操を豐かにする爲にも必要なものである。
最後に一言申し上げて置きたいのは、狩獵期に心無き獵夫の爲に傳書鳩がその銃彈にたふれることである。當部軍通鳩班において も年々數十羽を算ずる狀況で誠に遺憾なことである。皆樣も間接に或は直接に有意義な傳書鳩を無意味に消耗させない樣に心して戴きたいものである。

老人の病氣は冬は特に警戒

腦と血の豫防　七十頃が高率

中年から起りやすく、老年に著しくなる病氣で腦出血と腦軟化の二つがあります。この病氣は老人としては避け難い病と氣とされてをりますが、なほ攝生によつて豫防は出來るのです。罹病率を年齢で示すと

年齢	男	女
五―九	一·五五	一·三三
一〇―一四	二·六四	三·〇七
一五―一九	三·二六	三·六四
二〇―二四	四·六六	四·六九
二五―二九	九·五五	八·七五
三〇―三四	一〇·四三	六·五五
三五―三九	四·九六	五·七四
四〇―四四	六·六六	九·〇四
四五―四九	一〇·〇四	一三·六二
五〇―五四	一三·九五	一五·一〇
五五―五九	二三·六七	二一·九六
六〇―六九	三一·九二	二三·六五
七〇―七九	三六·四四	三三·八二
八〇―八九	二二·六六	二三·六六

右のやうに七十前後において死亡するのはこの腦出血と腦軟化によるものが非常に多いのでありますから、いへば腦出血が大多數です
それを豫防するには、腦溢血の氣味の人は日常生活において、無理や無駄を避け、飲食物その他に注意して攝生を守れば豫防されるのであります。若しこの病氣が發したとして、手足が痲痺をおこすやうなことがあつても、經過で濟んだ例が多いのであります。特に寒い季節においてこれが發生を見ることが多いので注意がいります

味噌の智識

青木和子

おいしい味噌汁をつくるには良質の味噌を吟味する必要がある。味噌は少くとも一年以上を經たものでなくては本當の味は出て來ない。日が淺いのは味はつて强い鹹味を感じたり、大豆の粒に鹹味が殘つてゐたり、麴や豆がそのまゝするやうなものは用ひない方がよい。少くとも大豆を指先で一寸押へてすぐに消れる程度に熟成したものでなければ手をつけない方がよい
味噌の良否は主に色光澤と香氣と味で見分ける
色をして光澤のあるのがよい
麴の具合によるが、大體黄がかつたものより色の濃いものゝ方が古くてよく熟してゐる。黄色のは所謂速成で、又暗黒色、斑らがあつたりするのは大豆の代りに隱元豆を使つたり、麴も不充分なのを用ひた極く惡い品である
白味噌は卵色に冴えたものがよく、赤味がかつたものはよくない味噌の匂ひは何となく食慾をそそられるやうな芳しい甘い香りがするものが優良品の證據で、さうでない品は酸っぱいやうな材料の匂ひや、こげくさいのや、酸つぱいやうな匂ひがするものである
どうかした拍子に酸つぱくなつたりした場合は、少量だつたら汁にして煮立つた時に重曹を入れてその泡を掬ひとつて用へばよい
桶にある程度に澤山の場合は乾の木の生皮をその中に埋めておけば數日後には元の味にかへるといはれてゐる
かびがつくのは温度や置場所の關係にもよるが、大抵は不完全の蓋の爲でもあるやうだ。毎日のつかひ出しにもあとは丁寧にならしておいて表面に昆布などを一面に敷いて木のふたをキッチリしておくとよい
要するに空氣になるべくふれないやうに密閉するやうにして置く
湯物のない良品は醤くにしたがひ水分が少くなつて固まり加減になるが、隱元豆等を使用したものは段々ねばり氣が出てくるからすぐに分る
近頃、便利がよいので漉味噌が澤山要求されるやうになつてゐるが、あれは余り値段の安いのや、不正商人などの間にはわるくなりかけた味噌を上下かき廻し漉味噌として賣る向があるから、本當においしい味噌汁をこしらへやうとする場合には矢張り粒味噌を買つて必要なだけ擂つてつかふのが安全である

	水分	蛋白質	脂肪	炭水化物	灰分	カロリー
白味噌	四六·〇	一二·一	四·九	四〇·八		
赤味噌	四四·八	三八·八	三九·八	四〇·〇	四〇·〇	一〇·五

これは百瓦（二十七匁）中に含まれた營養價で四五人の家庭の丁度一度分の味噌汁をつくる位の分量であるから參考せられたし

おいしい天ぷら

その揚げ方

天ぷらは夏のものだ、、、なんていふのは嘘でほんとうの天ぷらの味は何といつてもこれからです。所でいゝ天ぷらといふのはどういふのかといへば
第一油の氣がほのかにただよつてゐる
第二輕い。第三ころもが口の中へ這入つてとろりとしけるやうに揚つてゐる
勿論材料や勿のいゝといふことを土臺にしてですが、以上の三點が大切です。ではどうすればといふことになりますが、元來天ぷらくらい何でもない料理はありません。何屋の御主人でもおいしい天ぷらが誂られも出來ます
ですから本當いふと天ぷらなんかわざ／＼天ぷら屋で食ふなんて馬鹿な話です。その理由を申しますと、一體天ぷらといふものはイ、揚立てを食べ、ロ、いゝ材料を使へ、ハ、粉のとき方火加減
これだけより外にはコツはありません。あと は何も技術はいらないのです。要するにころもをつけ、油の中へ入れて揚げればいゝのですから。

揚立てを食へ

で、第一に申したいことは、天ぷらもやつぱり肉鍋か何かのやうにお座敷の中へコンロを持ち込んで主婦の方が料理人、御主人やお子さんがお客さんになつて、主婦の方がお揚げになる端から熱い中に食べさせてあげる。これが一番です。
多くの場合みんな揚げちまつて冷たくなつて食べるから空氣の中の濕氣をよんで油ぶうき出るやうになつてゐる。つまりカラッとしない。そこでグチャついてしかも持たれることになるのです。

材料について

申すまでもないことで新しいのでなければいけません。魚なら生々したもの、イカなら水色をしたもの。もし魚が褐色化してたり乳白色だつたら古いものです。
ついでにお話しますが、よくイカを揚げるとはねていけないといつてまるで武裝しておやりになりますがこれはイカのあま皮をよくとつてしまはないからなんです。
材料はころもをつける後に一度乾いたふきんで水氣をとらなくてはいけません。イカは殊によくふきんでふいてアマ皮をきれいにとつて了ひます。さうして少し庖丁をいれておきさへすれば亂れることもなし、ハネることもなくころもよくきます。

粉のとき加減

絶對にかきまはすべからず、太い箸でただ適に粉に水分が含まれて粉と粉がひつゝいてゐればいゝんです。ですから俗にいふママ子―あのブツブツがあればある程いゝです、おやアなぜブツブツの多いのがいゝかつていへば粉をよくかきまぜるとあのねばりが出てきます。それをころもにするからお魚の上に粘膜が出來て了ふのです。それを揚げるでせう。だからなか／＼揚りません。つまり粘膜を透して火が中へ這入るのは大變だからです。
さあそれだからころもはこげるし中のお魚はおいしい汁……ジエスがみんなしぼり出されてしまつてるといふことになるんです。所がブツブツの多いころもだとすぐ火が通るから早く揚がる。だからところもゝこげないし中のおさかなもおいしいといふ譯なるのです。これを素人は知らないのです。

アブラ加減

油は私の經驗では『ヤマカ印』と『カイ今印』とのゴマ油が一番いゝやうです。ぶつぶつ煮立つやうに火にかけて、泡が消えかゝつた頃に泡が下から自然に湧くやうに下から自然に油が靜かに動き出した時、その時がいゝのです。
その時ころもをパラッと入れて見てそれが油の中へ沈んで行くか行かないうちに浮いて來る。その時が入れ時です。もしすぐパッと散つたら煮過ぎてるんだし、沈んで暫くしてから浮いたら煮ゐ足りないのです。

湯加減のコツ

入れてからですが、素人の方は油へ泳の揚げかすが出來ないやうにおやりになりますが、揚げかすが出來る程いゝのです。といふのはおさかなが必要なだけのころもを身につけてあとはみんなはじいて了ふからです。
それといふのもつまりはころもをかき廻し過ぎて粘膜が出來てゐるからで、これが不必要なもので散りにくつても散りません。
これも大切なコツ、次に素人はお鍋の大きさにかまはず無やみに一度にお入れになりますが、これがいけないので、一つ入れる度に油の温度は低くなる譯ですから、一度に澤山入れると油の温度が減茶苦茶に低くなつてしまひ、よく揚がらないのです。これはもし五六寸（直徑）のものなら二つ、エビなら三つそれ以上はいけません。さあこんな調子でやつて御覽なさい天ぷら屋と同じやうなおいしいのが出來ますから。

明菓の奉仕

廿三、廿四両日の三日間本町の明治製菓ではお客さんがお土産品を呈上すると、お伺ひはクリスマスランチを特製の...

かるた打合せ會

例の本社主催第十四回かるた大會も明春早々に擧催されるので廿二日午後本社で幹事會が開催された。仁川の上田氏も出席して大會の日取りを一月十七日と決定した外その他競技事項を協議して散會した
（寫眞はかるた幹事會）

かるたのシーズンとなつて恒

南敏夫氏

明廿四日　午後六時半から
漫談漫劇映畫の會
趣味の顏ぶれ　拾數氏の出演
入場料　普通五十錢　學生卅錢
本社來青閣

サロン春出現

バーの改造、樂園會館の新趣向今月に入つてから大きいカフエーの現出を見てゐたが、今回府内本町二丁目京城演藝館跡に、新築中であつた『サロン春』が、堂々たる近代的構式の建築美を見て出現した。屋內の裝置照明も構成派的な近代感覺を表現し、女給も排名位とする方針で殊にバーの色彩を濃厚にし、カクテールなどに力を入れるさうである

バージプシー開業

府内永樂町二丁目に今回バージプシーが生まれた、東京仕込みの女給と加へて味のよいカクテル、それに金融を包む潤浪気分は特異な存在として知られることだらう

喜樂館（廿四日から）

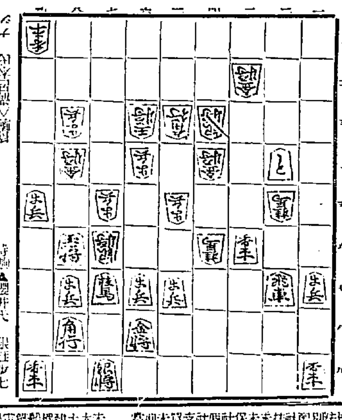
▲後篇『興亡新撰組』大河內傳次郎主演▲『父』谷幹一、佐久間妙子主演▲『愛染の悃懇』澤田清主演▲『君戀し』瀧花久子主演

將棋新手合（六）

於東京市日本橋　三番勝負の第二局　讀賣新聞

（圖は七七桂迄の局面）

飛角交　△七段　讀賣木見金治郎（東京）
飛落香　▲二段　櫻井一治（新潟）



△六二角　▲九六銀　△六五歩　▲二五飛　△七七銀　▲同　玉
△七六桂　▲四七歩　△九五香　▲四六歩　△九六香　▲同　香
△八八桂成　▲同　玉　△九五歩　▲三三香成　△九六歩　▲九八歩
△七六歩　▲七八香　△五三角　▲八九桂（以下次號）
（讀賣木七段講評）（上手）六九歩突きは飯退のやりであるが、後に必至又は詰み前が出來るので守るのは已むを得ない
（下手）四七歩打は惡手である、殊は四五歩と打ち、敵が五四並なれば三三香成、同銀、三四とよると指し飛車の活用を圖る處である
（上手）七六歩突きは、飽迄決戰の順を狙ふ意味である
（下手）七八香打は弱い、寧は三三成香と引いて置く處である

持駒▲櫻井氏　銀桂歩七

第七拾貳回決算報告
（自昭和六年五月一日至昭和六年十月卅一日）
貸借對照表（昭和六年十月卅一日現在）
[illegible]
大日本製糖株式會社
昭和六年十二月
右之通り候也
取締役社長　藤山雷太
[illegible]

齒科　渡邊榮醫院
黄金町二丁目入口
電本七一二番

小兒科　吉田醫院
醫學博士　吉田得次
診察　自午前九時至午後三時
南米倉町一番地
電話本局四八二六番

たんせきぜんそく百日咳に
龍角散

講演者聲樂家運動家は之を試むべし而して其結果は諸君を喜悦に導くべし
ヴァルダ
パステル
藥店に於て販賣す
容器の上にVALDAと明記あるものゝ眞正なり

料率問題は協會側から まだ明答を得ぬ

引上緩和に努力を續けた 谷朝火社長釜山で語る

【釜山特電】全鮮的の問題と化した火保料率引上緩和交渉のため東上中であつた谷朝鮮火災社長は二十三日朝釜山通過北行したが料率の引下げ問題に就いて左の如く語つた

火災保險料率の引下げについては朝鮮はまだ内地と同一に見られない特殊の事情があるので、この點については各務保險協會長とも度々會見して特に諒解する樣に努力し、出來るだけの手段と方法を講じて來た、協會側よりは引下げに關する何等の明答を聞くを得ず、從つて何時頃に料率引下げを期待し得るか今の所見當をつけることは頗る難かしい、問題となつた料率引上案を協會へ持出したが地方會からであるとかないとかといふことに就いては、地方會のことに關する限り僕り語したくない本協會側にも亦種々複雜した事情があつてさう簡單に片附けられない理由がある

預金利上を他と協定 組銀所在地外の殖銀支店

殖銀では中央と現地における金利の開きを漸次縮少する方針を持つてをり、先般會議では定期四厘利上げの五分五厘となり京城との開きは從來の四厘が三厘に縮少されたが、組合銀行所在地外の殖銀支店においては今回定期預金の利上率を四厘以内と方針を決め、各地においてそれ\/他銀行と協定することになつた

……議する筈であるが、同貸出中には甲、乙種庫に對するものと野積籾に對するものゝ外先般決定した金融組合に對する貸資金五百萬圓も含まれてゐる

竹島氏推薦を 鐵道局急ぐ

朝鮮運送社長は國際通運取締役の竹島鐵太郎氏に確定、一月十九日の總會において選任する筈であるが、政變による滿鐵首腦部更迭豫想と共に國際通運の積極的活躍をも豫想され、斯くては竹島氏就任によつて漸く意見が圓滿に一致した通運、國運間に又もや溝を生じて朝運社長問題がこじれる虞れがあるので、鐵道では推薦を急ぎ、竹島氏選任に變更を來たさぬやう努める模樣である

多收穫褒賞授與式

朝鮮農會主催の田作多收穫競作會において、大麥は反收七石三斗の劃期的成績を擧げ一方粟作は、第二回に比較して稍々減少を示し反收二石八斗八升を示したが、右競作入賞者に對しては、來る一月十二日京城ホテルにおける通常總會席上にて、褒賞授與式を擧行する筈である

凶作地方の窮民救濟策

咸北、江原兩道に 來月から實施決定

咸鏡北道山間部を除く各郡並に江原道内特に三陟、原州、洪川、麟蹄の四郡においては稻の成熟期に入り濃霧の襲來と霜害とによりて米の收穫殆んど皆無の打撃を蒙り農民の困苦甚だしき狀況に鑑み、本府社會課ではこれが救濟策につき各部局と合議中の處、愈々これを決定し明年一月から實施することになつた。總窮民數は二道を合し一萬一千七百九十一戸五萬八千九百五十余人に上るが、比較的被害の少ない江原道管内の窮民に對しては來年一月から六ヶ月間食糧及種穀の給與をなし、被害甚大なる咸鏡北道管内に對しては一月から七ヶ月間食糧及種穀の給與をなす外副業奬勵、窮民救濟事業を促進して勞銀の撒布をなすにあつてこれに要する經費は

食糧給與	三十二萬餘圓
副業奬勵	二萬餘圓
土木事業新規施行	十二萬圓
砂利敷	三萬六千圓
種籾給與	二萬餘圓

六年度豫算面の所定經費における不足額は第二豫備金より十五萬圓を支出して補充し更に七年度越の事業費は追加要求することになつた

米國の金輸禁止 實現すまい

深井日銀副總裁談

【東京電話】二十二日東株後場引際においてアメリカの金輸禁止說を材料に大幅の動搖を示した本日、深井日銀副總裁は右につき左の如く語つた

アメリカは世界の金の二分の一を所有し對外的に禁止の必要なく對内的に見るも銀行の信用は動搖してゐるが滙券の信用は維持されてゐるから禁止の要はない、禁止說の理由とするところは發券發行を盲大にし景氣を引立てんとするにあるも、一部の少數意見だから斷言は出來ぬが恐らく禁止はあるまい

東京の懸念を 意外視す

【ニューヨーク廿二日發電】アメリカ金本位停止風說に東株市場は急落下を演じたとの報につきニューヨークの有力銀行家は金停止はあり得ないと東京の懸念を意外視してゐる

殖銀の米穀貸出 一千萬圓を突破

出廻りが早い關係で

殖銀における米穀貸出しは益々增加し、最近農倉約五十萬圓、商倉二百九十萬圓、その他の倉庫業者保管貸額が二百六十萬圓在倉保證約九百萬圓合計一千七十萬圓に上つたが本年は約一ヶ月出廻りが早く、昨年同期とは比較にならぬ激增を示してゐる

米穀低資 割當金利等に 就て打合す

二十二日の殖銀低資運用委員會で決定した米穀低資三千萬圓以内は年內受入可能となり、割當、金利、運用の範圍等に關し財務當局では今明日中に關係者を召致し協議する

對米爲替 約二弗方の 激落を示す

二十二日の東電によれば對米爲替は三十八弗百分の七十五に落ち約二弗方の激落を示した、朝銀における建値は三十八弗二分一であるが、勿論ノミナルであり、最近においても鮮銀では實需筋のみを取扱つてゐる

米國の產銅制限

現在の二割六分五厘に 紳士協約の成立を發表

【ニューヨーク廿一日發電】米國產銅組合當務幹事アール、エツカー氏は來年一月一日から生產額を現在の二割六分五厘となす紳士協約が成立した旨本日發表した、右協約成立の結果、米國以外の世界諸國の銅山の約七割が產銅額に限制を課する譯である

水組代行事業 穀價暴落で不振

東拓土地改良部合併以來の土地改良會社水利組合代行事業は、穀價暴落のため全く不振に陷り、今期の工事監督の契約をしたものは全南二郡二百八十九町步と、來る廿七日入札の慶山一千三百町步のみで、この外水利組合として測量設計契約を成立したものは皆無である。なほ個人事業として測量設計を代行せしものは水原二百三十五町步、全南自二十町等である

昭和六年の財界點描(四)

六月

◇十日 不況打開に我國より關稅會議提唱か
◇十四日 宇垣總督北鮮視察 殷民デー
◇十五日 殖銀國立銀行公定利步二分引下げ七分にす。春蠶收納卅九萬石。國選運輸會議今日から
◇十六日 三井の手で可部商會浮上る。中野通運社長北鮮へ
◇十七日 齋藤總督辭任宇垣總督親任直に施政の第一方針發明
◇十九日 今井田政務總監親任式 職假は暗價金問題でフ
◇廿一日 ーヴア大統領乘り出す
◇廿二日 朝運新役員決定。大勢に順應し各地で預金利下げ
◇廿四日 フーヴア案棚頓
◇廿五日 遞信電力外債出立
◇廿六日 京城驛主催で荷主懇談會
◇廿七日 モラトリアムで英佛交涉初まる
◇廿九日 産金助成に東拓乘出す
◇卅一日 煙草元賣捌き本日限りで廢止

七月

◇二日 改正米穀法實施『穀め農林省と謎し』外米を輸入し得ることゝなる
◇三日 萬寶山事件に依り鮮支人衝突事件勃發
◇四日 半島の總人口二千百五萬八千三百五名
◇五日 池田殖銀局長着任
◇六日 モラトリアム問題で米佛交涉成立、フーヴア案發表はる
◇七日 今井田政務總監着任、管原東拓總裁産金計畫發表
◇八日 鐵道局減收一千三百萬圓に及ぶ
◇九日 東拓の慈城金山を朝鮮鑛業會で買收
◇十日 夏枯れ期で鮮銀券收縮、物價低落續く、電氣料值下運動
◇十二日 牛島學務局長着任
◇十三日 朝鮮漁業保險取締規則改正發布
◇十四日 宇垣總督夕刻着任、此日朝鮮山で論告發表、信託業者の合同機運濃厚となる
◇十五日 可部商會破産を宣告さる

海外經濟電報

紐育銀塊外爲替相場 (廿二日)		
倫敦 銀塊	二志三片二分一	三十一片八二分一
紐育	百十九	
上海		
新銀現物	(廿二日)	
銀行引受	四〇二四	減
正貨準備	三七三	減
限外發行	三〇七三六	減
倫敦銀塊	二〇片一六分五	變らず
紐米 棉花	四十錢	安
同 棉花	四〇弗二分一	
スチール株	一一弗四分一	
アナコンダ株		
日米爲替	三八弗一〇〇分七五	
英米爲替	三弗四仙四分一	
紐育銀塊		未着

農業(三)

產業界を顧みて 多事なりし昭和六年(十六)

養蠶 昭和六年七月末現在における桑田反別は七萬九千七十四町四段でこれを前年に比較すれば三千一町六段(三分九厘)を增加し一方山桑利用込段別三千九百四十六町二反で對前年一割一分八厘の減少を示した。又本年における養蠶飼育戸數は七十四萬七千八十戸で對前年三分六厘の增加を示したが蠶種掃立枚數六十六萬二千四百九十枚で對前年二分七厘の減少を示し產繭額は四十萬七千八百六十四石を算して對前年九厘の增加を示してゐる。一方夏秋蠶飼育戸數は四十一萬一千百六十八戸で對前年一割六分七厘を增し又蠶種掃立枚數三十五萬四百三十三枚で對前年八分八厘を增加し、產繭額は十七萬三百九十七石で對前年一割二分八厘の增加を示してゐる

◇　◇

昭和七年度の蠶種配給狀態に就いては總督府において各道報道を蒐集取纏め中だが原蠶種約四千百八十八枚の過剩、又普通蠶種において約七萬七千七百四十二枚の過剩を見込まれ目下內地移出の計畫を進めてゐる

農家戸口狀態

昭和六年初頭現在の總農家戸數は二百八十六萬九千九百五十七戸(總戸數の七割八分四厘)人口一千五百六十二萬一千五百二十四人(總人口の八割八厘)を示して對前年戸數五萬四千六百八十戸、人口四十一萬一千三百三十人を各增加してゐる又これを職業別に見ると地主は二萬一千三百二十八戸(八割八分四厘)と減少を示し、農業は二百五十三萬六千三百四十戸(八割八分四厘)で對前年度に比較して地主二分四厘の增加減少、農業八分七厘の減少を示して居る。又これを階級別に觀ると地主中耕作地を全部小作せしむる二萬四百四戸で對前年七十四戸增加、地主中耕作地の大部分を小作せしめ一部を自ら耕作するもの八萬二千六百四戸で對前年五百六十六戸の減少、自作五十萬四千九百戸で對前年三千三百七十五戸の減少、自作兼小作八十九萬三千九十一戸で四千六百九十七戸の增加、小作人は百三十三萬四千百三十九戸で對前年五萬六千六百六十八戸增、與火田民三萬七千五百十四戸で三千百八十二戸の增加であるがこれが各階級別割合を見れば小作は四割六分五厘で四分を增し、自作兼小作は三割一步で五分三厘を增加し、一方自作は一割七分六厘で七厘減、地主三分六厘で五厘減、火田民は一分三厘で九分三厘の增加を示してゐる

◇　◇

右の數字から、朝鮮における農家階級は中間階級の沒落、大地主及び小農の增加傾向預言すれば大地主の土地領斗、自作農の顚落、農民大衆の窮乏化等による貧富懸隔の增大等の事實を明日に看取し得る。そしてわれ等は斯くの如き事實から朝鮮農村にとつて憂慮すべき二現象に逢着するだらう。即ち一は中間階級喪失による朝鮮農村の不健全化であり他は階級的對立分野擴大による小作爭議の尖鋭化である。

◇　◇

本府當局は前者に對する對策として最近自作農創定案を樹立しこれが實現に力を傾倒して居る。併し乍ら該計畫内容は、五百萬圓の低資融通による五千町步、一萬戸(一戸當五反)の自作農創定計畫であつて、澎湃たる自作農の沒落過程に對しては余りにも微温的であるばかりでなく、その沒落を促進せしむる農家、すなはち農業の機械的發達に對して何等の救策を講じない限り、 一定の努力も徒過に終らうとの非難を免れぬ、又小農階級の過、必ずしも果ずるものは、耕地所有權でなくして、寧ろ耕地使用權である事もこの際特に考慮さるべきである(手島生)

愈よ歲晚氣分の 餅搗相場を反覆

米金禁說に深押す

前場 前日來十大政綱を難しく爲替安を好感して新値へ躍進した折柄、今朝は新値後の一呼吸的伸悩みを見せてアメリカの再禁說も加り東西の瓦落に東新百五十七圓七十錢、大新七十五圓九十錢と寄付き、暫い東新は六圓落に落し六圓九十錢から四十錢と深押し十錢と軟化し更に五圓九十錢と保合で五十五圓七十錢と深押し大新も六十五圓丁と止めた、即ち前日の止値に比して東新四圓九十錢大新二圓三十錢高京取不變であつた

後場 前場新値後の一反落から全く不味商情を辿つた折柄、後場はいよ\/アメリカ金輸出禁止說力強く流布されて阪地の俄然氣配崩れから商情一轉して不勢を辿り東新百五十三圓丁大新七十圓七十錢と深押しで寄付き、續いて更らに五十圓關門にまで深押したが押目的買物も出て亦見直すものと見られた

新場面は來年度 年内消極的か

對滿蒙積極政策と十六政綱を好感して砲撃の爆發に漲くも新高値に暗出した新東株も暇し人氣一迄と共に相場は新值後の一呼吸と云つた形を見せてゐる。何分季節關係から見ても大納會を目前に控へて仕手の腕人も浮き立ち勝ちであり人氣も消極的で整理急ぎの有樣であるし勞商内振りが西氣を帶びないからである。而して之を材料方面より見れば爲替關係、物價高、事業界の收益率の增率或は國威發展、對支問題等々難せば難し得る材料も相當多い譯である、弱氣側の題目にしても先づ狂騰の訂正安、物價高と貨勢との不均衡、人氣と財界實情、インフレイション政策と爲替、貿易方面の期待外れ等々氣崩れ安を招來すべき事項はころがつてゐる。然し乍ら先づ年末關係として仕手の人氣離散から軟派にしても硬派にしても歩調を揃へて難し上げる事が困難であるろへて所謂餅搗きの小米往を續くるの外なかるべし、新場面の展開は初立會によつて決せられやうと見られ、大局觀は相當大巾の押しもあらうが大體強氣に一致し二百圓相場が宣傳されるの有樣である

春高期待の根據

禁止說も流布されて我國の金再禁によつて見越されて爲替崩落も期待を裏切つて意外にも四十弗位を保ち手堅き推移を見せ、それが爲人組の如きは爲替懸念の事を上迴る相場高を示す奇現象を呈する有樣であり反動米を氣構へられてゐた、然るにアメリカとしては金輸出再禁止は却つて爲替相場の騰貴を招く結果となるから恐らく保程の政府的原因のない限りまづ斯かる事には出でまいと見られ、他方ドル買誘補の判明と現在日本實情よりして遂に爲替相場は台變りと一なり今朝は三十八弗四分の一と大山下落に入つた。爲替相場下落は國民經濟の大局よりすれば勿論悲觀材料たらざるを得ないが目下の株式にのみ限るときには相當の好材料であることは否定出來ない、即ち爲替の下落は物價の相對的值下りあり我が貨幣價値の相對的下落であるから金再禁相場を實質的に浸み出させる譯である。從つて年内には餘日なきもの來年度して最も期待されてゐるのである

爲替下落好感

東京市場にはアメリカの金輸出再……

株式 (十二月廿三日)

京取短期	寄付	大引	高値	安値
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期市場	寄付	大引	高値	安値
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株長期	前寄	前引	後寄	後引
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

安東株式	前日	本日
[illegible]	[illegible]	[illegible]

京取短期玉數	賣方	買方	代引
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

初相場豫想懸賞募集◇

初立會(一月四日)

京取株短期前場寄付値段

仁川期米前場二月限寄付値段

右豫想を左記要項に依り募集します

賞品 一等 十八金側腕時計 二名 / 二等 復興債券 四名 / 三等 本社特製銀メタル 十名

各種を通じ十六名を限り贈呈します適中者多數の場合には抽籤を以つて定め適中者なき時は最も近値のものより順位等級を定める事とします

締切 昭和七年一月七日

發表 昭和七年一月二日本社到着分迄

宛名 住所氏名を明記して『京城日報』經濟部宛の事

注 葉書に一人一枚一題限りとす 兩題を葉書一枚に連記は無効

京城日報社

米

大納會切迫し整理商內

連節小浮動を持續し閑散

前場 阪地安を受けて中九圓二十五錢先九圓七十二錢と前日の上値より下放れに寄付きしも、押目は買方の引物でアトは絡ら八十一錢から五錢ヽ引返し上値は買方の手仕舞ひも多く從つて八十錢から七十七錢所に連節整理商內

米界展望

後場 前場阪地の氣崩れ安を嫌めて全く整理的商內を續けた折柄、後場阪地の腿りなきに中不由先九圓七十九錢と寄付きこの邊の保合を破けたが二回には八十五錢と持ち上げ更に八十九錢もつけ强硬裡に削掘の如く大引した

愈々押詰つて市場は整理商內となり相場は保付いてしまつた▲もう笑うても泣いても一日と半日しかない立會であるから此邊の大納會と見るのが妥當であらう▲二十一日の米穀委員會で決定した率勢米價は最高二十四圓台最低が十六圓台となつて居るが從來の率勢米價より率をいといふ向が多い▲なる程右の率勢米が基準にするとこの買上げ所が却つてこれで金再禁のおかげといふてよかろう▲若し政ない▲此邊で大納會するとせば今年の暮れは買方といふ買方は過ならぬ事になるので誰れしも物ら引下げるにしても今年の米は高くなつたら買米氣れで買方は今頃悠さんに苦めら れて居たかも知れない▲して見ると今年の政變は買方に對する助船であつて強ち政友內閣に限ると大に大養木堂さんを崇拜するのに無理もあるまい

理想買疲れ？

昭和六年度產米は明年の自給關係から見ても、早晚高からざるを得ない米であるところへ金再禁によつて物價は既に二三割高を唱へてゐる程であるから見方に依ると行く\/はどんな高値を出現するやも計らないことを思はしむるのであるが、然し定期が斯の如く理想的に買進んで產地の正米を吸集する間は過去の例に徵して貸い高値を出現するのは容易でないのみか買方に銷質ひの疲れを生じてゐることの咎め相場を出して立直る……

安心買を許さず

正米は產地出過ぎと金再禁に依る農家の賣惜みによつて出廻りは殆んどなく此邊下げるにも下げ難い情勢にあるも一方內地方面の注文を見ると依然行詰方面の買物は紗なく只採算筋が發米として買注文がある位に過ぎない從つて產地から出廻つて來る米はその數量は紗なくても市場へ停滯する一方、斯ふした現狀が續く間は强氣も安心買ひを許されないだけ該許本格的に立直る事は至難で明年の二月頃まで下値は產地の賣物湧に牽制されるかも知れない

政策期待外る

去る二十一日米穀委員會で決定した率勢米價によると最高二十四圓四十七錢最低が十六圓二十一錢となつて居る、そうして今後の買上げについては何等協議されてはないので買上見越しに吹き上げた相場としては買方の失望により茲に反動安を出現するのは當然であつて右の率勢米價から見ると現下の相場に比し買上げすべき點は全くないのみか寧ろ上値の調節を爲すべき値頃に近づいてゐるわけである。して見るとこの上政府の政策によつて米價の釣り上げは條り期待出來ないと同時に各集散地在米高を阻止されどちらにも大動きはなく推移するものでないかと云ふ向もある

現實の板挾み

明年の需給關係とか金再禁に依る物價の値上り又は政友內閣の積極政策から考へると此邊は割安と云ふ事になるが仕手關係から見ると何所も實需筋が迫り買込み難ごに反し當面の集散市場も意外の米山を築き而もそれが悉く當業市場に凭れ買方は殆んど鳥合の勢を思はせ買人氣は强くとも許せざるを得ない立場となつて居るし丁度現實の板挾みとなり何にか日新らしい材料が現れる迄は往來相場と見るのが安當かも知れない

仁川 福 期米 / 御賣買案內書進呈 相場日記帖呈 / 仁川本町三ノ四 小林取引店

公債市況 (廿二日)

東京國債市場正午氣配▲甲號五分利八六、八〇▲第二回五分利八五、八〇▲四分利七三、四〇▲一回四分利七三、三〇▲二回四分利七三、四〇▲十七年もの一▲十八年もの一▲廿二年もの八八、五四分利一二五、三〇

取組高

二十二日前場までにおける當地短期主要株取組高は七千二百六十二枚にしてうち百枚以上の建玉內容左の通りであつた

京取 賣方白井二〇立山一九〇松山二七〇古野二〇

大新 賣方大林一四〇白井一、〇八〇德泰六五〇成瀬二五〇松山一〇〇立山二〇〇▲買方一、一〇〇德泰一六〇齊藤二七〇松山一、〇五〇古野一、〇〇〇立山二八〇

東新 賣方白井二七〇立山二〇〇▲買方白井二五〇山口二三〇松山二二〇立山一二〇

期米 (廿三日)

◎仁川	前場 寄付	納會	中限	先限
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京期米	寄付	前日
[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇大阪	前場	後場
[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇東京	前場	後場
[illegible]	[illegible]	[illegible]

鮮內延べ	前寄	前止	後寄	後止
◇京城	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇釜山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇大邱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇群山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇木浦	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

京城延べ

往來反覆 無味商情を續くる

前場 前日期待外れから味ない折柄、今朝は思ひ足取りを辿つた折柄、今朝は大阪二十六了安を陷めた

大阪市中在米高

二十日現在は二百十六萬七千百十七俵と前日の在米高に比較して七萬六千二百六十六俵の增加である

市況 (廿三日)

◇大阪棉花	寄付	前引	後寄	止め
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪市中棉糸		
ストリクト・ミドリング	[illegible]	[illegible]
ブローチ	[illegible]	[illegible]
ベンゴール	[illegible]	[illegible]

◇横濱生絲	寄付	止め
[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪砂糖現物 日糖(ST)現物 臺灣中白 二十圓 [illegible]

京城 一等精白米十四圓五十錢鮮白米十九圓ト丸キ合格玄米三等十九圓十錢四等十八圓九十錢今指玄米上十七圓八十錢下十六圓八十錢粟上五錢四中五錢二下五錢

大豆 龍山九、六〇長湍九、七〇漣川九、七〇鐵原九、六〇

仁川 丸キ角チ丸チ石拔三等十九圓卅錢四等十九圓地稻米十六圓五十錢一等白米丸仁印七圓九十錢籾改良種五錢三厘在來種五錢一厘で何れも產地出廻りに手堅い商狀である

大豆 龍山丸ニ長湍漣川九圓六十錢並扞南川新溪九圓卅錢海州大安八圓五十錢で產地の賣惜みに底堅は强硬である

釜山 基準米價の安値發表から反落した內地市場は更に軟勢を失はざるも正米界は依然底堅く高値思ひに下漲り折柄內地入注引當あり入氣良く移出筋稍米筋手當あり六千七百十二叺の西內出來し氣配は前値を支へて慶南產良三等十九圓五十錢糯力三等十九圓十錢無格十六圓九十錢等外十五圓九十錢見當を唱へた

大邱 昨急反落の市場は內地より入注可成あり高値遠へ人氣に氣配底堅く安值は移出筋、思惑筋の掬ひ買ひありて內地問算のなは歎迎も前値を支へ慶良三等十九圓六十錢糯力十九圓四十錢見當を唱へた

群山 內地期米の大亂高下後なほ軟弱歩調を辿るも當市場入氣は與地の頑强と共に底堅く高値再出現氣構へに入津一萬五千叺と多きも入注亦々共に克く消化され氣配十錢方上迫ひ丸セ三等十九圓四十錢四等十八圓九十錢見當を唱へた

茂平次以状 [84]

行友李風 作 / 藤井耕遙 畫

『ちやア旦那さま、何ア泊めてくれるんだね?』

『人目に立つと近所の口が煩さいから、入つて來なよ?』

『アヽ――助かつた、旦那有難う\/』

恥も、外聞も打忘れ、頭を下げて戴く娘から厭しさう、敷居を跨ぐと眼くに大戸が閉ります。

下ろし々に、人々は改めて行燈の灯影に巡禮の痛々しう窶れた服裝を視上げ顧

『お江戸だよ』

『姫や國は何處だ?』

『坂東の巡禮といへば關東八州、ザツと回つて三百里の長旅、ナカ\/容易な道中ぢやアねエぜ、何か心願の筋でもあるのかい?』――不安が怨ずり始奇に變つて、種々なことを訊きたがる。

『コレ\/お前達、今針のお節介は止しにして、早く彼方へ連れて行つて、草鞋を脱がせてやるが宜い』

玉の緒橋(三)

まことにこれ稀有の天候。

異常の秋に、しかも怪奇の御醜る、普通事とは思へません。

『ヤイ\/、番頭さんは親切から敢へてみなさるんだ。そんな惱まれ口を利く奴がやアねエ、安泊りならお誂月だつて澤山は要らねエし、温かくして寢かしてくれるんだ。飯も遲くならねエ內に早く身體を休めるが宜いや、行き先任きな?』

迫掛けうと膽して見るが、イツかな動きさうもなく、

『――解つてるよ!』

『解つてゐるんなら、早く出掛けるよ?』

急にホロリと悲し氣に、

『番頭さん、お願えだ、庭の隅でも何處でも宜いから夜が明けるまで寢かせておくれよ、お腹は減たし、誰れも御報酬は呉れねエし、それに安泊りへ往たつて、無錢ぢやア寢かしてくれねエし……』

足を探つて喫り泣く憐らしさ、嘘に泣くのではないらしい。

『ウーム、困つたなア、理由を訊いて見れやア可愛想でもあり、そうしてお前今ごろに、一體何處から歩いて來たんだ?』

『彼方!』

と彼方を指さして、

『遊行樣のお寺のある宿から』

『ちやア藤澤だ、姫ッ子の足で四里余りといへば、樂な丁場ではないこれは疲れたも道理な話だが』

『何うした物だらう?』

番頭が、ホト\/思案に迷つてゐる背後から、

『泊めてお遣り』

と、主人の喜四郎。

『おゝ、旦那樣、今のをお聞きでございましたか?』

『素性の知れない一人旅、と云つた所でたかが娘の子、宿役へ屆けるにも及ぶまい、唯お客人のお目障りになつては成らないから、ソツと勝手元へ連れて往き、温かい夜具でも振舞つて、何處かへコツソリ寢かしてやるが宜い、これ、巡禮衆や、此方へ入んな?』

行き屆いた主人の指圖に小娘はもう一度、

『旦那樣有難う、番頭さん有難う』

禮の言葉を繰返し、欣々として勝手の方へ通ります。

『ナカ\/物堅さうな子供でございます』

『今日一日の功德の種、さあ、お前も早く寢んでおくれよ』

鍋々と、霧をつんざく刻の鐘。

番館りの柝の音に、唯物凄く更ける夜。

奥の二階の四人の客も、いつか枕に着いたらしく、宅中の男女もそれ\/に寢へ入るとすぐに高鼾、隣路の深更はまるで死滅の境のやうで、こゝに異妖が跳梁します。

その眼を振げ、その牙を鳴し颯然として躍り出る、それが今しも夜具部屋から脱け出して、廊下の壁へピツタリと兩手を開いて喰着いた。蝙蝠に似る巡禮娘の姿でありました。

心の臓鑑が月蝕めたとでもいはうか、もう宵の裡の憐らしい可愛い相貌ではありません、脹のやうな眼の輝きと手足の動き。徐と、四邊の暖租を窺づて。

新年號 改造 堂々壹千頁

本號は再版絶對不可能・賣切れぬうち至急お求め下さい

附録共 特價壹圓（送料六錢）
東京市芝區愛宕下町 振替東京八四〇二番 改造社

大附録 最新百科社會語辭典

附録だけでも一圓以上の價値!!
堂々三千枚の原稿 内外の政治・經濟専門語から左翼用語、科學、人物、スポーツ、モダン語等々に至る凡ゆる社會語を明瞭に解説した現代人の座右に不可缺の一大百科辭典

北滿の戰場を横切る　本社特派員 里村欣三
陸軍の新潮流　岩淵辰雄
「爆彈」の話　（青木保）
支那の兵隊　池田桃川
未來印度の指導者 ネール　（サバルワル）

犬養内閣と金輸出禁止　鈴木茂三郎・山崎靖純・永川俊美・高橋龜吉・有澤廣巳
日本ギャング氣質　（陸直次郎）
足利尊氏（第四回）　直木三十五
歌　北原白秋・齋藤茂吉
馬の話　談 菊池寛
懸賞興味讀物入選發表
ファシズムの流に浮ぶ協力内閣問題　大山郁夫
花井卓藏　今村力三郎
マスカーガ・ド・ベー 黒人王　布利秋
兜町を歩く男　和田邦坊
女護島　中山太郎
フランスの甘粕事件　佐々木金之助
大東京の殘飯物語　草間八十雄
パトロン百面相　辰野九紫
歩み寄る春　吉田絃二郎
伯林の宿　阿部次郎

我が議會政治の再吟味　佐々木惣一

世界の危機
イギリスの危機　大森義太郎
フランス經濟の危機　美濃部亮吉
支那今日の危機　鈴木言一
合衆國と世界經濟危機　阿部勇
危機に直面せるドイツ　有澤廣巳

銀線を描く スキーを語る　浦松佐美太郎
ゲーテとヘーゲル　谷川徹三
ナポレオンと琉球　伊波普猷
西園寺公と巴里　木村毅
科學小説 暴れる怪力線　福永恭助
怪奇小説 魔法街　大下宇陀兒
小説 プロレタリアの女　平林たい子
小説 風　龍膽寺雄
小説 馬車　横光利一
小説 舵　里見弴
小説 通三丁目　十一谷義三郎
小説 地底の英雄　橋本英吉
拳鬪　牧逸馬
税制整理と赤字豫算　土方成美
失業保險の必要と可能性　末弘嚴太郎
犬養内閣論　佐々弘雄

京城日報

香料 化粧品 飲料水 製造用
香水原液 染料 着色料
東華洋行 京城府花園町九七

強力 消化素
タカヂアスターゼ
高峰博士の發見以來既に三十餘年、初め單なる澱粉消化素として知られたる本劑は、その效果の顯著卓越せるにより世界學者の注意を喚起し、その結果は獨り澱粉質のみならず、人及び動物の膵液中に存する殆ど凡ての消化酵素を含むこと判明し、益々治療界に重きをなすに至れり
食慾不振に、消化不良に、過飲過食に
上掲胃腸疾患のみならず、一般榮養增進の要ある諸症例へば肺結核、貧血症、虚弱者等の胃腸機能を增進する目的に廣く愛用を見る
粉末、錠劑、各種あり　（説明書進呈）
東京・室町 三共株式會社 大阪・臺北・紐育　三共の藥品

ノーシンを……のんだ頭の輕い朝

虚弱に滋養と強壯 ニンニクエキス
滋養 卵油 鰻油
井上又七

安田銀行 京城支店

明治ミルクキャラメル
正價 大小 48錢
明治製菓株式會社 東京丸ノ内

セキトメ ボンボン
うまくてよくきく咳止のお藥
各地藥店にあり
和光堂

京城第一自動車學校

入院隨意 京城府永樂町二丁目 酒井婦人病院 酒井一郎

商業及法人登記公告

[illegible]

京城地方法院

牛莊の匪賊優勢 我討伐隊苦戰
電信、電話切斷され 消息不明に憂慮さる

【海城廿三日發電】匪賊牛莊城入城の報に昨夕匪賊を撃退すべく牛莊城附近の黄土坎子に到着するや我討伐隊の一部隊は匪賊の大部隊と遭遇激戰し、我軍苦戰に陥り兵一名負傷、通譯官一名行方不明となつたがその後牛莊城と海城との連絡電信電話線切斷され消息不明にて牛莊近傍大旺屯支那巡警の談によれば

「日本軍は數倍の優勢な馬賊に包圍され全滅に瀕してゐる」

と傳へられ憂慮されてゐる、なほ牛莊に襲來した老北風の二千の匪賊は我軍が廿一日牛莊城に入城し匪賊を討伐廿二日撤退を開始せるに乘じ牛莊城を乘取り撤退中に我討伐隊に逆襲して來たものである

伊藤大隊匪賊と激戰中

【海城廿三日發電】今朝當地を出發した藤井大尉の率ゐる歩兵第○○聯隊及海城野砲隊は午後二時三十分牛莊城東方一里白旗堡部落に前進伊藤大隊と合體するや突如牛莊方面より五百の匪賊の猛烈な襲撃を受け我軍應戰目下激戰中

須田二等兵勇戰して倒る

【海城廿三日發電】昨夜牛莊城の兵匪攻撃に當つた伊藤大隊は頑強に抵抗する匪賊團と猛烈な市街戰を演じ廿二日午後六時先頭に立つて活躍してゐた海城野砲隊の二等兵須田義信(新潟縣刈羽郡野田村出身)は胸部に貫通銃創を受け名譽の戰死を遂げた

牛莊城内に凄慘な市街
激戰三十分で匪賊遂に潰走

【海城廿三日發電】白旗堡において我軍に對峙し頑強な抵抗を試みた匪賊は兵力五百に增加し我軍に機關銃、小銃の一齊射撃を浴びせたが午後二時遂に我軍の猛撃に堪へず牛莊城内に向つて退却しはじめ我軍は午後四時装甲自動車を先頭に猛烈な追撃を開始し、**北門より牛莊城に進撃し城内各所より頑強な抵抗をなす匪賊團と凄慘な市街戰を演じ**激戰三十分ののち匪賊は城内各所において掠奪、放火、暴虐の限りを盡し、西門より城外に潰走した、我騎兵部隊は直に賊軍を全滅すべく追撃をした

我が軍牛莊城を占據

【海城廿三日發電】賊團を撃退し廿三日午後四時牛莊城を占據した、我軍は城内匪賊を掃蕩して各所の警備に就いた今夜牛莊城内に宿營し明早朝より附近匪賊團の討伐を爲す筈である

學良義勇軍 新民府包圍の 隊形を整へる

【新民府廿三日發電】白旗堡方面の學良義勇軍は附近の匪賊と結合し新民府方面包圍の隊形を整へてゐるが彼等義勇軍の狀況は左の如くである

一、耿繼周の率ゆる義勇軍第四路軍三千は目下白旗堡において北寧線の東西に陣地構築中で最近錦州の策源より兵器、機關銃及び迫撃砲六百挺を敵の下に送付して來た

二、當地北方五台子、六台子方面の天龍隊、如意等を頭目とする匪賊團數百名は目下東進中

三、北寧線北方牛家窩棚の第五路軍司令君子陣の率ゆる二千五百も東進中

四、第一路より第九路までの義勇軍は當面南方太民屯、興隆花泡高力屯方面に集結中

我偵察機に一齊射撃を浴す
敵を撃破して歸る

【奉天廿三日發電】二十三日早朝奉天飛行場を出發機は西方石佛寺方面で交戰中の友軍援助に向つた我偵察機○機は石佛寺において苦戰を續けつゝある第○大隊を掩護し敵に爆撃を加へたが敵は我飛行機に向つて小銃の一齊射撃を浴びせ我飛行機は何れも數ケ所に敵彈を喰ひながらも奮戰を續け午前十一時廿分敵を撃破して奉天に歸還した

錦州軍の配備狀況
=二十二日現在

【東京二十三日發電聯合】軍部において調査せる二十二日現在大凌河以西における支那軍の兵力は正規軍三萬五千、砲六十八門(重砲二十二野砲二十六)にして錦州政府に屬するもの別働隊約三萬(主として馬賊を糾合せるもの)騎兵六大隊約五千、後備、歩兵十個大隊約八千にして尚續々增加しつゝあるがこれ等の部隊は大凌河右岸と大凌河間及び新民屯、双陽甸南方地區よりの線に第一陣地を構へ兵站附近に中間陣地を設け錦州附近に最後の陣地を構築せんとするとの通報に接した

學良別働隊
安奉線破壊を企つ

【奉天廿三日發電】張學良の別働隊十三名は廿三日午前九時半安奉線通遠堡鳳凰城間の鐵道を破壊せんとすとの通報に接した

南前陸相滿洲へ向ふ

入城中の南陸相南大將は二十三日午後七時二十分林軍司令官以下軍部首腦部その他官民多數の見送りを受けて京城驛出發一路滿洲へ向つた(寫眞は京城驛發の南大將)

我軍田庄臺占領
第○○聯隊及び 第○○○○大隊偉勳

【營口特電】廿三日朝北方に向つた第○○聯隊及び○○○○大隊は午後三時頃より田庄臺を攻撃中なりしが同午後五時半同地を占領した旨その筋に確報があつた

匪賊四散す
我空爆隊の猛撃に遇つて

【開原廿三日發電】通江口北方金家屯方面に集結せんとせし兵匪二千名に對し我飛行隊○中隊の佐藤機小山機等○機は廿三日午前八時空中より匪賊に對し猛烈な攻撃をなし敵主力は周章狼狽しつゝ附近一帶に散亂、他は空軍の威力に恐を爲し四散し、平田中佐の○○隊、田所中佐の○○○隊は我飛行機と呼應して附近に四散する敵を撃退し、又五叢子方面に逃亡した法庫門知事の操縱する兵匪數百名は我爆撃機の空中よりの攻撃により多大の損傷を與へられ殆んど全滅し、通江口一帶敵影を見ずへ

意氣衝天の我軍
○○に出發

【營口特電】當地に待機中の第○○聯隊および○○○○大隊に對し出動命令下り二十三日午前七時意氣衝天の勢ひにて○○に向つて出發した

法庫門、通江口方面の 討伐の目的を達成
森○○○○隊司令官談

【開原廿三日發電】通江口一帶の匪賊遂に影を潜めた爲め我が田所○○隊、平田○○隊は二十三日午後通江口より長短距離を取り二十四日中に滿鐵線馬仲河驛に歸還すべく又島本○○○隊もすでに歸還の途に就き、騎兵隊は廿三日中に鐵嶺に歸着し斯くて討伐隊は明日午後中に全部歸來して奉天、鐵嶺等原駐地に歸還し法庫門一帶の匪賊大討伐はここに完了するが森○○○○隊司令官は左の如く語る

今回の匪賊討伐は多數集團が各所に集結されてゐたゝめ難戰續きであつたが、これまでにない大討伐となり法庫門、通江口等の匪賊は頑強に最後まで抵抗したが遂に我軍の猛撃に依り潰滅し或る地點では多數の兵匪を殲滅した處もあり、**從來六十餘回に亘り討伐を爲しても尚ほ殘存蟠踞してゐた匪賊も影を潜めて完全に討伐の目的を達成した**

出火に乘じて 匪賊襲はんとす
佐賀大隊急遽赴援

【新民府廿三日發至急報】巨流河驛屯松崎中隊宿舎出火するや附近に潜伏中の匪賊團は大擧して我軍の混亂に乘じ猛襲をなすべく行動を開始した、急報に接し新民府部隊は極度に緊張し佐賀大隊長は自ら先頭に立ち佐野中隊及○中隊○小隊を率ひ午後六時二十分新民府發第二救援列車で急遽現地に急行した

留守部隊の武装警備

【新民府廿三日發至急報】我が新民府駐屯部隊の大半が第一第二救援列車にて巨流河に赴いたゝめ兵力手薄となりこれに乘じて新民府周圍の匪賊群再び襲來するを恐れ殘留部隊は全員武装して市内の警備に就き萬一に備へ警戒中

空輸機
運行地域擴張

【東京電報】陸軍省發表=關東軍では軍用ならびに後方との連絡ならびに軍需品輸送のため日本航空會社の飛行機を使用してゐたが部隊連絡を一層有効ならしむるため更に近く大連奉天間および奉天長春、ハルビン、チチハル間に運行開始の豫定である

芳澤大使
一月頃東京着

【東京電報】芳澤大使は二十六日頃パリ發二十一日モスコー通過歸朝する旨二十三日外務省に入電があつたが途中數日間滿洲を視察する筈であるから東京着は一月十六、七日頃の豫定である

四箇國公使
錦州派遣の武官を增加

【北平廿三日發電】英、米、佛、伊四國公使は錦州の形勢逼迫により錦州派遣の武官を增加せしめてゐる

多摩御陵に行幸仰出さる

【東京電報】天皇陛下には二十五日多摩御陵に行幸遊ばさる旨仰出された

閑院宮殿下 參謀總長親補式

【東京電報】閑院元帥宮殿下の參謀總長親補式は廿三日午後二時より宮中鳳凰の間に於て行はれ鈴木侍從長、奈良武官長以下侍立の上參謀總長に御親補の勅語を賜はり終つて犬養首相より殿下に職記を御授け申した、なほ引續き金谷大將の軍事參議官親補式が行はれた

補參謀總長 元帥陸軍大將 載仁親王

參謀總長陸軍大將 金谷範三 免本職補軍事參議官

茂山對岸の 支那兵引揚
馬賊の跳梁衰へらる

【茂山特電】茂山對岸にある支那東北陸軍步兵第一旅第六七七團第一營第一聯長老文官外將校約七十名の全員は二十三日中に局子街に引揚げ準備中なり、冬籠りの馬賊隊はこれがため活躍するものと注視されてゐる

錦州の逼迫に 天津の支那軍
待機命令を發せらる

【天津廿三日發電】王樹常は張學良の命に依り錦州の形勢逼迫に伴ふ天津の治安維持につき天津近郊の各部隊に對し待機命令を發したなほ天津の戒嚴時間を延長し又兵工廠は晝夜兼行兵器製造に忙殺されてゐる

六十議會

正副議長選擧戰 民政凱歌を擧ぐ
第一日の衆議院

【東京電報】第六十議會はいよいよ二十三日召集された絶對過半數を擁する民政黨は冒頭において行はれる正副議長選擧に壓倒的の威力を誇示し、今議會の前哨戰に先づ凱歌をあげんとしてをり、衆議院は早くも解散氣構への空氣に掩はれてゐる、午前十時鈴を合圖に各派議員一齊に入場し正面左側に民政黨が議席を占め、右側には與黨政友次いで中立、無産の順序に陣を張つた、斯くて十時二十五分開會田口書記官長は議長席につき

之より正副議長の選擧を行ひます

と宣し、十時廿七分堂々巡りが開始され同五十分これを終はり開票の結果(無記名投票總數四百三票過記)投票總數四百二票

二百四十票 中村啓次郎

二百票 河波荒次郎

百九十七票 河西豐太郎

百九十四票 菅原傳

百二十票 木下成太郎

無効二票あり、よつて中村啓次郎氏議長第一候補に當選し、その他四名は何れも過半數に達しないので決選投票を行ふこととなり十一時四十七分再び堂々巡りに入る斯くて開票の結果

二百二十八票 河波荒次郎

二百二十二票 河西豐太郎

百二十票 菅原傳

百七票 木下成太郎

で河波、河西兩名が議長第二第三候補に當選午後零時二十八分一先づ休憩

再開

【東京電報】衆議院は午後一時二十四分休憩前に引續き開會、午前副議長の選擧を行つた結果

投票總數 三百四十三票

二百十九票 增田義一(民)

百九十一票 佐竹庄七(民)

百九十一票 菊池良一(民)

百二十一票 津崎尚武(政)

百十二票 中谷貞頼(政)

百十一票 清水銀藏(政)

其の他三尾邦三(政)二票、松山常次郎、大石倫治、一瀬、田中、大野、堤、松田、定塚、各一票となり第一候補に增田義一氏、第二候補に佐竹庄七、菊池良一兩氏當選、かくて正副議長候補を政府に通告、近く正式任命を待つこととして午後二時二十三分散會した

衆議院正副議長
辭令傳達を受く

【東京電報】衆議院正副議長は二十三日午後五時宮中において犬養首相より左の如く辭令傳達あつた

正五位勳三等 中村啓次郎 衆議院議長に任ず

增田義一 衆議院副議長に任ず

貴族院の 各派役員決る
交渉會の結果

【東京電報】貴族院は廿三日午後三時各派交渉會の結果左の如く決定した

全員委員長 松平頼壽伯

豫算委員 (火曜會) 一條實孝公、大隈信常侯、細川護立侯、中御門經恭侯、松平康昌侯、佐々木行忠侯

年内に於ける 議會最終日
廿七日に繰上か

【東京電報】政府は年内議會最終日廿八日を一日繰上げ廿七日として議會に對し民政黨を通じ民政黨その他に交渉中なるが大體政府の意向通りと決定する模樣である

民政黨脱黨組
正副議長選擧に 民政候補に投票

【東京電報】民政黨脱黨組たる杉浦、風見、中野、三浦、岡部、山道谷六氏は議長副議長選擧に際し民政黨側の候補者に投票した

衆議院の 各派交渉會

【東京電報】衆議院各派交渉會は廿三日午前九時院内交渉室に開會(政友)植原悦二郎、金光庸夫、山口義一、青木精一、津雲國利(民政)鈴木富士彌、一宮房治郎、田口書記長出席

先づ田口官長より議長選擧に當り小山副議長も辭職し、動議の手續きも完了したが正副議長なき前例がないので内閣法制局側に憲法學權威者と打合せを爲した結果、議院法第三條第二項により書記官長が選擧を行ふことを妥當とすることにしては如何と諮り異議なく承認、議長選擧は午前中副議長選擧は午後行ふに決し九時散會した

旅順に軍艦派遣
朝鮮國調記念章制定等 きのふ閣議にて決定

【東京電報】二十三日の閣議は午後三時二十分首相官邸に開會、犬養首相以下各閣僚出席、荒木陸相より滿洲事變による死亡者特別賞金に關し提案別項の如く決定し後朝鮮國勢調査記念章制定の件を決定、ついで豫算編成につき協議の結果、各省の復活要求は追加豫算として要求することに申合せ、ついで大角海相より旅順方面の情勢を報告、軍艦能登呂、出雲兩艦を旅順方面に出動せしめることに決した旨を述べ承認を求め、更に當面の重要問題を協議し四時過ぎ散會した

けふの議會
貴族院は休み衆議院は部屬決定

【東京電報】二十四日の貴族院は休み、衆議院は午前十時開會、中村新議長席に就き抽籤により各部屬を決定、一日休憩部長理事の選擧を行ひ、この結果議院に報告して成立この旨政府貴族院に通告しての筈

勞農大衆黨 即時解決
の決議を首相に手交

【東京電報】全國勞農大衆黨の麻生書記長鈴木、中村の兩執行委員は廿三日午前十一時五十分大山、松谷、淺原三代議士と共に官邸で犬養首相と會見し第六十議會即時解散の決議文を手交した、これに對し犬養首相は解散を何時やるかは時期があるから明答は出來ないが諸君の意圖は十分諒とする旨を答へ、正午會見を終つた

首相西下
組閣奉告の爲

【東京電報】犬養首相は組閣奉告の爲め廿七日東京發西下、伊勢神宮畝傍御陵に參拜廿日歸京の豫定である

商工省貿易局 復活と決る
廿三日閣議にて

【東京電報】前内閣で廢止に決した商工省貿易局は本日の閣議で復活存置に決定しその費用四萬六千圓は追加豫算に計上される筈

地方官會議
一月十日前後に開催

【東京電報】現内閣成立後初の地方長官並に各務部長の聯合會議召集について政府部に内務首腦部は今議會は必然的に解散は免れ得ざるものとの見解から急速に召集する必要に迫られて兼ねて熟慮中であつたがいよ〜來春休會明け議會前の大體一月十日前後に開催する事に方針を決定した

「協會」がどう動くか まだ何とも言へない
實情は諒解さる暫く成行を靜觀
努力の、谷社長歸る

去月火保料率が發表されるや、全鮮における各商工會議所をはじめ實業團體は擧つてこれに反對し全鮮に漲る反對熱が益々猛烈となるに至り、谷朝鮮火災社長は特種の意義を以て創立された同社の立場を考慮し、協定會社に對する新任務を依頼、相當堅き決意を抱いて、去月二十八日東上、爾來一旬余に亘り、各務大日本聯合火災保險協會長をはじめ協會本部委員その他に對し、朝鮮の實狀と立場を詳述して目的貫徹に努力し、二十二日午後七時一先づ歸城したが『中央に出向いて、知らない所を尋ね廻るとは田舎者にとつては相當に怖かつたよ』ともらしながら、疲勞の色をも見せず左の如く語る

先月二十八日東上以來、火保協會委員會に臨むこと二回、各務協會長を始め日本側委員八名全部、外國側委員、其他協定會社多數を歴訪し、朝鮮の特種事情と立場を詳しく話し、料率改訂につき極力諒解を求めることに努めたが、遺憾ながら決定するには至らなかつた、たゞ

朝鮮の事情 と立場だけは相當に諒解されたと思はれるが、協會の中には複雜な關係があつて協會態度がどう動いて來るか目下のところ何ともいへぬ今後暫く成行きを靜觀するつもりである、萬一料率緩和が不可能となつた場合には協定から脱退するかつて……そんなことはまだ何とも考へて居らぬ、歸りに大阪、神戸に立寄り同樣の運動をしたが、料率問題に努めた、富田君は地方會長として東上したが數日中には歸るだらう

內地財界の 景氣はなかなか良いやうだ、これが刺戟となつて急激な變化でなく自然に良い方に向いて來れば結構である、政府の施設と相俟つて順調に行けば一時的の景氣に終らないとも限らぬ

議會雜觀

【東京電報】今日第六十議會召集日、目まぐるしかつた政界波瀾後を承けて先づ議長選擧、解散議會の前哨戰だ、この日衆議院登院の一番のりは例によつて坂東幸太郎君午前六時五十分霜を踏んで衆議院玄關先に現はれ守衛君を驚かす

◇

安達一派の脱退組を加へた第一黨は革新、無所、實本派、協力派の雜居となつてその賑やかなこと杉浦武雄君が松谷與二郎、西尾末廣君等と『何うぞよろしく』と握手して廻るお御大、安達謙藏、富田幸次郎、中野正剛の諸君はとう〜姿を見せなかつた

◇

十時五分前犬養新首相が鳩山秘書官長をつれて政友會陣營にブロック姿で現はれると陣を固める代議士連一齊に萬歳を浴せ我黨内閣の氣分橫溢

◇

その政友會の院内代議士會で久原幹事長が總裁指名の議長、副議長候補を讀み上げ

議長 菅原傳、木下成太郎、藏園三四郎

副議長 津崎尚武、中谷貞頼、清水銀藏

までは靜かだつたが と來ると一同げら〜笑ひ出す某代議士が『笑ふなんて失敬だぞ』と憤慨すると鳩山新文相『御當人が笑つてるんぢや喧嘩にならんよ』一同清水銀藏君がげら〜と笑ひ崩れてゐる、一同これを見てめでどつと笑ひ崩れる、朗らかだ

研究會
柳澤保惠伯、兒玉秀雄伯、酒井忠正伯、大久保利武侯、廣松友光子、八條隆正子、前田利定子、秋元春朝子、岡部長景子、花房太郎子、秋田重季子、野村益三子、秋月種英子、小松謙次郎、大谷尊由、山岡萬之助、大橋新太郎、原田熊次郎、土岐章、森平兵衞、濱口儀兵衞、風間八左衞門、八馬兼介、西尾忠方子

公正會
坂本俊篤男、大井成元男、井上清純男、伊江朝助男、松岡均平男、深尾隆太郎男

同和會
石塚英藏、上山滿之進、宮知鎭香、有吉忠一、赤池濃、尾崎元次郎、田所美治

交友俱樂部
南弘、石渡敏一、川村竹治、竹越與三郎、森田福市、橋本圭三郎、長岡隆一郎

同成會
高田次平、丸山鶴吉、阪谷芳之輔、平田吉胤、菅原通敬

會
◇總督府戰勝茶會 二十三日午後三時半後城迄官邸に土曜會員並に同志會員一同を招待、晩餐會を開催同四時過ぎ散會した

人
◇森菊五郎氏(東山大發商會長)廿三日朝入城不知火旅館へ▲正木忠一氏(同理事)同上

太平漫語

第六十議會開幕。第二黨内閣の登場▲與黨の政友會は席が騒々しい。騒々しいはずだ。第一黨が半分以上を占領してゐる▲朝野兩黨陣容を整備して議會に臨んだといふ。與黨は小じんまりと整備し、野黨は大雜把に整備した。與黨は黨選第一、野黨は結束第一。こゝにも新風景がある▲六十議會も解散までは命がある。三日議長、三日委員長せい〜同君をつけておくこと。三日の同君もかならずしも無駄でない。同君をつけ損ふても何かの役に立つ▲中村新議長、新議長の名において至誠を傾倒して公正事に當るを誓ふが、解散の名においては、至誠を傾到する暇もなく、公正事に當る暇もなくなるかもしれぬ▲政友會が十大政綱を發表した。野における公約を忘れず改めてこれを天下に宣示したのはよい。問題はこの實行である。實行の誠意に疑念を挾むのではない。實行力に疑ひがあるのだ▲蔣介石が郷里奉化に閑臥するそうだが、こんどは何時出て來るつもりか。兩君には柄にないホテルの、陶淵明だの歸去來だの▲殺人犯人が桐山氏で捕まる。お手柄であつた▲だが、こんどばかりは迷宮に入つて困ふには條件が揃ひ過ぎた。此處は條件がわけなく捕まへるためにはよい條件だつた。ものは條件次第——

蔣介石歸郷
夫人帶同にて

【南京廿二日發電】蔣介石は宋美齡夫人を伴ひ飛行機で郷里奉化に歸つた

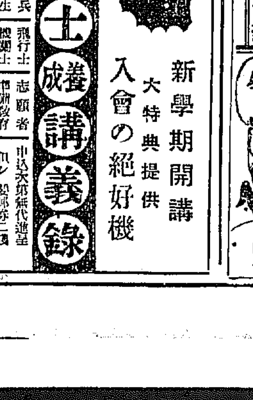
臧省長
命令を發す 治安維持に關して

【奉天廿三日發電】遼西地方に匪賊横行し奉天省内の治安紊亂しつゝあるに鑑み奉天省長臧式毅氏は本日省内各縣政府及び地方團體に對し大要左の如き命令を發した

過去數ケ月以來省内の秩序極度に紊亂し殊に最近各地の匪賊横行しつゝあるも今回奉天省政府樹立し本省長は各地方長官と協力して秩序回復に努力し人民の苦痛を除かんとし目下匪賊の掃除方法について極力計畫研究中なれば省民は各自職業に盡力して恐ふことなく時局の安定を待つべし

明春の軍縮會議
米首席全權 ドーズ大使に決定

【ワシントン廿二日發電】明年二月ゼネヴァに開催される國際軍縮會議の米首席全權として本日フーヴァ大統領は駐英大使ドーズ氏を任命する旨を言明した



遞信地圖 (昭和六年九月一日改訂)

朝鮮地圖販賣元は(一覽表進呈)

京城長谷川町 小林又七朝鮮地圖部

社説 昭和六年の朝鮮 施政の業績(上)

この一年の朝鮮總督府の施政の業績を一瞥するとき、本年もまた朝鮮統治上に記錄を留むるに足るもの皆無といふ可からず。朝鮮にとつてこの一年がかならずしも無駄でなかつたことを認めるが、嚴格な意味において、朝鮮統治史全卷を通じて顧るとき、本年は決して成績香しき一年ではなかつたと思ふ。敢て不振を極めたといふのではないが、本年こそ振はんと欲して能はざりし遊娠の一年ではなかつたかとわれ等は思ふ。勿論この不振は人爲ではなく災厄であつた。災厄とは何か、いふまでもなく財政の窮乏であつた。財界不況による財政難は本年に入つて倍々激しきものがあつたが、これこそ本年の總督府施政に根本的の障碍を及ぼしたものとわれ等は思ふ。すくなくも施政の重要部分に障碍を及ぼしたことは否定出來ぬと思ふ。この點は昨年も同樣ではあつたが、本年の不況が昨年の比ではなかつただけに、施政に反映することもまた本年は昨年の比ではなかつた。これがため、本年の施政は極端なる緊縮不良に終始した。蓋し、施政を擔當する總督府各部門においても、本年ほど自己の業績に不滿を感じた年はなからうと思ふ。しかし、それは爲さざるにあらずして爲す能はざるためであつたから、施政當局は敢て責めて當らず、これを責めて當らざるは無論のこと、すべては災厄に歸せらるべきだとわれ等は思ふ。

◇

災厄斯くのごとく、緊縮斯くのごとく、本年度の朝鮮事業は、總督府が大努力を致したるにかゝはらず、中央政府よりは極度の緊縮を強ひられ、新規事業は見合せ、繼續事業は中止又は繰延べの厄に遭ひ、偶々成立したる豫算は更に節約實行豫算組替への已むなきに至るの悲境に置かれた。かゝる年に何の見るべき施設事業があり得るであらうか。從つてわれ等はこの方面における本年の總督府の業績を探るのは頗る困難であるが、幸に窮民救濟事業、畑作增殖事業、北鮮開拓調査事業等を列擧し得ることを以て僅かに慰めを覺ゆる。強ひて申せば、この窮民救濟事業は總督府本年の代表的事業であり、新規事業見合せの本年における唯一の例外的事業であり、事業としてもかなりの大事業ではあつた。併しながら一面から見れば斯の事業は本年特有の不況的災厄の副產物的事業に過ぎず、事業自體は有意義としても斯の事業をおこす爲めに他の主要施設事業を犧牲に供せざるを得なかつたとは朝鮮にとつてはかならずしも無條件に喜ぶべきことではないかとも思ふ。この點畑作增殖事業はむしろ本年における最もよき事業といひ得るかもしれぬ。事業として確かく大事業ではないにしても、目的の遠大にして比較的效果の期待せられる點は、本年のごとき不況時に企てられたる事業としては特に記憶さるべき事業と思ふ。北鮮開拓調査事業は經費も極めて僅少なる一調査事業ではあるが、その着想と目的において昭和六年の一事業とするに足る。將來北鮮開拓の大事業が進行するにつけても、その端緒が本年に初まつたことを記憶されてよいと思ふ。何れにしても、この一年の總督府の施設方面における事業が僅これらに止まることを以てしても、本年の施政がすくなくともこの方面において不振であつたことは如實に物語られてゐると思ふ。

◇

施設經營の事業の方面においては、本年はかくわれ等を失望せしむるものがあつたが、助長行政の方面においてはかならずしもわれ等は失望せぬ。むしろ本年の施政を批判するに際しては、この方面に多く眼の注がるべきを覺ゆる。これは不況時にあつて施政當局が特にこゝに留意したる努力の現はれであるかもしれぬ。從つて香しからぬ朝鮮のこの一年においても助長行政の方面においては二三特筆すべき事業も見受けることが出來る。

朝鮮派遣の部隊及び看護婦 途中兵匪のため四十分立往生 安奉線益々不安

【新義州特電】安奉線一帶の不安は刻々に加はりつゝあり、沿線の住民は極度に恐怖に襲はれ安東に向け續々引揚げつゝある狀態にあるが、廿三日午前九時半またく安奉線林家臺、通遠堡中間に兵匪(暴民別働隊)約百名現はれ安奉線の破壞を企てた所、折よく連山關より鷄冠山に向け臨週の途にあつた小里部隊をのせた列車が通りかゝつたので、同部隊附近部落支那人が矢庭に線路內に飛び込み兩手を上げて同列車を急停車せしめその旨を告げたので、小里部隊は直ちに下車してこれと交戰約二時間の後賊は北方に退却したので更に追擊中、これがため午前六時四十五分安東發奉天行特急(同列車には出動の朝鮮部隊及び赤十字看護婦をのせてある)は林家臺に約四十分停車後漸く發車するを得た

附近に

集中してゐる錦州軍の義勇軍は馬賊が主で、その他は附近の村落から農民をいな應なしに徵發した假作りの兵隊でその數約一萬五千に達しその司令官は馬賊上りの耿維周といふもので同人は直接張學良と契約をむすんで軍資金の供給を受け『近く新民を突破して奉天をとりかへすのだ日本軍など何のことがある』と氣焰し、頻りに良民を脅かして義勇軍の兵數增加をはかつてをり二重、三重の我軍の第一線たる新民に對し錦州軍の第一線たる白旗堡はその間に距離が僅に六里餘に過ぎず、双方の衝突は全く避くべからざる狀勢である

錦州軍の戰線益擴大さる 暴虐極まる義勇軍 ◇―錦州第一線の視察

【新民府發電】最近錦州軍の第一線はますく擴大し北寧線白旗堡附近まで進出し陣地を擴充してゐるが、十九日軍通記者はあらゆる危險に遭遇しつゝ白旗堡に潛入、親しく錦州軍の第一線を視察した

◇

白旗堡 は我軍が新民まで撤退した際を狙つて錦州軍の別働隊たる義勇軍が進出して來て陣地を構築し始めてゐるが、この義勇軍は事變後漸く初めてこの方面に出現したもので、その本部は白旗堡驛の南側にある一民家で、屋上に『遼寧省義勇軍第四旅總司令部』と大書せる黃色の旗をたて、兵士も通遠軍服を着した腕に黃色い腕章を卷いてゐる、しかして北寧線は現在なほ皇姑屯より北平まで通じてをり新民までは我軍の警戒區域中であるが、白旗堡驛に到着すると義勇軍のこの武裝兵士がどやくと車內に侵入、嚴重な檢査をなし、少しでも怪しい者があれば支那人でも容赦なく引き下し何らの詮議も許さず驛構內、列車乘客の面前で見るも慘虐な暴行に出る有樣で、列車が白旗堡驛に近づくと、また乘客の嚴重な身體檢査がはじまり、一人の支那人が懷中に古びた四錢の日本切手を所持して居たゝめに日本の密偵と見なされ無理やりに引づり下ろし有無をいはさずギロチン台にかけ、助けを乞ふて泣き叫ぶのを尻目にかけ無殘にも首を斬り落して了つたその慘狀は身の毛もよだつばかりで正視するに忍びなかつた、僅か二錢切手二枚で殺されるとはまるで鬼の樣な話で錦州軍の神經が如何に過敏になつてゐるか察せられる

兵匪の暴虐に數萬の支那農民 餓死線上に迷ふ

【奉天廿二日發電】遼錦線西方法庫門、鄭平方面の兵匪は我が討伐隊の進擊により頑强な抵抗を試みつゝ退却してゐるが、遼河以西打通線に至る一帶の地方はすでにこれら兵匪のため掠奪、放火、暴虐の限りを盡されてをり農民の支那良民は住むに家なく食ふに食なく着のみ着のまゝの慘狀に置かれ、家族打連れて全く死を待つの悲慘な有樣は隨所に見受けられこれら兵匪の橫行が如何に支那良民を苦しめたかが想像される、斯の如き兵匪の暴虐は本日本庄關東軍司令官にも報告されたが本庄司令官はこれら憐れなる支那良民に非常な同情を寄せ、一方兵匪討伐に向へる我が將士の意氣を鼓舞してゐる

ハルビンの支那紙廢刊 本下旬に三紙

【ハルビン廿二日發電】特別區行政長官は北滿の治安を害する支那新聞新公報、東北日報の兩紙に對し二十九日附廢刊を命じ、國際協報も二十二日より廢刊せしめた

滿鐵首腦の恒久性叫ばる 內田、江口兩氏は辭任の臍を固む?

【大連發飛行便】政變後當地各方面では滿鐵首腦者の必然的更迭を豫想し、早くも後任者の噂が傳へ飛び、一面中央筋よりの入電を材料に勝田主計、本多熊太郎、久原房之助諸氏の總裁說が傳へられてゐる、しかし、これ等は何れも單なる臆測に過ぎず格別信憑を置ける報道でなくかたく滿鐵社內の空氣は從來首腦者の更任毎に釀成されたやうな一種の混迷が漂うてゐる、一方當の內田、江口の正副總裁は案外落つき當初は二十日頃出發上京の豫定であつたのをとり止め、內田總裁だけ廿五日出帆のアメリカ丸で上京に變更したが、これ又何かの理由で無期延期となつた、恐らく廿四日帝都の將と會見のためでないかと見られて居るが、同氏等側近者の語る所によれば內田、江口兩氏共ひそかに辭任の腹を堅めて居るもの如く特に江口氏の如きはその潔癖な性情から現內閣の下に依然在任してゐる樣なことは萬々あるまいといふ、斯くて近き將來において當然首腦者の更迭を見んとする滿鐵は又また職制改正乃至人事異動の一大旋風が卷き起されんとし今更に滿鐵首腦の恒久性の確立が一般に叫ばれて居る

慎重なる御考慮を 大連商議會電請

【大連發飛行便】昨年の全滿商工會議所聯合會において決議、中央各要路に進言した滿洲における重要機關首腦者の恒久性問題に關しその後各地商工會議所當事者は機會ある每にこれを高調して來たが偶々今回の政變に際し關東廳滿鐵の各首腦者が何れも近く更迭を見んとする狀勢に鑑み、大連商工會議所では前記の趣旨を貫徹するため二十日內閣總理大臣外各關係大臣に向け左記の通り要請するところあつた

我國の滿蒙に對する重要地位は茲に贅言をもちひず、その對策の當否は直ちに國運の消長に關する滿蒙經營上至大の障礙は政變による頻々たる滿蒙經營首腦者の更迭に存することは過去の實績に徵して瞭かなり此故に昨年滿洲商工會議所聯合會は滿蒙開發事業の政黨政派超越の緊要を認め、この旨時の當路者に建議するところありたり、幸ひ當路者及び世論これを容れて現任首腦部は多分に恒久性考慮の下に任命を見たり、今や時局は國家興亡の岐路にありこの秋に當り滿鐵の首腦部を輕々に更迭せしむるが如きは害ありて益なし、慎重なる御考慮を切望す

右電請す

兩土木出張所存置に決定

【東京電話】內務省は前內閣の行政整理により明年一月より廢止さるゝ事となつてゐた神戶、橫濱の兩土木出張所を復活すべく二十二日省議を開き從前通り存置する方針を決定し豫算を大藏省に交涉することとなつた、又博多、尾道、舞鶴、七尾の港灣の地方移管案をも撤回して從來通り國の直轄とすることに決定した

滿粟輸入激增

十二月中旬鐵道便により安東經由鮮內に輸入された滿洲粟は五千四百九十屯に達し、前年同期に比し約三千屯の增加を示した。右は鮮米との値開きと鮮米の內地移出を相俟つて斯く激增したものと見られる、なほ十一月以降の累計は一萬七千屯で前年に比し九千三百屯の增加である

京城穀信決算

京城穀物信託會社は廿五日午前十一時から京城クラブに株主總會を開き社名を『京城倉庫金融會社』と改めるが、利益金處分案は左の如し

二萬七百四十四圓五錢	當期總益金
一萬八百八十二圓九十六錢	當期總損金
差引九千八百六十一圓九錢	當期純益金
三百六十五圓八十六錢	前期繰越金
計一萬二百二十六圓九十五錢	利益金

此の處分計算左の如し

五百圓	法定積立金
五百圓	損失補塡積立金
八百四十五圓八十五錢	建物償却金
九百五十圓	重役賞與金
六千三百圓	株主配當金(三分增の年五分配)
一千百卅一圓十錢	後期繰越金

郵便配達遲延で陳情書を提出す

京畿道始興郡果川面の郵便配達は從來午前十時に行はれてゐたものが最近午後一時半に延遲、果川面文原里一部の如きは二日或は三日も遲延するため舊に復する樣果川面議會は道評議員外八十名は連署にて二十三日遞信局長並びに京城郵便局長宛陳情書を提出した

聯盟とは 國際的關係が眞の平和を招來が目的 滿洲事件談話會……(6)

城大總長、法學博士 山田三良

【中】

かういふ友誼的の話であつたのでありまず。それで私は、それはどうも大變なことであると思ひ、當時パリに居られる日本の大使にかういふ計畫があるさうであるが知つて居られるかといふと、まだそれは聞いて居らぬ。でその會に日本が出ない時に何を決議するか分らぬ、かういふことでありましたから、それでその當時パリに御出でになりました松井慶四郎大使といふ全權大使の方がありまず。この人はパリの平和條約によつて、ドイツのカイザー……を裁判する日本の裁判官として當時パリに滯在してをつたのでありまず。その裁判長はたうとう出來なかつたのでありまずが……そこで大使を主任としまして、私等と今東大總長の任にをられる小野塚博士等その他三、四名のお方と語りまして、日本もブラッセルのこの會合に行くことになつた。尤も日本を代表するといふ會がないのでありますから、頻りに電報を打つて日本にも聯盟協會を早く設立しなければならないといふことをさかんに催促したがまだ日本ではさういふ會は胎兒にもならないのみか、胎內にもないさういふ時でありましたので、先づ聯盟協會を設立する委員として吾々五、六名がブラッセルに行きました。見ると果して聯盟協會が山東問題を議題に持出すといふことであつたのでありまず。しかもそれはパリの會合に於て殆んど全部認めておつた議題であつた事であります。

そこでその議題の審理委員會が十一月二十日であつたと思ひます、その際で日本の秋月大使は、委員長であるベルギーのバロンペカンといふ有名な國際法學者がありまず。その人に國際聯盟協會といふものは國際聯盟の發達を圖る會である、それが創立早々の際から外交上の實際問題となつて居る山東問題の如きを議題として議論するといふことは聯盟協會としての發達を妨げるものである、聯盟協會は國際聯盟の發達を援ける機關で、その實際問題を附議するものでない、日本はこの點に於て大いに反對する、さういふものを議題に舉げるといふことはこれからの國際聯盟の發達に害があると思ふから、左樣なものはやめてもらはなければならない

かういふことでありましてその會議は日本の主張が容れられて、結局が兎角日本を議者に決議したかつたのでありますが、それが議題とならなくなつたので切角遠路をして引下らなければならなかつたのでありまず、さうして今日まで毎年國際聯盟協會の會を開いてをりますが、將來十餘年間、殆んど政治問題は扱はぬといふことになつてをります。でこの例をはじめて開かしめたものは日本の當局の代表であつたのでありまず

展望臺 瞬間相殺

黑頭漢

◇この熟語は、私の特製語である以下この理由を解說する。

濱口內閣の後をうけ若槻內閣は、世間が不景氣になればなる程、不景氣內閣として呪はれた。又無能內閣といふ輿論もわき起つてゐた一方には失業者から攻まれる、減俸者から怨まれる、中商工業者からも、農村からも、可なり手きびしい非同情の聲が投げられてゐた

◇にも拘らず、若槻內閣は進むが如く、退くが如く、なすが如く又爲さゞるが如くこの社會の呪咀の聲の中を、おそるく泳いで居た、そして辛うじてその命脈を保つて居た。つまり進退兩難に陷つてゐたのである。

◇そこへふつて湧いた樣に滿洲事變が突發した。政府はゆるくあとから御出ましとばかりに、軍部が先づ職を外交一手引受所になつた。國內の輿論!對外硬化の思想が翕然として擡頭した。一方には國際聯盟理事會が開かれてこの理事の時局が、忽ち世界列國環視の議上に提案され、そして審議された回數が飛ぶ、衝に當るものが大務になり文官職をやる。この最中に滿洲派兵は增大する、出兵さわぎの輪廓は大きくなる、慰問、慰問使派遣、恤兵金募集の聲が喧しくなる等々、內政問題、若槻內閣の失政問題など自然閑却される。同時に舉國一致論が勇々湧き出す。反對黨としても、政府と政府與黨に一寸對敵運動の形勢が削殺された。

斯くして、滿洲事變の陰に、內政問題紛糾未了や、失業救濟、緊縮政策の事その他が鳴りを潛めて、しばし沈默を續けた。私のいふ『瞬間相殺』といふのは則ちこれだ。

◇今度は時局に藉口したある賢明なる政治家が、協力內閣を私造した。そしてこれを一度ならず二度まで若槻首相に獻言した。首相は斷として、未だその策を容れざるに先だち、業を沸やしたその政治家と一黨とが勢ひこんで前政府の命脈に、強烈なる爆擊を、しかももの〻見事に加へた。そしてその主張を飽迄突張つて讓らなんだ。こゝに於てか、若槻內閣の自殺自壞を招來し、犬養內閣出現になり、市が一寸の間髮に於て開業された

◇とに角現にこれだけの事だ。然るにこの波紋の大きさが瞬間的であり、刹那的ではあるが、一切の時事問題に對し、封緘を施したと同一結果を、社會事相上に示した爲にあれほど熱しきつた問題も、またあれほど世を騷がした事件も、暫時には與かたゝぬといつたやうな譯で、悉く進行中止になり然らざるまでも一寸世間の耳目から遠ざかり、又緩和され、その熱度にも割引が見られた。

◇無論それは國際聯盟の行動であり、滿洲出征軍の行動であつた。もつと分りよくいふと、政變が、滿洲事變と國際聯盟を一寸の間食つたとの意味になる。

◇これを又私獨自の新熟語でいふと矢張り『瞬間相殺』なのである

南鐵と川崎汽船活躍 麗水、阪神間に愈よ就航

南朝鮮鐵道では米の全南を貫通してをりその輸送使用は米によるが、同社線に依る六年度米は十五萬石輸送の計畫を樹てゝゐたが、十五萬石が果して輸送されるかどうかは注目されてゐるが、十三四萬石は前途でなしといはれてゐる。同會社の姉妹會社である川崎汽船が從來、麗水、下關間の連絡輸送をやつてゐたが、二十二日より阪神に延長就航することになつた。これは百萬石の生產力を有する米の全南の鐵道會社が阪神航路と手を結ばなかつたのは誤りで、その實現が遲きに失したとの說もあり、同汽船の阪神就航により更に出荷が增加するとも豫想され、期待される南朝鮮鐵道が何故早く阪神に手を染めなかつたかといふに、現在の下ノ關、麗水間の定期航路で川崎汽船に相當損失をかけてをり更に阪神間に延長することは損失の上塗りになりはしないかとの懸念て躊躇してゐたものであつたが往昔時を過しては南鐵としても川崎汽船としても共に窮地に陷るばかりだからと一踏發に出たもので、京南鐵道が鮮商會と麗水間の未完成部と手を握つたやうなことができない關係上、實現が遲れたのであると

十一月中の小賣物價低落 鮮內主要八府

殖產局商工課調査によれば十一月中の鮮內八府(京城、木浦、大邱、釜山、平壤、新義州、元山、清津)における小賣物價を調査するに指數總平均(大正十五年中平均を基準)は七〇、八である。これを前年同月に比すれば九分五厘下落し、前月に比すれば肉類は一分四厘、調味料類は二分一厘それぞれ騰貴し穀類は六厘、飲料類は一厘、衣類は一分一厘、燃料類は五分六厘、何れも下落し雜品は保合ひ總平均において五厘の低落を示した。しかして調査品目四十三品中前月に比し騰貴せるもの六品保合のものは二十八品、下落せるものは九品である

◇株式◇

日銀帳尻(廿二日)

發行高	一、二〇四、[illegible]
正貨準備	[illegible]
限外發行	[illegible]
貸出高	[illegible]

大株短期引跡

大新	七十三圓五	(十錢安)
鐘新	九十三圓丁	(十錢高)
日產	二十六圓丁	(十錢高)
東新	百五十四圓五	(十錢安)

◇期米◇

各地期米後場止

下關二三、五七▲桑名十一番不申▲十二番不申▲名古屋二三、二二▲金澤二〇、〇二▲熊本二一、二八▲大阪最終氣配二十四錢(不變)

仁川期米本玉表

中限買方 丸ウ四、五〇〇丸玉一一〇〇金メ一、三〇〇
同賣方 丸醬三〇〇丸六、一〇〇丸マ五〇〇
先限買方 丸玉二、八〇〇金メ二〇、八〇〇
同賣方 丸醬三、五〇〇丸ウ九、五〇〇丸六三〇〇丸マ三、九〇〇丸大一〇〇丸ズ三〇〇

共保生命の決算

昭和六年度の我財界は前年度以上に深刻なる不況を以て終始せしも當社は此間に處するに最善を竭くして外に發展を策し內に充實を圖り尙ほ且つ九月の當社決算期は恰も英國の金兌換停止並に滿洲事變の勃發に依り財界一層混亂を極めしに不拘左記の如く良好なる成績を舉げ恒例に依り去る十一月三十日定時株主總會を終了致しました。

自昭和五年十月至昭和六年九月 事業成績大要

新契約	參千貳百四拾貳萬九千圓
復活其他ノ增加	壹百參拾壹萬九千圓
年度末契約總高	壹億九千六百萬圓
純增加契約高	九百參萬八千圓
收入保險料	八百參拾貳萬八千圓
支拂保險金	貳百六拾六萬七千圓
事業費	貳百參拾壹萬八千圓
年度末責任準備金	四千壹萬五千圓
契約者配當準備金	壹百九拾五萬八千圓
年度末總資產額	四千四百五萬圓
事業利益金	八拾參萬六千圓

右事業上の利益金より金貳拾七萬貳百九拾壹圓を資產價却に充當し、剩餘金の大部分は契約者利益配當準備金に繰入れたり

一、剩餘金五拾六萬六千壹百七拾七圓貳拾貳錢也(處分方法左ノ通リ)

內 保險契約者利益配當準備金ニ繰入レ	五一七、八九〇・七四
法定準備金	三、〇〇〇・〇〇
株主配當金	二〇、〇〇〇・〇〇
次年度繰越金	二五、二八六・四八

昭和六年十二月

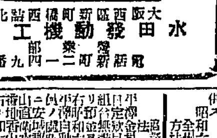
東京市芝區櫻田本鄕町 共保生命保險株式會社

內科胃腸科 腦神經病 北島醫院 京城本町四丁目百五十五番地 (電話本局二三七四番)

鎭咳 ファトシン
祛痰作用最高位 (溶血力二百萬倍)
氣管支カタル、喘息 感冒、肺炎、百日咳 肺結核等その他呼吸器疾患に伴ふ 喀痰・咳嗽に
品質優良 效果卓絕

大阪市東區道修町 東京市日本橋區伊勢町 株式會社 鹽野義商店

新發明(特許出願中) 超ミヅタ式 噴射式輕油發動機
斯界の驚異的人氣本機に集る
市場ありふれた輕油發動機と同一馬力なら本機は燃料從來機ノ三分ノ一にて足る一斗七十錢の最劣等輕油にて完全燃燒す一年使用すれば本機は只になる
列錦鐵鋼 代理店募集



大阪西區新町橋西詰北入 水田發動機工作所 電話新町二一四一九番

鮮滿ノ權威 味噌 醬油 美味・芳香 廉價・德用 ヤマミル 宮 朝鮮平壤府 宮川釀造所

旅

年末と新春の御保養に溫泉へ!
溫泉行汽車賃割引(往復三割引)

溫泉	交通	旅館
東萊	自動車釜山驛三十分 電車五十分	鳴戸・東萊館・蓬萊館 (〇〇・七…〇〇・三)
海雲臺	自動車釜山驛一時四十分	溫泉館・海雲閣 (〇七・四…〇二・二)
儒城	自動車大田驛二十分	鳳鳴館 (〇〇・六…〇〇・三)
溫陽	(天安乘換)自溫陽溫泉驛 徒歩五分	神井館 (〇五・五…〇五・四)
信川	(沙里院乘換)自信川溫泉驛 徒歩五分	ホテル・竹中・根本 (〇〇・六…〇〇・二)
龍岡	自龍岡溫泉驛自動車一時間	龍岡館・三井・只野 (〇五・三…〇五・一)
朱乙	自朱乙驛自動車二十分	鮮萬・陽明閣・千歳 (〇〇・六…〇五・二)
陽德	自長林驛自動車一時間	九龍閣 (〇〇・四…〇五・二)

朝鮮總督府鐵道局

商業登記公告 全州地方法院 [illegible]

商業登記公告 群山支廳 [illegible]

工場財團登記公告 全州地方法院舒川出張所 [illegible]

商業登記公告 平澤出張所 [illegible]

商業登記公告 細里出張所 [illegible]

牛の糞も馬鹿にならぬ

古來の牛沙發北乃至草原には、勿論一本の樹も木も見られない。東邊地方の畜地には、僅かに低性の柳條があるのみで。唯一の燃料は牛糞である。柴刈の代りに牛糞拾ひが老人や子供の役となつてゐる廣原を背負つて籠を手に牛糞を拾ふ姿はこれ一幅の圖だ

てゐるが眞の調査は異動の多い銀行任者を置いて調査せしめるが至當事のでは眞全を期し得ないから寧ろ…であるとの意見を洩してゐた

慶尚南道

露油販賣の契約調印終る
英米と内地産を向に廻し 大阪賣戰行はれん

本年九月以來露油販賣について釜山の坂田文吉、桃原茂太、五島甚吉郎その他蔚田山内各氏が發起となつて計畫中であつた露油販賣會社の創立準備は着々進行し株式組織にて資本十萬圓、社長に坂田氏が擔り定款も決定し目下當局に會社組織の認可申請中であるに關しソヴエット聯邦國營露油統制委員の駐日代表べ、スホドリスキー氏は二十二日京城より來釜し發起人側と會し石油賣買に關する契約調印を終了したがこれによつて從來スタンダードとライジングサンの兩石油會社の勢力範圍であつた朝鮮へ廉價な露油が輸入んで兩者を壓すことゝなり來春早々滿鮮を經由して大々的に販賣戰を開始することになつたので英米トラスト石油と内地石油を向ふに廻して激烈な白兵戰を演出する勢ひなので關係者間に刮目されてゐる（釜山）

軍營期成會 第二段の運動

積極的運動を開始した釜山軍營期成會では二十一日午後商工會議所にて常任理事會を開催し香椎會長および五島理事より過般上城して軍司令部に陳情した經過報告を行ひ次いで對策を協議した結果目的達成のため今後も運動を繼續し第二段の具體的運動として

一、年内に再び陳情書を軍部と關係方面へ提出

二、陳情の要點は特に艦輸送並敵育營營の充實供給と強調し

三、陳情書起草委員を上田、五島小林三氏に一任し

四、來月中旬上京する香椎會長が直接軍部と直接陳情をはかることになつた

掘り當てた東萊の新溫井
實測の結果無盡藏に湧出 泉都の實現近し

東萊邑にて泉源調査をはかるため過般試掘中の新溫井について廿一日警察部の村保安課長及び上田土木課長が實地視察を行つたが工事は順調に進捗し廿一日午後四時すでに二百尺餘に達し直徑二吋百尺のパイプを挿入して湧出量を實測した結果二百二尺の深度にて溫度六十七度の溫泉が一晝夜に五千石の噴出を見ることが確定した更にパイプの直徑を增大して掘進する際には殆んど無盡に溫泉の配給が可能である結論となるので同邑では深度五百尺に掘下して泉都實現の計畫に邁進する希望を一層強くしてゐる（釜山）

第一次義捐金送附

慶南警察部管内警察官ではかねて在滿皇軍慰問のため義捐金を募集中であつたが第一次送附として金六千圓を二十二日朝鮮軍司令部を經て關東軍司令部へ送つた今後醵集の分も取纏め次第送金する筈である（釜山）

密陽の人物 搖素 (7)
本間保治氏

◇東北線のズウズウ―ではあるけれども素ばくぶあり頭腦もしつかりして居るから時に色々の議論を吐くがしかも頗る公平な頭の持主である

◇數年前密陽上水道敷設で面協議會に提出されるや議會方面から反對論が喧々として起つたけれども、當時面協議員の現職にあつた氏はその間にあつて獨り時前の公平振りを發揮して所信を枉げなかつた事は豁猫子の記憶に未だ新たなるものがある

◇密陽消防組は地理的關係上一部（城内）二部（驛前）に分れて居るけれども何等のゴタゴタがおこらないといふことは副組頭部長以下各組員の節制ある動作によることゝはいへ、よくこれを統率して行くといふのは氏の人格の然らしむる所であり何れにしても密陽から取去ることの出來ない人物である

◇不遇にして今は密陽財與株式會社の一部に閉ぢ籠つてゐるけれども彼的は永く池中のものにあらず必ずや近き將來に捲土重來の志をいだいてゐることは疑ふ余地がない

◇路ご名高い秋田縣の產

強盜傷害犯人捕はる

氏鍾＝廿日午後十二時過ぎ龍塘面中坪賴次郎（二二）に切りつけ逃走した昌原郡鎭北面新洞里の崔錫傳（二二）は所轄昌原署にて犯人捜索中のところ容疑者全一道（二三）の所爲と判明し廿一日午後六時密陽二周面山田里金道瑞方潛伏中を逮捕した（釜山）

滿洲

鷄冠山で市民大會 安奉線警備增大を叫ぶ

鷄冠山驛前安奉線沿線居留民は一般時局に就々懸念してゐるが鷄冠山においては二十二日午前十時より非常市民大會を開いて安奉線第一に對する警備增大を叫び決議文を各關係要路に發送した（安東縣）

加藤商務官 安東縣の現狀視察

滿洲國經濟部派遣中の加藤上海總領事館商務官は廿一日夜奉天より來安し廿二日安東商工會議所において各方面代表者より安東の現狀について意見を聽取したが同氏は滿洲の西南國境が從來各地頭間の懸案になつ

慶尚北道

朝鐵自動車値下げ交涉
會議所交通部會を開き―朝鐵側と會見

朝鐵自動車の大邱安東間自動車値下問題に就ては商業會議所で商圈擴張のため必要なりとし猛運動してゐるが廿二日午後二時から會議所交通部會を開き朝鐵側と會見した結果、朝鐵側の意見としては現在の乘客狀態から見てこれ以上の値下げは到底困難である。しかし商圈擴張の爲め充分考慮はするが、運轉回數を減ずるより方法はないと思ふ。しかしこれは支店だけの意見で萬事は本店の意向を聞いた上でなければ分らぬと述べた（大邱）

副議長は高田氏か 大野氏の辭意固し

大邱府會議員大野正三郎氏は病氣の故をもつて副議長を辭退したいと申し出でたので府會では高田、山北兩氏が代表となつて去る廿日大野氏を訪問翻意を求めたに對し大野氏は到底その任に堪へないと辭意すこぶる堅いものがあり兩氏も再考を約して別れたが結局大野氏は翻意の模樣なくかくて副議長後任問題が起るが候補者として伊藤宣三郎、高田宣吉兩氏があり伊藤氏は曩に副議長選擧に際し大野氏との決戰投票にやぶれた關係上今更出られず高田氏が動かず人選難に陷つてゐるが結局高田氏に落つくものと見られてゐる（大邱）

不良分子一掃さる 慶州產業組合の淨化

慶州產業組合では創設以來一部野心家の爲め常に組合内に紛擾絶へず本年の如きはこれが爲め定時總會を二回臨時總會を一回開催した程で組合員の迷惑は勿論監督官廳も執念深き一派の策動に手を切らしこれ等不良分子を一掃して組合内の平和を維持し組合本來の目的に邁進することに決し二十一日の評議員會で主謀者と認められる八名の者を滿場一致で除名處分に附した（慶州）

白米値上げ

大邱府の白米は十五キロについて一圓九十二錢であつたが二十二日から二圓五錢となつた一方大邱府公設市場は二十二日からこれまで十五キロ二圓二錢に値上げした（大邱）

第二期地稅良好

慶北道第二期地稅調定總額は百二十七萬四千五百十四圓で去る一日から徵收を開始したが二十日までに六十九萬五千三百圓、總額の五割五分で豫期以上の好績を示して

ボーナス 慶北道内各金融組合は二十一日それぞれボーナスを手交したが最高十九割、最低十五割平均で豫期せぬ多額に何れもホクホクであるなほ金組は年二期の賞與で最高三十八割最低三十割で迫に金融十圓こゝばかりはホクホクである（大邱）

金泉水源地落成 第二水源地落成式を廿二日午後一時から擧行した金慶北知事及び大野辭業部長來賓、官民公職者を招待して盛大な祝宴を催した、工費は二萬三千圓である

實習改築入札 去る九月一日から開校した大邱商業實習學校改築工事入札を二十二日大邱府で擧行したが二千六百三十四圓で西本組が請負つた（大邱）

京畿道

支廳存續の陳情電報を發す
公職者聯合會の決議を經て 府議と會議所起つ

京城地方法院仁川支廳廢止問題に對する仁川府民七萬の聲は既報の如く府會議員並に商工會議所の蹶起を促すにいたつたが府會では二十二日午後六時から仁川公會堂内に實行委員連合協議會を開催し右につき種々協議の結果左記陳情電文を作成、より徹底ある運動の展開仁川公職者聯合會の決議を經て二十三日早朝内務總督をはじめその他各關係要路に打電することに意見一致して同八時終了直ちに公職者聯合會の理事及び常任委員會に移つたが同會では左記陳情電文を決議した後第一次的運動方法として二十三日朝本府に陳情委員を派する事に決議し決して同十二時閉會した、なほ陳情委員には松島仁川府尹、吉田、後藤資材委員長の三名である（仁川）

陳情電文

地方法院仁川支廳の今般行政整理により廢止せらるゝ風評あり萬一實現せば管轄内當府並に三郡の蒙る不便不利其の大なるものあり單に財政より見れば之が廢止により節約し得る金額は極めて僅少にして而も七萬府民二十餘萬郡民の蒙る損害に比すれば數十分の一に過ぎず殊に朝鮮には特殊の事情あり司法機關の改廢が地方民に及ぼす精神的影響等も輕視すべからざるものあり右事情御賢察せられ存續方切に御詮議を乞ふ

金浦の放火狂 火事の燒失を見て興味を覺え

金浦郡陽西面内北漢里雜貨商鈴木商店方雇人黃宗植（一七）は去月中旬燒失せる同里慶漢官邸方が猛火に包まれてゐる光景を見て以來火災見たさにその後十數回にわたつて同里家屋に放火して居た事が金浦署に發覺去る二十一日午後仁川檢事分局に送られた（仁川）

勤續店員表彰

仁取々引員組合では每年の慣例により忠實を以つて永年勤續せる店員に對し明年一月四日の初會を卜し市場で表彰する筈であるが本年は左の諸氏で何れも金牌を授與する事に決定した（仁川）

▲十五年勤續 丸取引店梅老原豐二郎、丸マ取引店陸昌熙

▲十年勤續 丸取引店菅野榮治、同菅基俊、丸福取引店渋谷藤、丸取引店松田男也

▲五ケ年勤續 丸取引店劉永發、丸ウ取引店殿田章

咸鏡北道

鐵道工事でバラ撒かれた金
ザツト一千萬圓

鐵道局清津出張所管内の本年中に施された鐵道改良工事は建設九工區、改良三工區、合計十一工區で總延長百四十キロ七十一萬米突といふ大規模さ、しかも山岳地帶とて工事費は一キロ當り五萬圓の見通り相當だから本年中に咸北一帶にバラ撒かれた金は七百萬圓を突破するものがある。この外に出張所構内に搬送式鐵道病院の建設、清津驛構内線の建設、退避岸壁工事等を合算すると本年中の入札總額は優に一千萬圓以上と見られてある。鐵道工事の進捗は左の如くである（清津）

▲圖們東部線 第六工區月坡間十二キロ二百米突、十五日完成、第七工區月坡、甑城間十二キロ百十二米突十月十日完成 第八工區甑城、雙利間十一キロ十五米突九月一日着工現在二割二分の進工 第九工區雙利、清陽間十キロ四十八米突

▲圖們西部線（圖們改良）會寧、鶴浦間十八キロ四百米突五月一日着工、現在八割七分進工 第十工區上三峰間廿二キロ三百米突…十二月十日着工

▲惠山線 第一工區吉州、水北間十二キロ七百十米突四月二十一日着工、現在八割五分進工 第二工區 水北、殷德間十キロ三十八米突、六月十日着工、四割の進工 第三工區 殷德、城德間十キロ 第四工區 城德、東山間十一五三十二米突は共に十一月十五日着工

大熊を射つ

慶興郡雄基面九龍坪の獵師朴小龍は十七日雄尚面東北約二里の山中で大熊を發見し狙擊したところ熊は憤つて猛然撲ひかゝり頭部に負傷したが屈せず再び一發して射止めた三十貫余の大熊であつた（雄基）

茂山の慰問音樂會

十九日夜本社茂山支局主催地方素人音樂研究者の後援で吉田屋旅館大廣間で在滿同胞慰問音樂會を催した同情金は近くその筋を經て寄附する筈であると寫眞は當夜の會（茂山）

會寧金組總會

會寧金融組合では二十日後一時から邑公會堂で總會を開催した出席者は百名で定期組合長公選會となり…討議の結果代議會は廢止七總會制に改正することに滿場一致可決されこゝにおいて議長は本日の總會において決議したことを具體的にその筋に申請しもつて總會制に改めることにとめると宣し午後五時散會した（會寧）

結婚繁昌記 さても粹な迷信よ

北鮮唯一のモダーン都市、吉會線の大吞吐港を以て自他共に許す清津府だが市民間にはまだまだ根強い迷信が殘つてをり一九三三年は干支が「申」「去る」に通ずとて縁組には大禁物とあり周章てゝ今冬中に片づけて置かうといふが多く押詰つた昨今府廳へ結婚の届出は每日のやうに舞込む、昨年中清津の結婚數は内地人卅四組、鮮人七十四組、滿洲が内地人三組、鮮人十五組だつたもの今年は二十一日までに内地人五十組、この激增傾向は朝鮮人にも波及し…（清津）

朝窒が小學校新築 永安に三萬圓を投じ

朝窒の行長成化事業のはじまつた咸北永安の急テンポの都市發展に朝鮮窒素肥料會社では今回三萬五千圓を投じて煉瓦二階建の明るいモダーンな小學校を新築することゝなつたが、工事は解氷期の明春から着手するので、會社では地方衞生局との間に學校組合の組織に關し協議を進め實現に奔走中である（清津）

清津から

◇滿洲出征兵士への慰問には物品よりも金の方が便利だと陸軍省から第十九師團に通牒あり二十一日この旨清津へも移牒された

◇鐵道局清津出張所の八萬圓を筆頭に府廳、府廳局地方法院、稅關、土木部出張所、學校等清津府内の官衙のボーナスは約十六萬圓、二十一日のサラリーデーに一緒に渡され皆々大ニコは寒措しい

◇惜まれた前府尹前田義次氏は夫人同伴二十一日朝清津驛頭に多數の見送人を受けて退通二百餘名の見送人で頗は珍しくゴッタ返した、氏は少時大邱の令息の邸に遊び夫より東京に行き、浪人生活に入るとのこと

◇半島畜界の恩人と推された故林駒生氏は家庭的に最も惠まれず遺兒も路頭に迷ふばかりの慘狀なりとて慶南水産會發起で弔慰金を募集、清津へも勸誘して來たが、清津水産界の咸北清津ではあり故人とは相知の當業者も多いから纏めて金は府内有志が取りまとめてゐる

年賀郵便第一日

清津郵便局の年賀狀受附第一日の二十日は引受五千百三十四通、到着六百八十五通、中繼二百四十五通小包郵便物も歲末で激增してゐるが、島内にふゐるのは二十日以後とて、局では小包の洪水に豫め對策を講じて萬全を期してゐる（清津）

平安北道

ボーナス景氣
新義州邊に活氣づく

二十一日新義州殖産銀行支店の（日本銀行代理店）の窓口から支拂ひ出された諸官廳の給料は約十五萬五千圓でこのほか賞與金十八萬圓合計三十三萬五千圓ありこれだけが官吏の懷ろに這入つたわけで府内各商店の景氣は俄かによくなり等貨の歲末賣出しも商引繁盛を呈し急に活躍を見るやうになつた、銀行では必らず預金者も多からうと待ち構へてゐたが、どういふ風の吹き廻しかさつぱり預金には顏がなくその代り郵便局の貯金窓口は賑はしい多忙振りを示した即ちこの日の爲替は振出四千五十五圓、貯金預入四千六百六十九圓、振替拂込二萬三千九百八十二圓計四萬三千二百三圓でこの金額を昨年同日の統計に比すると預金は二千五百餘圓の增加であるがその他は減少を見てゐる 爲替拂出額は爲替四千七十四圓貯金七百五十四圓振替八百八十二圓余でこれも昨年に比し減じてゐる（新義州）

トラツクの轢逃げ

平北博川郡農業金信流氏自動車トラツク（平北三〇五號）は運轉手金成一が操縱し去る十七日午後二時三十分頃嶺美から泰川に向ふ途中博川郡郡南面大成洞金昌洙（一二）を轢き倒したまゝ逃走し、轢かれた金は重傷を受け直に手當を施したがその甲斐なく二十日死亡するに至つたので博川署は金を引致し目下傷害致死罪として嚴重取調べ中である（新義州）

製作品展

新義州工藝實習學校生徒の製作品展覽會は廿一、廿二兩日新義州小學校講堂で開催されたが二兩日の賣上げが約一千圓に達し豫期外の成績を見た（新義州）

忠淸南道

行脚して義捐金
奇特な老婆

二十一日大田憲兵分隊を訪問した七十位の婆さんがあつた曾つて見ると金二圓を滿洲の野に匪賊討伐と苦戰つてゐる皇軍に送つて欲しいと申込んだので係員は感激し直に送金の手續きをなした、この婆さんは龍山驛前に小店を出してゐるが同里大川郡白島村中州裏臼サヤ（七二）とて…それぞれ皇軍慰問袋に届けたることに奇特な婆さんである（大田）

論山の麴子 年産額十二萬個突破

論山麴子株式會社は去る昭和四年八月郡當局の了解の下に創立以來品質その他の向上に努め全北道堤方面よりも多數の注文あり一般酒造業の改良を計り大に見るべきものあり近來益々增産の傾向を示してゐるがその數量十二萬個價格一個十二錢五厘として一萬五千圓を算するに至つた（江景）

戰傷病者慰問

大田邑長齋藤安二、大田在鄕軍人分會副長中村清三、同理事石塚六右衛門の三氏は滿洲事變の戰傷病者慰問の爲め二十三日龍山に出張陸軍衞戍病院の療養所に立寄り同病者慰問をなす筈（大田）

上水道用鑄鐵管入札

大田邑上水道工事用鑄鐵管送水、配水（直管二十トン）異形管（三十トン）制水弁（百二十八個）その他の購買指名入札は二十二日午後四時上水道事務所にて行つたが七萬一千九百八十圓にて大阪久保田鐵工所に落札した（大田）

叺問屋
湖南線裡里驛前
東山産業株式會社
電話四五番
電略トヌハトサン

通俗醫學誌より抄釋す

放つて置けば一命に關はる 痔疾に對する注意と其治し方

醫學博士 小田義雄（談）

冬季に於ける慢性病中最も懼るべきものの一つとして痔疾を數ける事が出來る。痔疾は鬱血を助成し、苦痛を增大すること甚だしいものがあるからである、痔疾が惡化せる場合の慘害に想到するならば最早一刻と躊躇すべき時でない筈である。小田博士の高說に聽く所以である。（編）

まづ素因を知れ

痔疾の原因を知ることは、豫防を講ずる上に於て必要缺くべからざる事で、原因が判明すれば自ら豫防法となるからである。痔疾も又その例に洩れない。

口腔に始り、食道、胃腸を經て大腸に終る迄を消化管系統といひ、大腸の末端を特に直腸と名づけ、直腸と外部との境、即ち外口が肛門であつて、其の肛門及び周圍に形成物や、又便秘のための硬い便等が刺戟を與へ小損傷を生ぜしめ、細菌の侵入によつて起ることも屢々ある。今一つは局所の不潔も最大の原因である。以上で痔の原因は大體盡きてゐる。だから痔疾の豫防法としては前記の點に充分注意しなければならない、又現に痔疾に罹つてゐる者は簡單である。

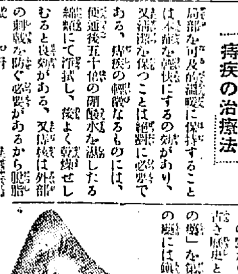
發生したる痔患な總稱して痔疾と稱し、その中に痔核、痔瘻、脫肛、裂痔、痔出血、等の種類がある。

一便秘と下痢と不潔

凡て肛門に發生した疾患は直接肛門に影響し原因となる、殊に肛門は便通に際して常に刺戟を受けるので便通の不斷殊に便秘と下痢は痔疾を惹起す重大原因となる、又機械的刺戟、例へば飯に混入せる魚の骨、植物の纖維、不消化の固形物や、又便秘のための硬い便等

痔疾の治療法

局部を可及的溫暖に保持することは本症を輕快にするの効があり、又清潔を保つことは絕對に必要である。痔疾の罹患なるものには、便通後五十倍の硼酸水を濕した綿紗にて清拭し、後よく乾燥せしむると良効がある。又痔核は外部の刺戟を防ぐ必要があるから脂綿にて被包するがよい、又積極的治療法としては外科手術、器械的療法、燒灼療法、按摩療法、薬物療法があるが、何れも一長一短を免れない。一般に家庭療法として推奬すべきは藥劑療法であつて、中でも外用藥を用ひるのが安全且有効なるものである。



藥物選擇の標準

しかし痔藥物には多く一時的の痛止作用があるが多く、これ等の藥には全部の效果はあつても根本的治療は全然期し難いものであるから、痔疾の者ならば兎も角多少とも重症の人がうつかり連用してゐると後悔せねばならぬ場合が少くない。余はこの點から推して痔疾藥としては古き歷史と實効を有する「小松ちの藥」を第一に推す。何故ならこの藥には鎭痛、止血、收斂、消炎防腐の各作用及び痔疾藥としての絕對的條件たる新生肉芽の助成する作用を有し、且つ今日までに幾十萬人に實驗されて、その效用は實際的に驗すべからざるものであるが爲である。

萬策つきた痔疾が 外用藥で快癒

大阪 竹正次

謹啓 貴下益々御隆盛の段奉賀候、陳者過日は愚書を以て御伺申上候處早速自宅に御說明書御送附被下候段厚く御禮申上候扨小生昨年痔疾に罹り肛門の周圍大いに腫れ起臥に最も苦痛を感じ如何にも堪へ難く、故郷有馬溫泉に立寄り湯にて溫めなど致せし處病勢次第に重く肛門より膿出で兩親も持て餘し色々藥を用ひしが少しも効驗なく自殺を決せしこと一度ならず候折柄新聞にて御藥を知り、早速藥店にて二圓分買求め試用致し候處、日々其の効顯あらはれ全治化候其後當會社に入社致し日々自轉車にて過度の激動に又々肛門腫れ上り驚きて御藥を買求め治療致し候…の今日迄の經過申上候。

良藥紹介

實効を生命とする特殊の痔疾藥
その効果は多くの實驗者驚異の的

痔疾の治療法は現在數種を數へることが出來るが、其の何れに據るも根治はかなり至難と見られてゐる。手術なども成程適確な效果があるが、痔核などの場合、患部の小さなものをうつかり失念すると、それが原因で再發することがある。充分信頼出來る醫師の執刀を俟つべきである。

藥物には殆ど信頼すべきものが皆無の狀態である。又最近數藥部のものなども出現してゐるが症狀を輕快にする程度のものとしか考へられぬ。小松ちの藥は一般痔疾藥とはその根本觀念の上に於て根本的に相違してゐるもので、何故にかく治に効くかといふ科學的說明に遺憾の點がないでもないが、その實効の點ではあふれた一時的の痔疾藥とは全然趣を異にしてゐる。

痔核 疣痔、脫肛、痔出血、鬱血（ガッチャキ）等は勿論、痔瘻、脫肛等の重症に用ひて良効を收めた實例なども少くないが、單純な挿入によつて、痛みを和げ、出血を止め、症狀をグングン輕快にする力強い效目は多くの患者が實際に用いて驗いてゐる。發賣以來本舖に寄せられた幾萬の人々の謝狀や實驗談を綜合して見ても、大部分は種々の療法を再三試みられた人であり、この藥によつて始めて光明を見出した人は頗る多いといふ程に感謝してゐる。

要するに歷史は古く、多くの貴重な實驗を持ちしかもその効果は常に新鮮な處にこの藥のもつ強味が認めない譯にゆかない、兎も角昨日や今日に出來て、極めて少數の人の賞讚を餘儀にしてゐるものとは格段の相違あることが窺知される筈である。（全國藥店にてお求め乞ふ）

痔疾患者の福音

痔病の羅針盤はコレ！（新刊無代頒布）

痔病が最も惡化しようとするシーズン、痔瘻や死の轉機を見る人も少くない昨今です。痔の治療は最も用意であらねばなりません、本書は痔疾に關する一切の手當、衞生、全快の秘訣を述べて遺憾がありません、郵便葉書へ御申込みあれば一萬部限り無代で贈呈します。至急御申込み乞ふ

申込所 東京日本橋區瀨戸物町 玉置合名會社

產前產後血の道

すべての 冷えを感ずる人 若さを維持せんとする人 健康に怖るゝ人々に 本劑を推奬く

これを用うれば 他物によらずして實に驚き 火によらずして寒さを忘れ 病者によらずして病を治す

一服の實母散は 心身を爽快にし 寒さを忘れしめ 安眠を助く

婦人の強壯 血の道の療法 一般の用藥 三百年來 御好評にまで愛用さる

眞の婦人藥

定價 一日分 二十錢 三日分 五十錢 七日分 一圓十錢 十四日分 二圓十錢 卅一日分 四圓五十錢

（全國藥店にあり）

喜谷實母散

東京・京橋一丁目 本舖 喜谷市郎右衞門商店 （電話）京橋五五番五六番 （振替）東京二、一五四番

全羅北道

湖南には一箇聯隊？
南か北かそれも分らぬ　福井大佐の土産話

[illegible]にある東拓[illegible]入豫備役陸軍大佐福井東記氏は先般陸軍省の招電にて上京し去る二十一日歸任した。同氏今回の上京は滿洲事變と結びつけられ或は師團移駐に關して想像せられ可なり世人の注目を惹いたが、同大佐は左の如く語る

決して左樣な意味の上京ではなかつた。東拓全鮮[illegible]が主なる目的であつた。東京では師團移駐問題で上京してゐる全州の委員とも會つた。政變やら滿洲事變やらで師團移駐問題も重大關心ではない樣であつた。自分が知り得た範圍では、どうも湖南には一ケ聯隊位の樣な空氣であつた。それも全北か全南かそんな具體的な事までには立ち到つてゐないやうだ。又一ケ聯隊の編成が二ケ大隊であるから全南北に分駐するやうな事も出來まいと思ふ

全州一樹會　第一回素謡會

五十嵐由藏氏一門觀世流全州一樹會では去る二十日午後一時より銀杏屋にて第一回素謡會を開いたが番組左の如く出席者も多數で終つて晩餐會を催し頗る盛會であつた

（全州＝寫眞は素謡會）

▲加茂　シテ岸、ツレ吉津、ワキ伏谷
▲小袖曾我　シテ鹿子木、[illegible]、五郎井山、トモ伏谷
▲井筒　シテ荒木、ワキ乾
▲山姥　シテ乾、ワキ荒木
▲熊野　シテ渡邊、ワキ野元、ツレ乾
▲隅田川獨吟　仕舞八島五十嵐氏

全州地方へ軍用地調査
秋澤二等主計正來る

秋澤二等主計正は二十二日午後四時十八分全州着列車にて來道したが用件は全州に散在する軍用地調査のためであつて師團移駐問題の眞最中とて頗る一般の視聴を集めてゐる（全州）

附帶費問題解決

群山港砂糖輸入難附帶費輕減問題についてはその後商工會議所が極力砂入商組合及鮮航同盟會支部の間を斡旋すると共に中間調停案を以て双方の圓滿なる歩み寄りにより最も至當なる價率の發見に努めつゝあつたが二十一日午後四時より商工會議所において正副會頭、移入商組合幹部鮮航會支部幹部の會見によつて商工會議案を基礎として圓滿なる妥協點を得るに至りこゝに久しく大なる懸案として直接關係の有無を問はず多大の關心を以て注視してゐた群山港荷役附帶費も移出、移入兩方共に解決を告ぐるに至つた（群山）

內地へ歸つたやうだ
高橋高等課長語る

新任高橋高等課長は二十二日午後四時十八分全州着列車にて家族同伴着任したが往訪の記者に語る

（全州）

丁度出發してから五日目です途中慶南と京城に一泊しましたが京城では警務局で御社の社長にもお會ひしました丁度私が警察部長の時北海道長官として赴任されたのでよく知つてゐました。こちらは丸で內地と變りませんネ、こんな麥の芽生はなんか今頃到底國境では見られません私は元氣でどこでも御奉公はいとひませんが、小供の勉學や家族のことを考へると南の方

道廳拜賀式

來る一月一日は全羅北道廳にては午前十時より十一時まで御眞影拜賀式を擧行すると（全州）

茁浦雜信

◇新築浦の街と新田新堤長をむかへて、誕生の茁浦の誕生のやうな氣がする茁武街といへば扶安が警察を郡所在地にと、ねらつてゐる、それを取られまいと思ひ切つて茁浦は堂々たる茁武街を形成したものだ。扶安では、早晩おれの物だからと、先きを見越して建てたのか、アノ堂々たる警察所……知事曰くお蔭で、幸したのは警察ばかりだと、これは知事先般巡視中の一クサリ

◇問題の埋立どうやら、實現可能らしい、極樂浦に一東津の手が延びてゐるらしい。茁浦が一躍に進法何十年それのみを、ねがつてゐた生命線だ。埋立とそれに伴ふ市街地の建設、僅岩水道を利用する電氣軌道による、井邑、茁浦の連絡、茁浦貿易港それが茁浦住民の宿命的ねがひである

◇進められて來た四千町歩の埋立も事業半ばにして中絶してゐたア卜二千町歩の埋立問題が今日の茁浦の緊急事である

咸鏡南道

感心な孃さん
紙細工を賣つて義捐金

健氣な孃さんの指先きから生れた慰問の美談＝元山府本町二丁目理髮屋時計店主中村信市氏の長女幸枝子女ソヨ子の兩孃は勉強の余暇紙細工品を作り學校から歸るとそれを二人で賣り步きその賣上高三圓三十一錢を滿洲の皇軍に送つて下さいと二十一日憲兵隊へ願ひ出た（元山）

慰問金募集　活動寫眞會

過般街頭に立つて男々しく滿洲皇軍慰問金を募集し好成績を納めた榮町及び本町五丁目青年團は更に第二回慰問金募集をなすべく廿二日より三日間日活上映館三座において滿洲事變慰問金募集活動寫眞大會を催すこととなつたが第一夜から非常な盛況を呈した因みに入場料は一人廿錢の廉價で映畫は「肉彈三勇士」及び洋畫『なぐられる彼奴』等である（元山）

元中の防火演習

元山中學校では十九日及び二十一日の兩日に防火演習を試みたが十九日は午後から職員生徒在校時において校舍の一角から出火したとの想定の下に消火演習を二十一日は故ら後の非常招集に際し各所散在の生徒非常招集演習を試みたが非常招集は四百余名の各町居住の生徒を各區數十名宛別ちて非常呼出發に際し各區數十名の一組が電話自轉車等により敏速な連絡をとり如何なる場合にも招集令に應じ得る學校の非常事に就き得る演習であるが何れも大きな成績を納めた（元山）

米金の火事
放火と判明

元山府內諸町米金旅館の火災については放火の疑ひ濃厚にてその筋では十三日以來關係者を召喚取調べを進むる一方館主米原嘉藏（五三）同妻マツ（五〇）の兩名を嚴重取調べ中であつたが同人等が先月七日他人の道具を借受け自分のものゝ如く見せかけ千代田火災保險三千圓の保險を附したこと及び出火當夜妻マツは烈風の折柄にも拘らず炊事場の松葉の傍に裸蠟燭火を立て放火して外出し居たこと判明かとなり遂に包み切れず十九日夫婦共謀して大事に至らしめた旨自白した、身柄は一件書類完結と共に送局の筈（元山）

幹部演習終了

十九日から元山附近において擧行中であつた古賀三七旅團長統監の旅團幹部演習は二十一日無事終了し廿二日朝參加員は歸隊した（元山）

送別句會

元山俳句會では今回九州に轉任した元山高[illegible]南培氏の送別句會を二十日夜佐藤氏宅に催した（元山）

平安南道

鎭南浦取引所　二月中旬に開業
認可は一月一日頃の模樣　市況既に活況を呈す

鎭南浦米穀取引所設立委員李[illegible]、新田、野田の三氏は定款その他の打合せの爲め二十一日上城したが鎭南浦取引所は一月一日各地と共に認可される模樣で開業は準備の都合上二月中旬頃になるべく市況はすでに大分活氣を添へてゐる

南浦移出米
百卅萬石突破

鎭南浦港における本年度米移出狀況は頗る活況を呈し百三十萬石の突破を想像されてゐたが二十日現在移出高百三十萬二千八百九十一石を示し前年同期に比し五十萬石の增加で年末までには百五十萬石を突破するであらうと活氣附いてゐる（鎭南浦）

組合員負擔輕減陳情

平安水利組合地主李[illegible]氏外三名は廿一日午後平南道廳農務課に當局を訪ひ左の如く陳情したが道當局はこれを拒絕したところ廿二日午前四名は再び道當局を訪ひ當局がこれに應せねば本府へ陳情委員を派して陳情する旨を述べたこれに對し道當局は前日同樣の態度を表示した（平壤）

一、起債償還年限廿二年を六十年に延長し組合員の負擔を減ぜられ度い
二、今年度の水稅は組合費の二割五分として凶作に苦しむ組合員を救濟され度い
三、高利債を低利債に借替へられ度い

料理屋の課稅遞減陳情

平壤料理屋組合代表者五島氏外數氏は廿一日道當局および府當局を訪ひ左の如く陳情書を提出した（平壤）

昭和二年三月三十一日附發布に係る制令第六號朝鮮營業稅令第五號中料理屋營業一箇年の收入金一萬分の六十七割なる課稅率は本令中最高の稅率にして一般同業者はその負擔の過重なるを忍び遂來今日に及びたるものに候處引續く多年の不況に禍られ今や疲弊困憊の極に達し到底これが負擔に堪へざるのみならず理財營業者の實情に照し甚だその適實公正を失したる不當の課稅率なりと存じ候に付き願くば最低限度まで減率の爲本令の改正せられん事を願んで茲に全鮮同業者各代表を以て陳情相添へこの段奉歎願候也

順川郡優勝
桑田品評會　十八日祝賀會を開く

道に道農會主催の下に開催した桑田品評會において優勝旗並に賞金百圓を獲得した順川郡では十八日午後三時から優勝旗獲得の祝賀會を開催した道からは井木技師の臨席あり參列者無慮三百二十名頗る盛會であつた殊に酒間を餘興し各坡生には全部桑葉形に祝優勝の赤字を入れた[illegible]をかけさせて頗る參列者の注意を引いた（安州）

クリスマスの餘興は全廢
在滿同胞に同情して

平壤府內には十八ヶ所のキリスト教々會堂があり毎年クリスマスには盛大な式と餘興を擧行してゐるが今年は滿洲で奮鬪した同胞に同情し何れも簡單にクリスマスの式のみを擧行し餘興は全部廢することに申し合せたのでことしのクリスマスは淋しい（平壤）

手長女給逃る

自稱平壤府若松町二山本アサ方松岡宮子事[illegible]（二〇）は本月七日府內竹興里カフェーライオン增田マス方に女給として雇はれたが同女は主人から現金二十圓を借りた上金側懷中時計を一個盜んで十九日どこへか逃走したので主人は同女を詐欺罪として二十一日平壤署に告訴した（平壤）

順川だより

◇平元線順川驛は昔順川郡廳の所在地で現在戶數七百戶を有し平原郡廳の所在地永柔邑を凌駕してゐる平元線の出來ざる以前は順川郡邑の玄關口で物資の呑吐頗る殷盛を極めたものである

◇殊に順川唯一の希望たる明利水利の出現が混沌たる時に陷つて以來邑民は頗る悲觀的傾向を帶びて來たがこの實現は將に同邑にとつてカンフル以上に生氣を帶びることであらう

◇しかし同邑の底力はなほ儼然として存在する即ち穀物檢查所及金組面事務所等はこれを物語るに充分である

◇穀物檢查所昨年度元米檢査數は六萬四千叺籾二萬玉、叺又四萬枚でその出廻りの旺盛期は十一月から翌年五月まで就中三四月の候には一日元米千叺も出廻ることも敢て珍しくもないと

◇米は在來種八割の尾二の割で殆んど鎭南浦取引である政變直前は石當り十六圓內外であつたが其後一時十七圓九十錢までにせり上げ現在（二十一日）は十七圓見當である籾は貫當り二十二三錢から二十七錢にまで騰貴したるも現在は二十五錢見當である

◇同金融組合では管內四ヶ面世帶數四千三百戶約三割の千二百九十名の組合員を有し自己資金十萬圓預金五萬圓借入金十三萬五千圓しかして貸付金は二十一萬圓を突破し昨年度利益金は二千三百圓を擧げてゐる現在細農者間に回收不能の者も多少出してゐるがコハ一昨年の畓一千町步に涉る冷害全滅と昨年來の深刻なる農村不況の結果とに基づくと

◇同郵便所受持區域は六ヶ面戶數七千四百九十五戶でこれが簡保本年倒達口數は二百六十七口現在出來高三百十七件開始以來の總計は四百七十七口一萬千七百六十四圓二十錢一口平均一圓十二錢に相當してゐるとは同所長の談によれば[illegible]は千對七人で最高は福井縣の千對九百五十人であるが朝鮮はまだその[illegible]島部を標準にしてゐると

◇昭和自動車部營業の順川順川間の一往復は利用によつて頗る時間的經濟であるすなはち寒天驛午後二時五十一分着列車に直ちに連絡し約一時間を要して順川邑に到着するがこれを西浦驛廻りの汽車によると三時間半乃至四時間を要し急用者には非常な時間的便利である殊に貨物において殆んどその差はないのである旅行者は大に利用することである（守永生）

合財袋

◇……平壤府內の各官衙、銀行、會社等で用された本年のボーナスは二十四五萬圓に達する模樣でその內二十萬圓はこの年末に平壤府內で消費されるであらうと觀られてゐるこのボーナスと共に金持諸氏も出て年末の不景氣地方は一時的ながら活氣を呈し各商店の店頭は漸く賑ひつゝある

◇……平安南道江西郡普台面居台里前科三犯安相浩（二八）は今月十五日午後十時頃平原郡兩花面道路上で順安邑內で買つた籾代金を持つて歸宅中の大同郡本京里面板橋里で車夫張成楫（二二）ことと同金德表（二三）を脅迫し卜警察官だからと稱し身體檢査をして二人の所持金約五十圓を強奪し二人を[illegible]駐在所まで同行すると稱し連れて行く途中隙を狙つて逃げたが間もなく平原署員に逮捕された

◇……廿一日午前十時頃平壤府南山町私立正義女子高等普通學校寄宿舍に怪盜侵入し女生徒の机の引出しを探し廻り生徒九名の金約廿五圓とクローム時計一個を盜んで逃走したが最近平壤市ありその筋では女學校專門の怪盜が現はれたと嚴重な搜査を開始した

全羅南道

光麗線二割引
開業一周年記念の爲め

南朝鮮鐵道光麗線は昨年十二月開通以來荷客共順調に增加し着々優秀な成績を擧げつゝあるが同鐵道は開業一周年を記念し自祝の意味にて二十五、六、七の三日間全線を通じ乘車賃二割引となし歲末旅客の利便に供することゝなつた

職業科講習
申込者多し

光州郡教育會主催にて光州小學校にて二十五日より四日間開催の職業科講習會は城大教授松月秀雄、京畿道東萊普校長千葉秀雄、視學官[illegible]村俊雄氏の諸氏で何れも斯界の權威者であり各方面とも職業科研究の必要を痛感してゐる折柄とて聽講まうし込者非常に多く光州郡當局は目下大多忙を極めてゐる（光州）

木浦下水工事入札

木浦府大下水工事は昭和五年度から三ヶ年二十萬圓の繼續事業として施行し第五年度工事が終了したので第六年工事入札を廿一日午後府廳で施行、指名十一名であつたが[illegible]は出來ず結局、光州由田俊氏に八萬五千五百圓で隨意契約となつた右工事は榮山町、大和町及び榮町等の目拔き市街を貫通した千六米の暗渠であり交通などの點を考へて夜間作業に全能力を擧げる豫定であり起工明年一月十日竣工六月末日でこれが竣工後は降雨毎に泥水[illegible]に見舞はれてをつた市街低地部の不安と不衞生は除かれるものである（木浦）

納めよ稅金　守れよ期限
納稅標語懸賞發表

木浦府では五日から十一日までの納稅週間に當つて納稅標語の懸賞募集を行つたが京城方面からも多數の應募があり廿一日審査の結果左の如く入賞と決定し一等現金十圓、二等五圓、三等二圓、佳作五句に菓子器を贈呈することゝなつた

一等　納めよ稅金、守れよ期限　木浦榮町　橋本　遊龜
二等　守れよ期限、納めよ稅金　府外竹橋里　姜　容　福
三等　納稅は愛國の第一步　木浦錦町　林田　辰子

養豚鷄指導

全羅南道に於いては明年一月二十一日より二月十日まで二十日間各郡にわたり養豚養鷄に關する一齊指導を行ふ事となり道內を三區に分ちこれが施設を期するため講演會、部落巡回講話、學校講話、實地指導等を行ひ道職員畜産同業組合畜産技術員は各郡の指導計畫または講話會開催計畫を參照し可及的應援をなすと（光州）

地方集會

◇森川署長歡迎　森川全州署長は二十一日午後五時より着任披露の爲在全新聞記者を[illegible]に招待した（全州）

◇元山の歡迎宴　古賀三七旅團長藤田參謀長の來元を機とし元山有志は廿日夜一行を丸芳に招待歡迎宴を催した（元山）

◇後藤元山府尹招宴　後藤元山府尹は二十一日夜在元記者團を丸芳に招待し忘年會を催した（元山）

◇岡前署長送別宴　前平壤刑務所長岡友道氏送別會は廿一日午後六時から料亭[illegible]に於て有志者多數出席の上催された（平壤）

地方人事

▲兒玉啓太郎氏（慶南技師）內地旅行中のところ廿二日朝歸任
▲武樋大郎憲兵分隊長　廿一日夜釜山通過內地へ
▲荒井初太郎氏　廿二日朝釜山通過北上
▲東新任群山警察署長　二十日着任二十一日府內官廳其他各方面へ新任挨拶の爲め歷訪
▲多田吉鄕氏（清津地方法院長）十一月十日以來病氣引籠中であるが經過良好なので近く登廳を見るであらう
▲前田新任鎭南浦警察署長　二十一日家族同伴着任

蜂ブドー酒大景品附特賣

一等白金時計で一本

●空くじなし・全部大景品贈呈！

景品種目
（二百萬口分）

一等　白金腕時計　一個　壹千本
二等　金側腕時計　一個　又はベスト寫眞機　一個　又は紋錦紗大巾兵兒帶　一筋　鋼鐵製手提金庫　一個　美術錦刻半銅火鉢　一個　の內一品　貳千本
三等　合金製茛セット　一組　又は旅行用化粧具組合　一個　純毛合シヤツ（上下）一組　吸物椀（漆器）五客　美術銅製花瓶　一個　の內一品　參千本
四等　特上コーザン石鹼　半打　四千本
等外　正規の應募者全部へ　池部鈞　岡本一平　田中比左良　前川千帆　宮尾しげを五猛作執筆の　漫畫繪葉書（五枚一組）進呈（但し右景品に當らぬ方は繪葉書のみと御承知下さい）
副賞　ライタ付　シヤープペンシル　一本……（同時に（個々の發送は無効）數口應募の場合は更に副賞として十口毎に一本宛進呈）

方法
蜂ブドー酒の包紙のレツテル一枚を以て一口とし二千口を以て一組とし　當籤番號は各組共通とす
應募レツテルの裏面には　必ず左記條項御明記の上開封（二錢切手貼付）にして御投函下さい
一、御買入店名及月日
二、この廣告を御覽になつた新聞名
三、アナタの御住所と御氏名（同居の方は何某方迄を）
御注意（住所氏名不明瞭及び包紙レツテル以外は斷然無效と致しますから　一切御通知致しませぬ）

規定
募集總數……二百万口（レツテル一枚一口）
締　切……昭和七年三月十日
送り先……東京市日本橋區本町二丁目近藤利兵衞商店懸賞係
抽籤方法……一口毎に抽籤券一枚呈上　二千口を一組とし　廣告代理店立會の上嚴正抽籤　當籤番號各組共通
當籤發表……昭和七年四月五日前後全國有力新聞紙上に於て當籤番號發表
景品發送……發表後一ケ月以內に發送　但し送料其他一切の費用は當店負擔のこと

御贈答品として二重の贈り物！
（臺灣を除く）

蜂ブドー酒　スキツレ　本舖　株式會社　近藤利兵衞商店

6―73

權巻野話

王位を繼りて (21)

逐はれた王女が仇敵に嫁ぐまで

金井鎮

寄しき幻[illegible]霧百の衛兵と多[illegible]に擁護されつゝ威風堂々として俗離山の無人境を風靡する世祖士の王駕を恐ろしいものともせずに引止めたのは公主の愛子邪坊であつた。邪坊は歳も丁度恐いもの知らずの腕白盛りであつた。その上に彼は廣い山を縱横に飛廻り全く野生に育つてゐるのだ。禮に遠慮等あらう筈はない、目に仰々しい王者の行列が大そう珍しく映つたので俄かに狂喜にかられた彼は大罪を犯して世祖士の王駕を横切つたゝめに途に王駕は行列を亂して路上に止つたのであつた。世祖士が激怒を揮つてゐた時なら邪坊の首は寸時の余裕もなくはねられてしまつたところであるが、今の世祖士は前非を悔やんで心中に佛像を描きながら御寺へ祈禱の途次であるのだ。世祖士の心に慈悲の閃めくのは道理である。我が王駕を横切つた邪坊をかばつて目通りをゆるしてよくみれば我が顏と瓜二つの酷似である。世祖士はいよ〳〵不思議に思つて邪坊を御殿の中に抱き入れて色々と訊くのであつた。家はどこで父母は何人で何んの理由あつて深山の生活をするかとこの不思議な子供に就いて何かを見出さうとして問いてゐるのであつた。公主は世祖士の御殿の中に抱入れた我が子がどのやうな恐ろしい刑罰を受けてゐるのかと我が子の身の上にふりかゝる急難を気遣つて木の陰でわな〳〵と慄へてゐる。路上に下された御駕は公主の前から僅十間も離れてゐないが衛兵のために十重二十重に取り卷かれてゐるためにその間の消息は全く知る由もなく暴虐なる世祖士（父君）のために又も我が子まで殺されるのであると公主の心は我が子に對する憫憐と世祖士に對する憤怒とが錯交して胸がをどり氣も狂ひさうになつた。邪坊は世祖士に色々ときかれたが幾回に六ヶであるが、世祖士の問に對し滿足を與へるやうな返答のできる筈はなかつた。

『私は山で生れて山で育つたと家には父と母と婆やとゐる』と答へる簡單の邪坊の言葉だけでは世祖王は光を霧をつかむやうであつたしまひには小うるさくきかれるのがいやになつたのか、邪坊は公主の隱れてゐる木の陰を指して『あそこで今泣いてゐるのが自分の母だ』と世祖士に答へた。なるほど世祖士の耳には先程から悲しい女の泣き聲がたえ〴〵に聞ゑて來るので思はずき耳を立てゝゐたので思つたのに邪坊にいはれてはつとあつた。そして世祖士は何を思つたか、御駕から腰を起して邪坊の手を引きつゝ公主の隱れた木陰をさして玉歩を進めることになつた。從者や衛兵は互に顏を見合はせながら世祖士のこの突飛な行動に驚いた。そして無言のまゝにそろ〳〵と世祖士の身邊をとり卷いて警備を怠らずついていきた。世祖士はこれらの從者を退けて暫く遠慮せよと命じて公主の前に進んで來た。公主は俄かに夢をみるやうな氣持になつた。將に死んだと思つた我が子が自分の父君世祖士を導いて我が身邊近く歩んでくるその場景を見るとまるでこの世の出來事とは思はれない。瞬間まで危惧と恐怖にとらはれてゐた公主の心は、俄かにぶつかりと氣が拔けて白髮皤顏の父君が金色燦然たる王冠をかぶり身に龍袍をまとつて徐に歩んでくるその姿をみると懐怨として夢の中で錦繡に臨んでゐるやうな氣持になつた。それと同時に七年の間父君に離れてゐた恨みが胸に迫つて新たな涙が兩眼に浮いた。世祖士の玉歩が間近になつた時公主は頭を伏せ肩をゆすらして泣いた。邪坊は無邪氣な聲をだして『あれ〳〵おかさんがあそこに隱れてゐるわい』と叫んだ。世祖士は公主の直前に歩を止めて立つた、そして世祖士は聲も柔和に

『そちは何ものぞ面を上げい』といふた、この時公主は泣きじやくつた。世祖士はせくやうに

『面を上げ』といふた。又そばに立つてゐた邪坊は足を踏みならしながら

『おぢいちやんと一緒にきたよ。おかアさん顏を上げなよ』といふた。公主は徐に顏を上げた。この時世祖士の視線と公主の視線は正面に衝突した。世祖士はこの瞬間電氣にふれたもののやうにはつと叫んで後に仆れんとした。そして思はず

『そちは娘公主……』

『あつ父君……』と世祖士の聲と公主の聲とが殆んど一時にかう叫んだ。そして世祖士の老眼からは涙が流れた。

『そちは娘ではない娘公主は七年前に死んだのだ。そちは我が娘によう似てゐる。ゆるせよ。みんな余が惡かつた』と世祖士は死んだと思つてゐた娘公主の顏をみてとびたつほどの懐しさを感じると同時に娘に向けた我が横暴を心から悔んだ。從者には世祖士のこの異様な態度をみて腑に落ちないやうな顏をしてゐた。世祖士は暫く我が娘の顏を眺めてゐたがやがて公主に向ひ『何れ迎へるぞよ、それまでは……』といひ殘して再び御駕に入り行列が發せられた、あゝ奇しきことよ、七年の永い星霜を經て死んだと思つた我が娘に逢ふとは全く夢のやうであると世祖士はこれみな御佛の御利益であると喜んだ、そして公主のいまゝでの奇しき運命に就いて色々推想しながら御寺に進んだ。

王駕が去つてから金青年は短刀を逆手にもつたまゝ薮の中より現はれて機會を失したことを口惜がつた。世祖士と公主と對面する瞬的情景をまのあたりにみた金青年はこの樣子を殘らず知ることが出きた。

日經て公主の山小屋には世祖士からよこした立派な駕籠と多勢の衛兵がついてきた、併し、公主のをつた山小屋は人の影もなくから空であつた。公主の一家はその前夜にまた何れかへ身を隱してしまつたのであつた（終り）

（筆者の言＝年末につきまた他日を期して續稿を書きます。この稿無斷上演、上映を禁じます）

自然主義と—プロレタリア文學

—文壇生活を回顧して—

（中）　德田秋聲

赤裸な姿、一切の觀念的な乃至道徳的なものをはぎとつたこの姿こそ人間の本然の生き方である。と自覺して自然主義者達は本能のまゝに生き動く人間の姿を描いた衣食足つて禮節を知る、といふ言葉があるが、自然主義者が積極的に禮節を否定し、本能のまゝに生きんとする人間の姿を描き、その生方に傾いたのは一つは衣食が足りない所から來たともいへるのである。即ち戰後の不況時代が彼等を餓鬼にしたのである。

しかしその時代の全般がさういふ傾向にあるのではなかつた。そこには戰後の經濟的行き詰りは到來してをつても戰勝氣分で軍國主義的國家觀念や、それに根を挿した舊套の思想傾向、在來の道徳人情さういふものは依然として社會に覇を擁げてゐた。かういふ個人に、かういふ生き方に目覺めた自然主義者は當時の先驅者であつて彼等は世間の普通人が顏をそむけるやうな本能生活を描き、道徳も觀念も救ひ得ない赤裸な人間苦を描いた。彼等は體に衣を着せず身に一糸をまとはず、現實に飛び込み、現實に生き、現實を暴露しありのまゝの正直な、同時に眞實な現實人間生活を描いたのである。之は在來の道徳や觀念に對する爆彈でなくてなんであらう。當時の世間一般を支配してゐた思想觀念感情に對する爆彈でなくてなんであらう。この本能に卽し、物に卽した彼等の（私もその一人として生きたのでは勿論あるけれども）主張作品は先づもつて現狀打破の聲であつた、余りに粉飾的な非自發的な當時の社會人の胸を冷たく息づまらせる生活革命の聲であつた。そしてルッソーは（懺悔錄）等の著物によつて道德習慣と戰つて自由に本能的に生きる人間の人間らしさを鼓吹した。

それは生活革命の聲であり、現實に目覺めの聲であり、同時に文藝作品としては新興文藝が常にさうであるやうにそれ以前の文藝に對する挑戰でもあつた。當時は紅葉、露伴等硯友社一派の裝飾澤山な美文句調の人間を描いても本當の人間を描かず、徒に作者の文章によつて衣裳を從ひ美を凝んだ人形的人間を描いた文藝に反抗した文章も美文調から解放されて日常使つてゐる言語をそのまゝ持つて來た自由な文章にする。作者の頭で勝手に奇麗にでつち揚げた人間を描くのを止め米を喰ひ、二本の足で大地を歩いて生ける人間を描く。文科學的な客觀的な態度等々と新しく生れた文藝にふさはしい新らしさを示したのである。

所で目下非常な勢ひで成長しつゝある所のプロレタリア文藝である。自由主義もプロレタリア文藝も共に經濟的不安な狀況から發生したと先にいつたが、自然主義は日露戰爭後日本が非常とまでは行かなくとも相當な好景氣にめぐまれたならば或は生れなかつた所のものである。喰ふか喰はない境に生れた文學である。自然主義を提唱しこれをもつて戰つた作家評論家は多く事實において食ひ込んであつたのである。

その日・その日　吉田冬葉

山茶花の鳴きあがりけり冬の霧

京城俳壇（八月集）…五

雁來紅の暑さ人形の目に映ゆて　京城　宮崎笑蜂
新涼の館閒く街の草履るゝ　同
桔梗さく庭の蛐蛐雨ためて　開城　石崎潮
峴道にはつはつ咲きし桔梗かな　同
山に來て萩うれしく月みつる　京城　齋藤東仙
馬の背に疲れ出て來ぬ夕蜩　同
夕風萩の根棚にさらされて　京城　千葉五城
萩踏みぬほろ〳〵と散る山の萩　同
黄鳥が子を呼んでゐる夏木中　京城　佐々木醉仙
山影が走るよく月の汽車　同
螢うつして川はすみゐる雨もよい　京城　下林貞雄
新樹や草細々と日を追ふて　同

花田高麗男を笑殺す

國弘坦

噛ふことは僕の任意だ。噛はれることも虐殺されることも僕の任意である。噛ひたくないロを噛はしたのも花田にいさゝかの反省的良心の存在を信じたからだ。ところがどうだ！ 滔天をたゝんで亡命にまで行商する圖々しさ僕の名でも宣傳でもなかろう。性來の根性だろう。

『半島詩壇決算書』などと大仰に立ン坊商人らのつけなど貰はなくとも、行くものは其自身行く自力をもつてゐる。僕のことに對して一年經つてもまだ曙光〳〵とわめいているが詩壇位階が常に同一時點にあると思ふはお笑ひ草だ。『大鵬僕の昇いた文が判るか？』なんてイキマイていたが誰でもいゝ形と天使を手に執つて見ろ？全く譯も判らぬことに呆然たらざるを得ないのだ！ 祝砲を打つとか、青空に笑ふとか血結或ひはピストルがどうの！要するに小學一年生の言ふところを中學生の言葉を以て言表はしたに過ぎないものだ。詳はしく云へば宇宙の陳列によつて胡蝶化してゐるのだ。花田よ！も一度自分の詩論？を再讀して見ろ。何を云はふとしているのか、何に到致せんとしているのか？一言で云へることを千萬言で繰述べていることを！最初から僕は眞私的（勿論個體的でもない）質疑を發していない。

君の明晰卓絶なる頭惱が稍狂つていることは、一として僕の嗤ひに答ねてないばかりでなく、激物に附撥するものが方向違ひの文とか、飛んでもない出鱈目な私情に立入つていることだ。頭ごなしの韻律化しては僕の寛大なる博愛を以つてしても何處殺されるには、除り大なるものであらう。無論僕の小文に對して答辯するのが（恐入に大膽の言動け理解し得ない式のご超然たる自惚權威からしたくないのなら僕にとつてもモーローたる祝砲や、ピストルなどで虐殺される義務も一厘もない筈である。君等の四台に在つて、中心を射たものゝないことは、寧ろ中心のないことを證據立てるものに近い

『僕はシュールリアリストでない君はこゝにおいても論點を間違へている』と花田はいふが大膽シュールリアリストの冠稱をつけ得べき君でもない。『詩に於ける本質とＰＯＥ論』にシュールリアリズムに祝砲を打つと言いている筈、宣言のみがあながち表明ではない。行爲表現も結果同一ではないか

することゝ並びに君等の時がシュールリアリスムの範疇に入るべきものでない—節詩の明晰を僕は爲んだのではないつたか論點は正確だ。唯花田の脆弱が明らかに臆怯そのものゝ中に混亂したのだ

小兒病的困亂觀念である眞私的問題は見角理論的破綻より來るものだ

蛍々たる嘔捌以外に無智な沈默は即かれないであらう。僕は花田に虐殺されるに隙りにも餓防が有り過ぎるのだ

京城歌壇（八月集）…（五）

風立ちて朝の梢の小ゆれはる葉ずれの音に立つ秋のから
青蔓かげバカチさがれるわが家の屋根にならべるトウガラシかも　新義州　松本加津子
松林めしふみつゝ茸狩りに夫とわが入る秋のどかなり
雨あがり丘の木の葉はしづくして日に映ゆるみれば心さやかに　會寧　大草美里
行水を終へて涼しき縁側に花火のにほひながれくるかな
日になれし軒の青桐息づきて風にそよげり水をし打てば　京城　英丘彩風
足庭をいためし友をいたはりて歸る山路に夕ぐれにけり
電燈の灯影となれる窓に虫啼きいづる秋の夜はよし
電燈を軒に吊してしばらく虫の啼く音に聞き惚れて居り　春川　木内露樓

新らしき戀愛觀について（二）

高群逸枝

避姙戀愛

初期資本主義社會での新らしい戀愛が、エレン・ケイの指摘したやうなものであつたならば、今日の進化した資本主義社會での新らしい戀愛は何であるか。

リンデーの友愛結婚とか、ラッセルの二重結婚とかいふやうなものをそれだとする。

◇

もつともリンデーにせよ、ラッセルにせよこゝではその各々の獨創的の理論は問題とはせず、二者一束にしてそれらを避姙戀愛の主張であると見るときに、意味が出てくるのである。

避姙戀愛—即ち避姙に基づく男女關係は、資本主義社會における一般的の現象となりつゝある。こゝにこの社會の新らしき戀愛が認められないだらうか。

◇

アメリカのモダーン・クオータリーその他の諸新聞雜誌が『今や性生活は生殖から快樂へと移行した。避姙法の發達とともに』といふ記事によつて、避姙戀愛の出現を迎へたのも、もう可なり遠い過去となつたとか。

リンデーによると、『性的經驗のある女學校時代の娘四百五十九名のうち、姙娠したのは僅々二十五名、他の連中は大部分避姙法を用ひてゐた』といひ、『結婚の破產』の著者カルヴァートンもその著書の中に『結婚前に性交を行つた七十一名の婦人中五十人は避姙を行つてゐた』といふ報告をしてゐる。

◇

『結婚の破產！』とカルヴァートンはいつてゐる。結婚なるものは從來の意味では、出產を中心としてのみ有意義であつた。

『子なきは去る』などといつて子のない結婚は無意味なのであつた。だのに今日の資本主義社會はまたそれに根ざす經濟的の原因の故に何よりもその避姙法の發達の故に『子を生まない』男女關係を一般化させた。即ち結婚の無意味である。結婚の破產！である。

◇

『結婚の破產は即ち新戀愛の出現』であるとカルヴァートンはいつてゐる。新戀愛とは何か。避姙戀愛である。

この避姙戀愛について、殊にその鮮現象について彼はまた興味ある事實を指摘してゐる。

それによると『アメリカでは若い男兒の好奇心と興味はすでに全く賣淫婦を去つた』といふのである。即ち彼等の興味は今や結婚道德を破壞し、家庭をとび出してきたところの珍奇な若い女性の大群に移行する。それらの女性は避姙的無責任さと、その科學的性的果敢さとによつて多くのそれらの男どもを醉了する力を持つてゐる。

◇

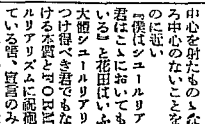
『大戰以後アメリカでは賣淫は亡びつゝあるかといふことが屢々多くの新聞雜誌における興味ある題目となつてゐる』といひ、『二十年から三十年前までは男達の多數が賣淫窟を訪ふたのは全く普通のことであつたが今は狀態が一變した』とカルヴァートンはいふ。カルヴァートンはマルクス主義的批評家であるが彼にしてこの言葉のあるのはなほ一層興味あることである。

◇

一體賣淫婦に關しては、從來は殆んど絕望的であつた。宗敎家は宗敎的の立場から『それの消滅は絕對に不可能。それは宮殿における下水である。強ひて除くとすれば宮殿のすべてが下水化する（聖トーマス）などともいひ、他の政治家や社會主義者達は經濟制の改革を云々とした。勿論究極はさうであるとしても、避姙戀愛（人工的自由戀愛）の出現によつてそれが減少の狀態にあるといふことは戀愛の自由とそれとの關係を如實に物語るものといつてよい。

短篇　葉子とその母（七）

池松高麗生



葉子と木田の戀愛は遊戲の上で具體化して行つた。

周圍の謗りは彼等の刺戟と昂奮の觸媒となりはじめた。或朝加津子さんは冷たく取り亂してあつた葉子の寢床によつて彼女の失踪を知つた。知らせを受けて私は少からず當惑した。私は瞬間の豫感の中で木田の心情に對し激しい憎惡を抱いて見た。けれどもさうかといつて積極的に對策を講じて見るだけの根氣と力を私は持たなかつた。そして彼等のためにせめてもの幸福が存在するなら如何んな形式の中にでもそれを祈つてやりたい心持が私の心の隅つこに生きてゐた。

Ｋ驛地—

西部の沿線から入り込んだ部落のはづれに、鬱蒼とした森林をバックに幾多の靈魂が埋れてゐた。そこで木田と共に催眠藥をあふつて神秘のコースを辿らうと試みた葉子は、致死量を超えた藥品のために再び生を賜らされたのであつた

新聞紙は彼等の醜態を特種として歡迎した。それは彼等を個人的に知らない人々の間にまで衝動を起して行つた。悲惨なヒロイズムは世紀末の頽廢的な社會に一抹の涼風を引いた。

が併し一先づ彼等を自由にし戀愛にした。

だが然し葉子にはさうなればなつたで何かしら飽き足らぬ心の空きがあつた。アヴアンチュールの欲望だつた。しかも超致死量の催藥の效果が死ではなくて、依然として彼女の肉體に靈魂を保たしめたといふことが、彼女に一つの狂つた好奇心を植つけてゐた。

彼女は木田にサインを送つた。僕れた木田は再び彼女と共に秩父の山に逃げ込んだ。

葉子の好奇に動く一つの奇蹟。超致死量の腦髓を遊戲と陶醉にかけて、のみほすと、彼等は『ふゝン』と氣味のわるい快笑を送り合つて固く抱き合つた。

ふれ合つた唇をさつとはなして葉子は立ち上つた。

『つまんないわ』

『なぜ？』

葉子はだまつたまゝでバラ〳〵と髪をほどいた髪を亂した長襦袢の下からファクラとした乳房の突端に肉の眼があかく燃ゑてゐた。

葉子はオカッパをふりみだして崩をすべつて行つた。谷間の流れに裸の肌を浸して

『木田さん、いらつしやいな』

『此處よおーつ』

と空を仰いだ

『あんたもよ』

やりて來て水際に立つて木田に、葉子は溶け入る樣な瞳をじつと据ゑてゐた。

アダムとイヴの水浴。天と地の靜寂の中に、葉子と木田は裸身をピッタリと合して瞳を閉ぢてゐた。

▼……マルクス主義勞働者教程・經濟學（第五分册）定價三十錢、東京市麹町區四番町九・叢文閣

▼……ファッショとは何か（室伏高信著）ファッショは現實の問題である。われらは嫌でもこれを理解して置かなければならぬ。本書ではファッショの世界、ヒットラアと國民社會主義、ムッソリニとファッショ等等を說いてファッショとは何かに明確に答へてゐる。一讀をすゝめる（定價三十錢）東京京橋區新富町二ノ四・夜明け社

家庭一品

クラブ煉歯磨

輝くマーク
綠のチューブ
國產の
クラブ煉歯磨

眞白な煉
爽かな味覺
優良な
クラブ煉歯磨

CLUB TOOTH POWDER

正價　大廿錢　中十錢

臺所を脅やかして又もや米の値上げ
諸物價もだんだんあがる
今が絶好の買物時

犬養內閣の出現―金輸出再禁止―對外爲替暴落―國內物價の暴騰とでもいふのであらうか、景氣はよくなるが一方物價は高くなつて來る

◇

その證據には他に理由もあらうが米價が餅の需要期のやうに跳上つてすでに九日以來四回の値上げをしてゐる。けふ二十四日からは一等白米一キロが十五錢五厘、特等米は一錢高の十六錢五厘となつたこれは京城府內の各公設市場値段であるが、その邊のお臺所からは小言が聞えて來ることであらう。それもその筈、九月以來一キロにつき三錢上つてゐるのだ、これを一斗に換算して見ると約四十三錢の値上りになつてゐる―

◇

お米だけではない、これからは物とし物は押しなべて上ること請合ひである。三越その他各デパートでは先づ年內に正札を變へることはないが年が明けると品物によつて一割から二割くらゐは上るものと見られてゐる『奥さんお買物は年內にどうぞなさい』とでも誘ひ合ふのであらうか各デパート、商店は押すな押すなの大盛況―今年の年末買物心理を解剖するとまんざら嘘とは言へまい

海軍 東郷元帥の放送

【東京電報】明年一月四日は明治大帝が陸海軍人に勅諭を賜はれて五十年記念日に相當するので、海軍では東郷元帥に乞ふて我軍人が聖旨を奉じて上下御奉公の途に精勵しつゝある旨全國に放送を願はすべく交渉中であるが、元帥承諾の上は親しく老東郷元帥の聲に接することが出來る譯である

勅諭奉戴五十年記念式
明春四月一日を期し 陸海軍で盛大に行ふ

【東京電報】明治十五年一月四日明治大帝が陸海軍人に勅諭を賜ふてから滿五十年に當り新春一月四日は恰もその記念日に相當するので、陸海軍大臣はその最も意義深き日において部內の上陸海軍人の聖諭を奉戴して奉公の途に精進上下心を併して陛下の信倚に對へ奉らんことを誓ふ旨を上聞に達すると共に陸軍部隊(官衙學校軍隊)においては全國各地に壯嚴な儀式を擧行する事になつたが、教育總監部でも軍隊の精神教育に資すると共に、國民精神作興の一助にもとかねて歩兵第三十三聯隊島田歩兵中尉の原作になる聖旨を鮮明した映畫『心の燈火』を日活と共同で製作中この程完成を見たので、各師團に配布すると共に常設館に

本町三丁目 慰問金

府內本町三丁目町內總代外役員諸氏は去る十一月末から在滿軍隊の慰問金を募集中のところこの程締切り在滿將兵慰問金百五十圓を京城府を通じ五十圓を龍山衛戍病院傷病兵慰問金に百四十六圓二十錢を在滿軍隊慰問金として本社を通じそれぞれ贈つた

寄附

京城府大和町三丁目一ノ三五□□一氏は亡次男□夫の香奠返しに代へて金三十圓を府內社會事業へ寄附を申出た

入城中の南大將 傷病兵を見舞ふ
將士溫情に感激す

入城中の南大將は二十三日午前十時軍司令官を訪問して先づ朝鮮神宮に參拜し、續いて昌德宮に伺候、總督府に宇垣總督を訪問し、會談すること約三十分にして午前十一時三十分衛戍病院に傷病將士を見舞ひ、約一時間に亘り懇懃に負傷當時の情況を聞き感慨深き面持で、各室毎に次の樣な感謝と慰安の辭を與へられたが、將士一同大將の溫情に感激した

國家重大の時機において諸士は君國のため勇戰奮鬪して或は傷き或は病に罹られたのは誠に同情に堪へない然しながら今や國民は滿蒙問題の重要性を自覺し最後の解決をせねばならぬとの堅き決心を以て擧國一致奮鬪してゐるのであつて國民にこの自覺と堅き決心とを與へたものは眞に諸子の忠勇義烈の結果である諸子の功績や誠に偉大と謂はねばならぬ

私は陸軍大臣として諸士の奮鬪の情況は夫々諸士の上官より報告を得てゐたので一度親しく御見舞したいと思ふてゐたのであつたが今回大臣の職を辭し滿洲に視察の途次に諸士を見舞ふことが出來たのは誠に欣幸である院長の報告に依れば經過は概ね良好に向ひつゝあるとのことで喜んでゐる、どうか自愛加療されて全快の上再び國家のため忠誠を捧げられんことを切望する次第である

◇―朝鮮人留學生の集り

なごやかに 明世寮の歡談
朝鮮留學生の集り

回…大倉邦彦氏の經營による朝鮮學生の學寮明世寮の懇談會がつひ最近大倉氏の目黑自邸で開かれた。この明世寮は朝鮮留學生のために設けられた宗教的修養機關で毎月二回大倉氏自邸と學寮で開かれることになつてゐるが、この日は東京留學生をはじめ卒業生一同約二十余名が出席、それに大倉氏の親友である本社池田社長も主賓として會に加はり極めて意義深い懇談會が開かれた。

回…懇談會に先立ち先づ大倉氏の食前感謝があり終つて一同晩餐を共にしたが、朝鮮女學生が手製の朝鮮名物マンヂユウとオシンコがお斷然人氣を呼び寮父の大倉氏池田本社長は東京におけるこの珍しい御馳走に舌鼓を打つた。

回…晩餐終つてから寮父大倉氏は池田本社長を一同に紹介、これに對し池田本社長は大倉氏の經營による明世寮に出席したことをふかく喜ぶと述べ、次いで朝鮮歷史について極めて有意義な見解をのべたが、一同はこれに對し眞面目たる質問をなし席上意見をのべ寮員一同に今更ない感謝と感激を印象づけて同十一時盛會裡に閉會した

回…なほ池田本社長はこの懇談會において二つのポケットに入り切れぬたくさんの御土產をもつて歸つたといふ。そのお土產とは何か？いづれ池田本社長は明世寮の人々に此お土產を成長させ立派にしてお禮を申し上げることであらう

暴力團は徹底的に取締る
着任した中村本町署長談

長身痩軀、眼鏡を通して接する瞳の底にピカリ、それでゐて全面とも朗かさを漂はしながら京都七條署長から本町署長に榮轉した中村備武氏はクニ子夫人、長男何信(二)を伴れて着任、府內各署長、各關係者、署員等の出迎へをうけて永樂町の官舍に入つた。途中水原に迎へた記者に對し鹿兒島と京都の兩國なまりをごつちやにした口調で

『カッフェ問題その他の保安關係の問題はいづれ着任の上土地の事情を更に調査した上でのことと赴任の途にある今日は全く白紙です、ダンスホール設置問題もその通り……

×

暴力團に對する取締は徹底的に遂行したいと考へてゐる、京都に居た時もこの方は多少峻烈といけれるまで手をくだした

×

たゞ一つ、署員とともに第一線にたち、全力を傾注して職務に從事したい、兎角萬事一年生だよろしくたのむ』とて仲々如才ない(寫眞は新署長と同夫人令息)

腸破裂で即死

忠南禮山郡生れ□□一〇九勞働者梁仙宜(□)は目下擴張工事中の桂洞中央高普運動場で土工作業中廿二日午前十一時二十分頃高さ十二三尺の崖から凍結した土塊が崩落し下腹部を強打腸破裂で即死した

冷え性の方へ

不思議な程効果ある新しい療法が婦人倶樂部新年號に發表されました。冷え性の婦人の福音！大變な評判です。直ぐお試し下さい！

犯人禹 本町署へ

娼妓二人殺しの犯人禹宗鉉(三二)は廿二日禮山署の取調べ一段落となつたので同日午後五時本町署に身柄護送され嚴重取調べ中

滿洲の少女 お國のため踊る
廿六七兩日公會堂で

酷寒零下三十餘度の曠野に起き伏してお國の爲め奮鬪して呉れる兵隊さんの恤兵基金募集の爲め遥々滿洲の少女達が我が京城に踊り來て慰問金を集めようといふ舞踊大會が本社後援の下に二十六、七の兩日午後七時から公會堂で擧行されることとなつた、この主幹者であり振りつけは女子體育研究家として知られた大連舞踊研究所の備木總三郎氏である。氏は我が舞踊界の重鎭石井漠、高田せい子等と伊太利人ローシー氏の薰陶をうけ殊にデンマーク式體操を早くより研究し、これに日本舞踊の優美さを加味して兒童舞踊を創設し氏獨特味を發揮してをり今回の舞踊會は各方面から期待をもたれてゐるなほ會費は大衆的に大人五十錢小人二十錢であると

◇―唐人お吉(附屬滿鐵□小學校、大連松林小學校六年生)

平壤部隊と合流滿洲へ

【平壤特電】滿洲派遣龍山部隊〇〇名は二十三日午後〇時〇〇分平壤驛通過、また平壤〇〇第〇〇聯隊山升曹長は同列車にて出動滿洲に向つた

◇この人達が年を忘れて賑やかに一夜を朗かに送らうといふ爆笑の種、漫談、ナンセンス物、漫劇すべて爆笑の種であるが、□好の慰年演藝會として見のがせない企てである

戶別訪問 慰問金
二小女の美行

少女の身でけなげにも戶別を訪問して慰問金をあつめ、廿二日午後本社を訪れてこれが輸送方を願ひ出た二人の少女があつた。この二人は澤田光子(一〇)さんおよび佐川正子(一〇)さんで共に龍谷小學校の高等一年生に通つてゐるが、去る十九日學校の歸途永樂町附近で、折からの寒さもいとはず在鄕軍人の人々が慰問金の募集をしてゐたがそれに金を入れて行く人が少いのを見て二人が相談し、十九日、廿日の兩日澤田さんは西四軒町を佐川さんは黃金町五丁目を各々自分の家の近所を戶別に訪問して慰問金を集め合せて二圓九十錢となつたのでこのことを校長有川氏に話したところ、同氏もいたく感激しこれを慰問金として本社に依頼して來た

自殺

鍾路二ノ一二五鄭福煥(二五)は二十三日午前十時頃自宅で藥性胃腸多量嚥下直に仁濟病院で應急手當を加へたが生命危篤

穩かでない中等學生の結社
大邱の不穩ビラ事件で 少年の策動暴露さる

【大邱電】去る三日大邱驛前、大邱中學その他に不穩ビラを撒布した事件あり、大邱署及び道高等課で犯人捜査中引つゞき九日夜大邱師範で然も出所不明の不穩文書を配つたものあり大邱署の活動によつて犯人は何れも逮捕されたが、事件は全然別個で第二次の不穩文書事件は大邱師範の某外四名は取調べの結果一段落ついたので一兩日中に檢事局に送られることになつた又第一次の分は佐々木政雄その他大邱某中等學校生徒を中心とする秘密結社事件が暴露したのでなほ取調べに相當の時日を要する模樣である

年を忘れる 漫談の夕
盛澤山のプログラム

◇御知の南坂夫君を迎へて趣味の人達の集り―腹卓漫談、漫劇みだが、岡田美代子、守田康夫介、木園夫、櫻田群作、桃山ロック、島家の三木弘氏等手色の變つた顏ぶりがすつかり人氣を呼んでゐる映畫の夕はいよいよ廿四日午後六時半から本社樓上來賓館で催すことになり、すつかりプログラムが出來上がつた

◇南君の漫談、映畫時代相、漫談的解說など京城ではじめての試

大田名物 リンゴカステラ 中田堂

支那の情報員 續々鮮內に入込む
我が官憲は干涉せず

【平壤特電】奉天、錦州の支那官憲と連絡をとる對日諜報陣に相當する公安隊員十余名は約一月前國境を越へて新義州より鮮內各地へ潛入したと傳へられたが、最近に至り平壤地方にも數名潛入してゐる模樣あり、その他では平南の浦坪から特派された情報委員數名は平壤へ潛入し日本軍の行動その他を詳細にフランス、パリに滯在中の國際聯盟支那代表に通報しつゝあるが我が官憲では干涉せず注視してゐる

巨流河の松崎中隊 彈藥全部爆發す
火災が導火線となつて

【新民府廿三日發至急報】巨流河駐屯松崎中隊宿舍の火災は零下三十度の肌を刺す寒風に吹きまくられ忽ち全宿舍に燃え擴つたため彈藥を持ち出す暇なく小銃彈及手榴彈全部爆發し時ならぬ大音響を起し新民府より救濟に向つた救護班も危險にて近寄れず空しく傍觀の外ない、その際我が兵は重傷三名を出し二名行方不明となつた

寒風に煽られて 宿舍を燒き盡す
重傷者三名を出す

【新民府廿三日發電】巨流河駐屯の騎兵大隊松崎中隊宿舍より二十三日午後四時半出火し折柄の寒風に煽られて忽ち三棟を全燒、負傷者三名を出したので新民府より午後五時第一救護班を仕立てゝ天幕及若干の醫療品を急派し引續き午後五時四十分第二救護列車を急行せしめた、原因は調査中なるも、目下不明

勅題 踊のお稽古

『勅題、曉雞聲』を例によつて本券番では逸早く作曲振付で十八日から三味線唄、二十二日から踊りの稽古をはじめた。作曲は□□實乃助師、振つけは若柳吉□、同吉丸の兩師匠で日本券番では□お稽古にいそしんである(寫眞は若い妓達の稽古)

街の巷
カフエーの巻

モダン、ウルトラ、シークといつた言葉が、やたらに流行する時代ですその尖端を行く惡習が各所にみちあふれてゐます。こゝに提供する三つのお話―それは笑へぬナンセンスですが、たしかに時代色を持つてゐると思ふのです

◇

府內本町二丁目某商店の店員岡島君二(□)君(假名)はとても愉快な失戀選手です、失戀にかけては彼君程得意な人は一寸珍しい程です―といふのは彼君は六年前の岡島の中學校を卒業して直ちに來鮮某商店に傭はれたのですが夜となる頃には彼君の持つエネルギーははけ口に困つた結果、選んだのがカフエーでした、バロンには非頃露子といふ女給がスターとして斷然光つてゐました。でミス露子を目當に群がり寄る一人となつた彼君は雨風のいとひなく無夜通ひつめたことでした。嚴ましき胸の思ひを打ちあけた結果鮮やかな肱鐵です、淋しくも彼君はかき消せぬ戀の焔を同じカフエーの露子に振りかぶせ、これも駄目かくして失戀苦を味はつた彼君は、これにこりず本町バーの臨丸ビルの某、その他五十三軒のカフエーに一人づゝ片戀の相手と自分で定めたのですがそのテクニツクが悪いか一向に相手になつてくれません、爾六ケ年のカフエー入りびたり生活は總じて多額な彼を失墜させたのです、でこゝにおいて彼君は斷然さとつてカフエー行きを止したのです

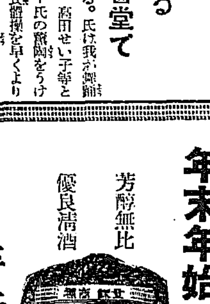
◇

コーヒー一杯(金廿錢)で一寸一時間―そんな生優しい話ではありません、日本酒二本(金六十錢)とつき出し一ツを注文したきり九時間もカフエーに居據り、京城でのレコードを作つたといふニユースを一ツ―聞に認いといふのではありませんか、十九日午後五時京町旭町のバーリッに年齡五十歳位の內地人紳士が來ました。彼氏與のテーブルに陣どつて日本酒一本を注文しました。その人柄からみてこれはよいお客さんと女給連のサービスはテイ寧でした、お盃に注がれたお酒を彼氏は飲まうとしませんなめるのです、いやかするのです、一杯のみほすのに卅分もかゝりました。約三時間程の後やつと銚子一本をのみほした、で彼氏はお代りを注文しました。かするお酒のテンポは實に遲々たるものです、それでゐて女給がテーブルをはずすとさあ大變です『おいこゝには女給がゐねのかい…』と大聲をあげるのです他のお客に迷惑とあつて受持女給さんはしぶしぶとたんりないサービスで彼氏に應待してゐました。十二時すぎ、時計が一時を打つても彼氏は御輿をあげません、二時になつてやつと勘定といふことになり金七十錢也をあらつたきりかあいそうに女給さんにはチツプもあたへず立去つたので午後五時から午前二時までに九時間流石の東京大阪の本場できたへた迫子る子小夜子といつた女給さんも斷然尖端を迫つた彼氏には流石口あんぐり―

◇

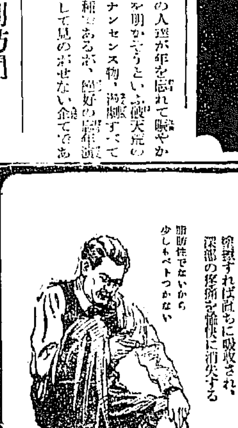
一日本町バーに朝鮮服をまとふた三十五、六歳一人のお客さんがやつて來ました。料理よ、カクテルと運んで酒よ、來ました、さていよいよ勘定となりました金五圓廿錢也と請求するや彼氏は『金は持ため』とぐづるのです途に無錢飲食者として本町署につき出されました、井川司法主任が彼氏の顏をみると『またやつて來たな』と苦笑しながら取しらべたのです。その夜一晚留置されて翌日同署に訪れ手から北間弁護が迎へに彼氏の五十五六歳の父親が迎へにれたのです。彼氏その名を府內某所へ(假名)の實弟(三〇)(假名)と云つて父親がふんだんに小遣ひをくれぬ所からこゝに無錢飲食を斷行することになり本町署にあげられては父親を呼んでもらはす……この手で十餘件、なんと新手な無錢飲食常習者ではありませんか―

年末年始ノ御用酒 芳醇無比 優良清酒 馬山 平井本家吟釀 イヅツヒラ正宗



○頭痛にノーシン○

ロイマチス 神經痛・關節炎 外用藥 サロメチール
氣候の變り目毎に關節に鈍痛又は劇痛ある時…迅速に鎮痛の快感を得せしむ
擦擦すれば直ちに吸收され深部の疼痛を爽快に消失する
脂肪性でないから少しもベトつかない
一円・五十錢・二円半 各地藥店にあり
S 480



登記公告方
昭和七年中當法院管內開城支廳及金川、新溪、谷山ノ各出張所ニ於テ取扱フ商業其ノ他法定ノ登記公告ハ京城府ニ於テ發行スル京城日報ニ掲載ス
昭和六年十二月 海州地方法院

皮膚泌尿花柳病 醫學博士 渡邊晋

京城名物 栗饅頭 江

ジール 體溫計 品質を無視して消費節約なし 十年間絕對正確 世界的最優秀品

產前產後にどりこの

電機學校講義錄 高等 初等

ニレット 東洋製菓の ビスケット シンアロルート

京日案內
帳場 入用年齡四十歲前後京畿をよくするもの 午前中本人履歷書携帶せられたし 京城驛前 大東館
商品 京城府成町五三 永田
貸家

淋病と小便檢査
淋病患者は種々の療法に迷はされてはならぬ。一番注意すべきは小便の檢査である。素人で淋病を知るには、小便をコップに採つて見ると糸屑樣のものやゴミの樣なものが浮いたり沈んだりしてゐる。それが淋菌なのである。どんな大家や博士に掛つて藥を服んだり注射をしてもコツプで小便の檢査をして糸屑樣の淋菌が直ちに減じない樣では無効である。有田ドラッグの淋病藥を服用すれば直ちに痛みが去り、膿が止り、コツプに小便を採つて見ると淋菌は日より日に目に見えて減じ、劇痛なる効能が顯はれ全治するのである
有田音松謹製 りん病 はい毒 請合藥 百圓進呈
帝國大學醫科大學病院 英米獨佛醫科大學病院にて
京城府郵便本局前 有田ドラッグ專賣所

有田ドラッグ

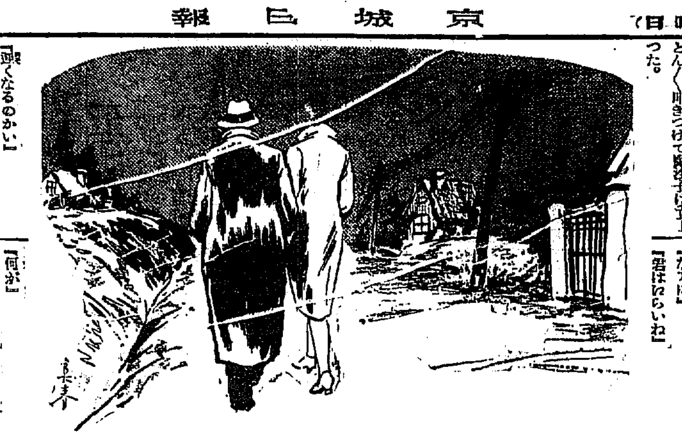
毛皮 重詰 玉突 ピアノ 中古買受 恩給 恩給

特別案內 膀胱腎臟病 花柳病 安部醫院

東京放送局一等當選 ナショナル三球受信器 日本放送協會推賞 シャープダイン受信器 京城ラヂオ商會

命の最高峰 (4)

平山蘆江作 布施長春畫



とつぷり日が暮れた。

浦田の住宅地だから、もうどこもこゝも、戸を閉めてゐる。年の暮れ近い空っ風がヒュー〳〵と、笛を吹きならして、だあれも人通りはない。

背広のまゝで、玄關に下りて、編上げの靴を穿いて了つた山路が、

『瀬川、なるだけ早くかへつて來るからなア』といつても、瀬川は返事をしなかつた。

『電氣に消滅器をつけておいてよまぶしくなつたら消すと好いわ。それから水藥は枕もとぞ。そして、ここに水があつて、こつちが魔法瓶べ。——これだけ揃へて置けあ好いでせう。おや、待つてね』

枕のまはりに、いろ〳〵用意をしてやつてから、蒲團の四すみをとん〳〵叩きつけて魔沙子は立上つた。

『遅くなるのかい』

病人が目をつぶつたままでいふ。

『ゑゝ、ちつと』

『大分風が强いね』

『でも、大丈夫よ』と外套のえりを引きよせるやうにして威勢よく玄關の方へあるいて見せる。

『外套』

『外套、着てるわ』

『おれの外套』

『あんたの外套をどうするの』

女が引返して來ると、瀬川が目をぱつちりあいて

『おれの外套は山路に着られないのか』と云つた。

『あ、山路さんに。——さうね』と魔沙子は一寸考へた。

山路は五尺一二寸で、瀬川は五尺七寸もあるのだ。

『かまはないから、着せてやれよ夜だもの』

瀬川が、珍しく優しい聲で云つた。

『邪慳なやうで、情合の深い男だね』

しばらく暗い町を默つて肩をならべてあるいてゐた山路が思ひ出したやうに云つた。

『さうよ、口が惡いからよく誤解されるわ』

『丈夫にしてやりたいなア』

兩手の指先を擦すぐらゐに伸びてゐる俳優の外套を氣にしながら山路はため息をつく。

女は空を見上げて氣を散さうとする。

『アッ! 星が飛んだ』

『もう、かれこれ一年になるだらう』

『何が』

『瀬川が倒れてから』

『さうでもないわ、十ヶ月よ』

『十ヶ月も一年も、大して變りはないぢやないか』

魔沙子は口笛を吹いて威勢よく歩調をとるやうにしてあるいた。男はぼそ〳〵と靴を引きずつて

『魔アちゃん』とよびかける。

『なアに』

『君はえらいね』

『何が』

『實にえらいよ。つく〴〵感心しちやつた』

『えらかないわ。ちつとも』

『どつちかといふと、君があんまり大事にするから、瀬川の身體の自由がいつまでも利かないんぢやないかしら』

『そんなことないわ』

『いや、さうだと思ふね。もう少しかまはずに置いたら——』

『山路さん今夜どこまでゆくの』

『東京』

『東京は判つてるわ東京のどこ』

『麹町』

『麹町おや大變ね。これ持つていらつしやい七八圓は入つてるわ』

『いいよ。大丈夫、さつき借りたのが殘つてるから』

『駄目だつたら、電車でなんぞごと〳〵行つてたら、かへりが遅くなるわ。それよりもタクシーでちつとでも早く行つて早く歸つて頂戴。あの人淋しがりやだから』

『ウン』

渡されるがま口をもちつくり受けて山路は鼻をすすつた。

『ありがと、ぢやア一圓ばかり借りて行かあ』

『だめだつたら、この儘持つてらつしやい。私の方は好いんだから』

『好いつたつて、丸で一文なしぢやどうする事も出來ないぢやないか』

『大丈夫よ。撮影所まで七八丁ぐらゐですもの、乘らうたつて、この通り、自動車も何もないぢやないの。それに、遅くなれば撮影所から自動車で送つてくれるわ』

『腹が減つたら』

『ほゝゝ、お顔が利きますよ。へい誰だと思つて蒲田のスターよ』

『はい〳〵お見それ申しました』

『おとなしくこれを持つてつてかへりにはおでんでも喰べていらつしやい。魔アちゃんとこの坊ちやんにもおみやげを買つて來てね。ほゝゝゝ』

片脚歩きに、トトン、トトンと飛んだりした。

讀者らん

▲先日の京城附屬の給食問題につき御投書なされた二年の母様はほんとうに附屬二年の方の母様でせうか。あの記事からそんなことがあればと實はすぐ學校の先生におたづね致しました。給食は三年以上の希望者二百四十何名のうち百二十八名をくちびきで公平に選び給食させてゐるとのことでした。つよく明るくほがらかにといふことを高唱していらつしやいます市村先生および諸先生ホコりだらけの運動場でなど食事をおさせになりません。實はそれ〴〵食堂を見せていただきました。非衛生などゝいふことは決して御座いませんでした。お獻立も市村先生佐々木院長加藤支店長の方々が御覽になつてから調理されるさうです。家からお辨當を持つたものは肩身がせまいのなんといつた感じはもたせません事實ほがらかでございました。みせていただき父兄諸を伺つたまゝを(附屬二年の子の母)▲十九日夜我滿洲派遣兵を見送りに行きました時背の高い警部補の人と太つた巡査の態度は何ですか萬歳を叫んでゐる婦人を片つ端から引張り出してゐるひどいのは八ッ位の女の子をつまみ出してゐるではないですか子供は恐い〳〵と言つて逃げるではないか婦人は唯萬歳と出して兵隊さんでさへ不思議な顔をしてゐた隣科の生徒が文句を言ふのは當り前で以後憲兵さんの様によい巡査を出して下さい感激してゐる人が非常に多いですよ(憤慨した京城人代表)▲京城驛交通整理のラインは無理な線がなく一般に難解であるあれを强行叱呼し奇態な取締りをなすことは當局の考慮を要する點であると思ふ(赤ケット)▲この頃いのに電話の取次をさせられる位困ることはありませんしかも憎たらしいのは自分の近所に電話があるといふのみでその家に何の斷りなしに知己に通知して置いて掛つて來たら取次させるなんてこれ位ゐ失敬なことはないと思ひますこれは恐らく電話所持者の共通に感じてゐることではないでせうか(迷惑生)▲京龍國主よ暖房設備の不完全なると切符賣場で今日まで何人客の小言を喰つて憤慨毛せしと何回なるやチト注意あれ(TY生)▲今A氏に子B子とは相思の仲である兩人の結婚に差支へなきや專門家の批判を仰ぎたし(妾生)▲以前南大門小學校に御勤めてをられた紅原先生の御住所と有山先生のその後の御消息も知りたいので御教へ下されば幸と存じます(廿一回卒業生)▲毎週二回位夜間鮮語の相手をして下さる方御座いませんか但し鮮人の方で男女を問ひません(本局四四一內宮本)▲會探鐵の裝備知識を作る好著あらば御知らせ下さい發行所定價等も(喚木生)

新年號雜誌 婦人物のナンバーワン 婦人倶樂部

△創作、實用記事、讀物附錄の全部に亘つて、美事な均衡を保つてゐる本誌はどこを突いて見てもすぐ破綻を見せるやうな脆弱な個所がない。鋼鐵板のやうにガッチリした內容陣形だ。

△讀物では『各界人氣花形座談會』『太郎やあい冊子を圍む座談會』『新年お笑ひ漫談會』其他。

△專門五博士の冬の小兒病の豫防と手當法、産婦人科醫から遺漏のない注意、乳兒に良習慣をつけた冊の經驗、お子さの爲の冊規繼學其他家庭家政記事も頗る豐富。

△美容特輯と銘打つた中の、人氣十六種流行髪の『流行美髪十六種』は一流美容師が指導のグラフつき素晴らしい結髪大圖解他の一つけ三部一流美容師の冬の美人法、美容法とせぬ所が特色で、顔は元より美髪美肌、手足のお化粧から容附の秘傳まで公開した全くの美人製造法。

△お正月のお台所に誂へ向きのお料理、お買物案內等も時にとつて結構だから、寒さ時の重寶記事『防寒下着の作り方』目下流行の尖端にある手藝物記事なども利用價百パーセント。

△創作にも菊池、加藤、中村、福田の一流所に、子母澤、石濱(金)小川未明、正木不如丘などの新顔を加へての飛躍ぶり、そこへ新聞界の巨人德富蘇峰が一枚加はつて堂々たる貫祿を示してゐる。

△六大附錄の『婦人知らねば恥大損帖』『家庭向來客向のお料理』『各種毛糸編物型紙一、二冊』『名譜美人名畫』『小物裁縫型紙』『顔面用美人名畫』『春の夜の怨』は何れも家庭向きで他に眞似手のないもの。非常な好評を博してゐる。

新年號雜誌 幼年倶樂部

僕ノウレシイコト

モウジキ、クリスマスデス。子供部屋ニクリスマスツリーヲタテ夜ハネムレナイホドタノシミデス。ダッテサンタクロースノオヂイサンガ、ネテヰル間ニステキナオモチャヲ持ッテ來ルカラデス。シカシ、十二月ニハクリスマスヨリモットモットウレシイコトガアルノデス。ソレハ僕ノダイスキナ幼年倶樂部ガスバラシイ正月號ヲ出スコトデス。今度ハ面白イオモチヤヤ、エライ人ノオシヘナドノ附錄ガ七ツモドッサリツイテキマシタ。

『コレデ五十錢トハ安スギルナア』トオ父サンガオ母サンニ向ッテオドロイタ顔ヲシテ申サレマシタ先生ニオ見セシマシタラ。タイソウホメラレマシタ。

每日幼年倶樂部ヲ出シテ讀ムノガジツニ樂シミデス。

オ正月モヂキニ來マス。

十二月ホド樂ミノ多イ月ハナイト思ヒマス。

僕ハ十二月ガスキデス。

出版界

●探偵小說(新年號)長篇讀切『[illegible]』法國風小說『浮ぶ錦衣』犯罪實話『列車になつた脱獄囚』交奇小說『秘匿性慾者の密告』アメリカ暗黑街を探る(山村不二)探偵趣味(江戸川亂歩)探偵小說の新傾向(伴大矩)ほか數篇の新研究、讀物

●讀物では、奇怪なスコッチ、ジミーと人獸、五千法の名刑、この指紋、つけて來る自動車、赤い椅子など(五十錢)東京日本橋本石町博文館

●ソヴエート評論(十二月)一九三一年總ざらへ號、總ざらへには日露間の外交、經濟、文化の諸關係からソヴエト一般の政治の經濟、貿易、國防等に亘つて闡明してゐる。なほ時評(茂森唯士竹尾弌)北洋漁業問題の課題(上田森治)日露關係試煉の重大機へ(今井政吉)ソ聯邦の第二次五箇年計畫(赤戶堅高)ソヴエート性政府の話(ドニーチェフ)ニュースと資料、聯邦人名辭典、ソヴエート新聞集その他を輯む(二十錢)東京丸の內仁壽二十一號館日露貿易通信社

●農人(十二月)五十錢、京城太平通二の九〇その社

●廣告資料(八六號)一圓、東京銀座西八丁目廣告資料調査會

●海防(十二月)二十錢、東京日比谷公園市會館內海防義會

●詩林(一三八集)五十錢、東京千駄ヶ谷町原宿八五その社

●朝鮮の產業(十二月)三十錢、その社

●婦人と新社會(十二月)十錢、東京四谷南伊賀町四一その社

●安東經濟時報(一三二號)安東商工會議所

●東亞法政新聞(十二月增大號)京城南大門通五の四その社

●青年カード(二七號)產業地誌館巾鑛民國の話(一錢五厘)東京四谷區丘町日本青年會館

●經營研究(十二月)稻畑勝太郎、山宮宗文、松岡均平、渡邊鐵藏、今岡純一郎、湖瀬の諸家執筆(卅五錢)東京丸ノ內仲十四號館ノ一經營資料調查會

●更生(十二月)十五錢、廣島縣京崎療養所內その社

●聯珠の友(十二月)卅錢、東京日暮里町金杉七七二その社

●コバアー(一一號)京城水標町二二その社

●レコード(十二月)三十五錢、東京神田小川町四一音樂世界社

●映畫教育(十二月)(昭和六年の映畫教育界、文部、內務當局訪問記(十錢)大阪每日新聞社

●國民法律(十二月)十五錢、東京芝二本榎町一の四七その社

●滿洲短歌(十二月)三十錢、大連桃源台二九六城所方滿洲鄉土藝術協會

●テニスの友(十二月)神宮大會號(十五錢)東京淺草區北谷端二一八六その社

●土木建築雜誌(十二月)六十錢東京神田驛前鐵道時報局內シビル社

●千鳥(十二月)五十一錢、東京本所向島請地町一二俳句と添削社

●朝鮮鑛業會々報(十二月)三十錢、京城南米倉町朝鮮鑛業會

●鮮滿之商工(十二月)家庭經濟商品智識並官證號(一年五圓)京城笠井町七五その社

●民衆時論(七八號)阿部賢主筆(五十錢)京城府西四軒町七その社

●聖餐(十二月)十錢、京城南山町三の三二南山本願寺

●錦江ニュース(十二月)一錢、京城演江通錦江局

●顧慈(十二月)十錢、石川縣石川郡出城村北安田香京書

●富士(新年號)講談(久米正雄)吉川英治の『佐幕志士錄』加藤武雄の『東京喜劇』濱六の『きさらぎ九年』矢田鑛造の『映畫女優』子母澤寬の『鬼火』山中峯太郎の『大陸非常線』直木三十五の『血天死笑』記事へ廻つて、英傑偉人の子孫訪問記、角通樂島禁衣の『春場所大角力勝負豫想』木村八段の『將棋が勝ちながら强くなる秘訣』など、附錄の『音樂界藝界名流寫眞大鑑』『名流居名映繪小說五大畫』『オリンピック花形選手グラフ』『野球界花形選手グラフ』『劇界映畫界名優花形粉裝寫眞帖』等々(特價八十錢)東京本鄉駒込坂下町大日本雄辯會講談社

演藝案內

東亞俱樂部 卄二日より三日間上映 徹底的大衆科學十篇をもつて全努力を注ぐオールスター超特作時代劇 大佛次郎原作 直木三十五 佐々木味津三 合作 市川右太衛門 嵐長三郎 原駒子 木下双葉 共演

朝鮮劇場 料金 階上大人三十錢小人二十錢 階下大人廿錢小人十錢 パラマウント社特作忘年デー! ピストル娘 全八卷 マルコーム・セントクレア氏監督 ジェームス・ホール氏主演 旅から旅へ流浪の其日々を送る老人と娘 クリスマスの夜の出來事 パラマウント社超特作全發聲映畫 ロイドの足が第一 全十卷 監督クライド・ブラックマン氏 主演ハロルド・ロイド氏 外に 一年ぶりに大朝鮮に於ける封切 爆笑の冒險 世界の奥地 冒險活劇

喜樂館 日活 八荒流騎隊 前後篇 德川三百年の無道政治に破壞し更に維新の大業を成し遂げんとする志士の血のにじむ樣な苦鬪 冒險 狂恋線息子 マーガレット・ランディス 愛と憎 東亞キネマ特作現代劇 川島秀子 石垣ふさ子 共演

大正館 日活 興亡新選組 前後篇 血染の伽羅 父 君戀し

中央館 鷲の目 梅の由兵衛 沈默の愛

京城寶塚館 歳末の御挨拶

京龍館 時勢は移る 太平洋横斷 乃木將軍 愛と人類と共にあれ

浪花館 十二月二十一日より 諸藝競演面白會 女雲右衛門 演藝種目

仁川出帆豫定

●名古屋、四日市、京濱 義盛丸 十二月廿四日
●阪神 吉丸 十二月廿四日
●阪神、京濱 英丸 十二月廿四日
●阪神 酒津丸 十二月廿四日
●名古屋、大阪 正生丸 十二月廿四日
●京濱 運漕丸 十二月廿四日
●名古屋、清水、京濱 和歌丸 十二月廿五日

仁川出帆 鮮航同盟會 仁川支部

●尾ノ道、阪神	大井丸	十二月廿五日
●吉浦、京濱	東洋丸	十二月廿五日
●尾ノ道、阪神	先島丸	十二月廿五日
●阪神、京濱	正木丸	十二月廿五日
●阪神	赤城丸	十二月廿六日
●阪神	隱田丸	十二月廿六日
●名古屋、清水、京濱	雲南丸	十二月廿六日
●阪神	與盛丸	十二月廿七日
●阪神	百盛丸	十二月廿八日
●尾ノ道、阪神	名瀬丸	十二月廿八日
●阪神	玉盛丸	十二月廿九日
●阪神	伏見丸	十二月三十日
●尾ノ道、阪神	ひよどり丸	十二月卅一日

阿波共同汽船出帆

芝罘、威海衛、大連行 利通號 十二月廿五日午後一時入港 十二月廿七日午前十時出帆
威海衛、芝罘、大連行 第二共同丸 十二月廿七日 十二月廿九日
鎭南浦、大連、天津行 長山丸 十二月 日午前四時入港 十二月 日午前十時出帆
仁川海岸町四 代理店 野口商會 電話二四番・一七三番

仁川出帆

大連直行(大連航路) △鮮海丸 十二月

朝鮮郵船出帆

△大連 △長石 △明成 鮮海丸 成丸 石丸 十二月廿六日 十二月 日
裏日本 北海道 樺太行

西海岸線

仁川代理店 朝鮮郵船株式會社 電話五〇一・〇八番

多獅島航路

芝浦丸 十二月三十日 新義州發
瑠璃丸 一月二日

お肌の榮養です。

お乳です。しかも、ほんの一滴で……十分です
一瓶は一家を朗らかにする美容料

レートフード

東京 平尾賛平商店

顔面と肌膚と毛髪の ◎ミツワ石鹼

緩和な作用

同じ化學上の純石鹼でも、作用の强いものと弱いものとがあつて、强いものは肌膚毛髪を荒し易いのですから、之を整へるには作用が緩和で、汚垢を良く落すものを使ふことが肝要であります。

溫雅な芳香

誰もが好く床しい芳香、豐に立つ泡沫、後に石鹼分を殘さないので、汚垢は十分に落ちて、ガサつい たり、ヌラつい たりすることなく、滑かに整へられて、化粧乘のよい地肌でゐられます。

中途に溶崩れず 三倍保つ ◎ミツワ石鹼

◎ミツワ石鹼不斷の品質向上の爲に、日夜科學的研究に從しつゝある主要なる技術家諸氏
工學士 小平勘四郎氏
藥學博士 河村正次郎氏
農學士 三雲正夫氏
工學士 野中 氏

本舖 東京 ◎丸見屋商店

L.32

仁川出帆 代理店 國際通運支店

京行	佐賀丸	一月四日
大阪行	芝浦丸	一月二日
大阪行	廣州丸	一月八日
長崎鹿兒島行	平安丸	十二月二十四日
三角行	會寧丸	十二月二十六日
大連行	京畿丸	一月二日
南浦行	錦江丸	十二月二十八日
上海行	慶安丸	一月七日

木浦出帆 代理店

京行	大連丸	十二月二十六日
江行	錦江丸	十二月二十四日

釜山出帆 取扱店大池回漕店

東京西鮮	大連丸	十二月二十八日
東京北鮮	明治丸	一月四日
大阪西鮮	滿江丸	一月一日
大阪北鮮	金剛山丸	十二月二十六日
長崎鹿兒島	錦江丸	十二月二十八日
三角行	錦江丸	一月七日
北鮮行	栗江丸	十二月二十四日
浦鹽行	滿城丸	十二月二十六日
上海行	慶安丸	一月一日
江原道行	雄基丸	十二月二十六日

元山出帆 代理店國際通運支店

東京行	明治丸	一月一日
大阪行	金剛山丸	十二月二十六日
浦鹽行	春川丸	十二月二十日
清津經由	忠淸丸	一月二日
江原道行	長白山丸	十二月二十五日
基隆行	栗江丸	十二月二十七日
宇品大阪行	滿城丸	十二月二十八日
清津直行	立神丸	一月七日

日本郵船出帆

歐洲行	伏見丸	十二月二十八日
桑港行	龍洋丸	十二月三十一日
濠洲行	霧島丸	一月二十一日

朝鮮汽船出帆 取扱店釜山本店

麗水行(急行) 毎日午前十時 午後八時

木浦出帆 取扱店木浦支店

九州各港行 毎日午前十時
濟州島行 毎日午後
方魚津各港行 毎日午前八時

朝鮮郵船株式會社 京城南大門通り 本社電話一九九八・九九六
仁川出張所 元山支店